MD/CD コンポーネントシステム

X-MDX535
X-F535MD

MDLP

メールサービス登録のご案内

http://www.pioneer.co.jp/members/

お買い上げいただきました製品についての「お客様オンライン登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと、プレゼントや懸賞商品が当たるキャンペーン/イベント情報や各種製品情報等のご案内をさせていただきます。
ご登録は上記URLにアクセスしてご利用ください。
(iモード及び一部のインターネット対応携帯電話からもご利用できます。)

新規登録されたお客様には、毎月プレゼントを抽選にて差し上げております。詳しくは、上記URLにアクセスしてください。

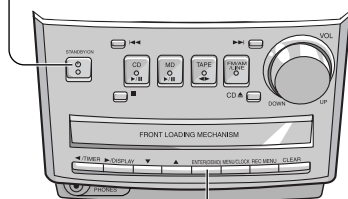
取扱説明書

デモ表示について

本機では以下の状態のときに自動的にデモモード（本体表示部の表示内容が自動的に切りかわる）になります。

- CD、MD、テープの演奏や録音が終了してからしばらく経過したあと
- 電源コードをコンセントに差し込んだとき
- 停電したあと

本体またはリモコンの電源スイッチか、ダイレクトパワーオンに対応しているボタン（13ページ参照）を押すと、デモモードを一時的に解除します。

電源スイッチ

エンター(ENTER)ボタン

デモモードを表示しないようにするには

1. **電源スイッチを押して電源を切ります**

2. **エンターボタン(ENTER)を3秒以上押します**

デモ表示を行ないます。

3. **デモモード表示中に、もう一度エンターボタン(ENTER)を 3 秒以上押します**

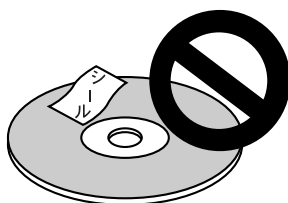
デモ表示が解除され、電源が切れます。電源スイッチを押して電源を入れ、通常の操作を行なってください。

デモモードを表示するようにするには

1. **電源スイッチを押して電源を切ります**

2. **エンターボタン(ENTER)を3秒以上押します**

デモ表示が行なわれ、デモモードが設定されます。電源スイッチを押して電源を入れ、通常の操作を行なってください。

⚠注意

レーベル面に紙やシールなどを貼付けたり、キズなどをつけないようにしてください。
のりなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。
特に、レンタルディスクにおいてはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しを確認してから、ご使用ください。

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に、本書および「安全上のご注意」は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」「安全上のご注意」は、「保証書」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意 付属の「安全上のご注意」もお読みください

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

〔異常時の処置〕

プラグを抜け

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜け

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

もくじ

準備
PREPARATIONS

FM/AM放送
FM/AM BROADCASTS

CDを操作する
CD OPERATION

カセットテープを使う
TAPE OPERATION

MDを操作する
MD OPERATION

タイマーを使った操作
TIMER OPERATION

付録
APPENDIX

この取扱説明書は、下記の機器を説明しています。

ステレオMD/CDデッキレシーバー:
XR-NM5MD、
XR-NM5FMD

スピーカーシステム:
S-NM5-LR、
S-NM5F-LR

もくじ

準備
PREPARATIONS

FM/AM放送
FM/AM BROADCASTS

CDを操作する
CD OPERATION

カセットテープを使う
TAPE OPERATION

MDを操作する
MD OPERATION

タイマーを使った操作
TIMER OPERATION

付録
APPENDIX

この取扱説明書は、下記の機器を説明しています。

ステレオMD/CDデッキレシーバー：
　XR-NM5MD、
　XR-NM5FMD

スピーカーシステム：
　S-NM5-LR、
　S-NM5F-LR

こんなことができます

1. パワーオフ時でも即、演奏スタート、ダイレクトプレイキー採用 P.13

● 聞きたいソース（CD、MD、テープ、チューナー/LINE）のファンクションボタンを押すだけで自動的に電源がオン。すぐに演奏がスタートできます。また電源を切る場合、聞いていたファンクションがメモリーされ、再び電源を入れると電源を切る前のファンクションがそのまま設定されます。

2. カタカナ対応のMD編集機能やリモコンによる文字入力もOK! P.75

● MDの編集機能を使うことで、簡単に録音した曲を並べかえたり、曲を消去することができます。
● ディスク名や曲名もカタカナやアルファベットで表示可能。ネーム機能を使えば、オリジナルディスクの作成が楽しみになります。
● リモコン、または本体を使って、文字入力をすることができます。

3. オートリバースデッキ搭載 P.28

● MD、CD、チューナーにカセットデッキをプラス。さまざまな音楽ソースを楽しめる一体型マイクロステレオです。

4. 多彩な機器による相互間の録音が可能

● 録音メニューボタンで録音の組合せをいろいろ選ぶことができます。

5. 省エネルギー設計製品

● 本製品は、待機時消費電力を1W以下に抑えた設計になっています。

6. MDの長時間ステレオ録音・再生機能(MDLP)、グループ機能を搭載！

● 従来の音声圧縮方式である“ATRAC”より高い圧縮比率を持つ“ATRAC3”により、録音時間80分のMDでも、LP2モードで最長160分、LP4モードで最長320分のステレオ録音・再生*することができます。（72ページ）
また、収録された曲をグループ機能を使って管理すれば、多数の曲が長時間にわたって録音されたMDでも、簡単に操作することができます。（92ページ）
*LP2またはLP4モードで録音された曲は、MDLP機能の搭載されていないプレーヤーでは再生できません。

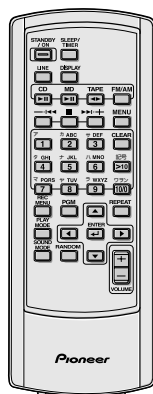
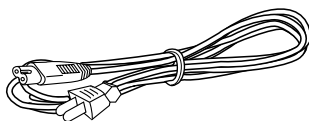
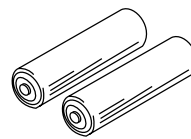
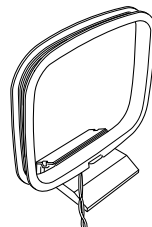
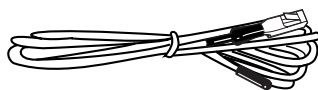
付属品の確認

●リモートコントロールユニット（リモコン）× 1

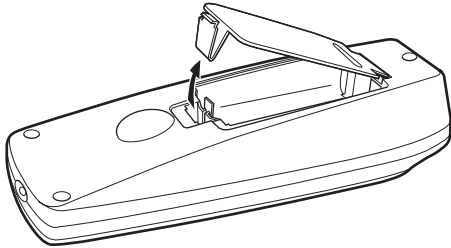
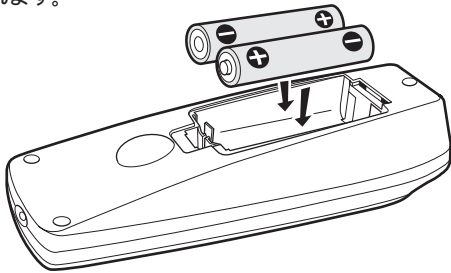
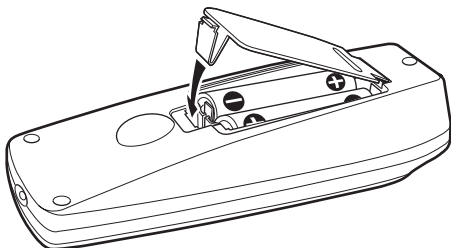
● 電源コード× 1

● FM簡易アンテナ× 1

● AMループアンテナ× 1
（図は組み立てた状態です。）

● 単3形乾電池× 2
（AA/R6P）

● 保証書
● 取扱説明書（本書）
● 安全上のご注意

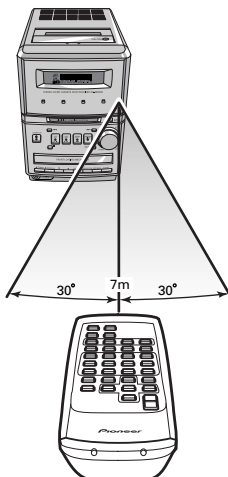
リモコンに電池を入れる

1 矢印の方向に引き上げて裏ブタをあけます。

2 単３形乾電池（AA/R6P）の⊕と⊖の向きを正しく入れます。

3 矢印の方向に押し込んで裏ブタを閉めます。

⚠注意

乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂などの危険があります。次の点についてご注意ください。（電池の注意事項もよく見てください。）

- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間（1か月以上）使用しないときは電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

リモコン操作範囲

リモコンの操作可能範囲は、リモコン受光部との距離が約7m、角度が左右30度までです。

- リモコン前部を、X-MDX535、X-F535MDの本体にあるリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら、電池を交換してください。

注意

◆ 直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えるか、蛍光灯から離してください。

接続のしかた

- アンテナは必ず接続してください。アンテナを接続しないとFM/AM放送が受信できません。
- 接続を行う場合、あるいは変更を行なう場合には、必ず電源コードを抜いてください。また電源コードはすべての接続が終わってから壁のコンセントへ接続してください。

FM簡易アンテナ

アンテナ接続について
アンテナ端子のアースマーク(⏚)はアンテナを接続した場合の雑音低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

1 AMループアンテナ

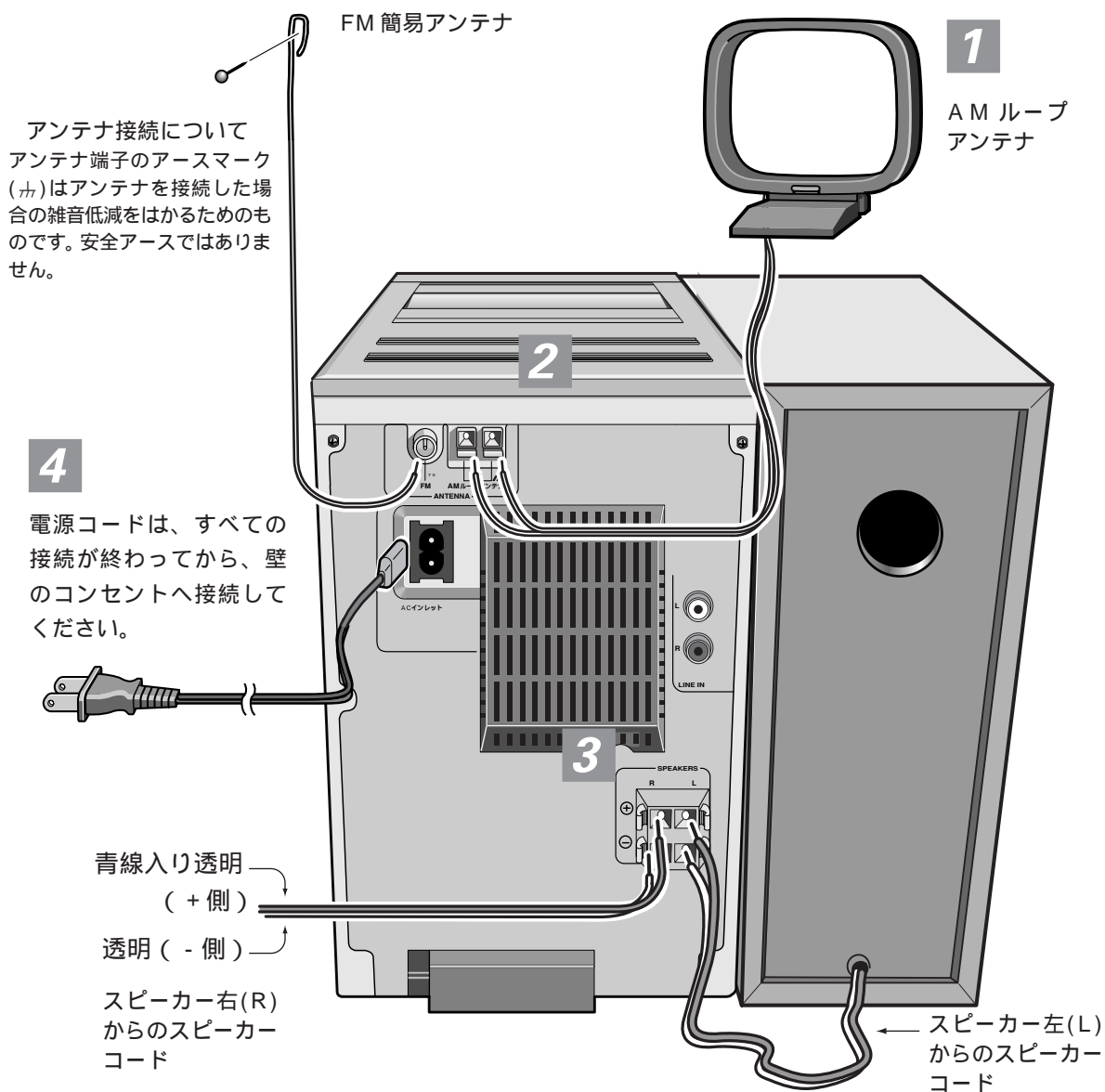
2

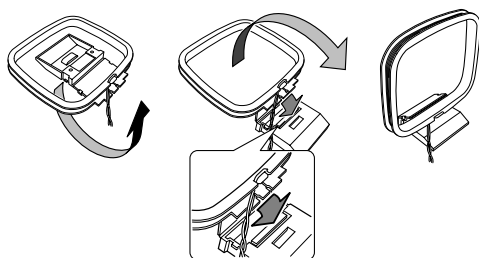
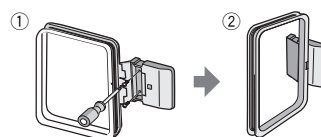
4 電源コードは、すべての接続が終わってから、壁のコンセントへ接続してください。

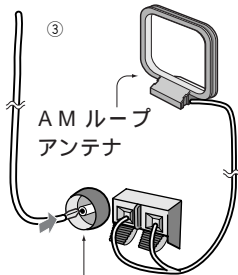
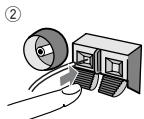
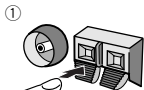
3

青線入り透明（＋側）
透明（－側）

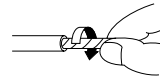
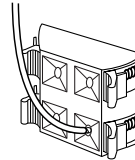
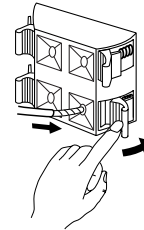
スピーカー右(R)からのスピーカーコード

スピーカー左(L)からのスピーカーコード

1 AMループアンテナを組み立てます

① 台を外側に出します　② 突起部を溝にはめます　③ 完成

壁に取り付けるには....
ネジや押しピンなどを使って取り付けます。

2 AMループアンテナとFM簡易アンテナを接続します

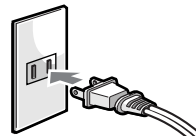
コードのカバーを回しながら引き抜きます。

①②指で端子のつめを下側に押します。
AMループアンテナのコード（2本）をAMアンテナ接続端子に接続します。どちらをアース側の端子（⏚）につないでもかまいません。
コードを差し込んだら指を離します。

FM簡易アンテナは、中央のピンに差し込んでください。
またFM簡易 アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないで最も良い受信状態が得られるように、ピンと張ってください。

3 スピーカーコードをつなぎます

コードのカバーを回しながら引き抜きます。

端子のレバーを押しながら、スピーカーコードを差し込みます。レバーは指を離すと元にもどります。
端子の極性は赤がプラス（＋）で、被覆に青い線が入っているコードを差し込みます。黒がマイナス（－）で、被覆に線の入っていないコードを差し込みます。

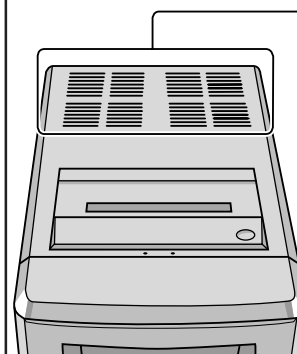
軽くひっぱって、抜けないことを確認します。

4 電源コードを壁のコンセントへ差し込みます

壁のコンセント（AC100V）に、電源コードのプラグを差し込みます。

はじめて電源コンセントをつないだ時は表示が点灯し、デモモードになります。詳しくは裏表紙の「デモモードについて」をご覧ください。

本体および、スピーカー設置上の注意

- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くには設置しないでください。本体および、スピーカーが変形、変色したり、故障する原因となります。
- 不安定な場所に設置するのは大変危険ですのでおやめください。
- このスピーカーシステムは低磁気漏洩設計ですのでテレビに近づけて使用できますが、設置のしかたによっては色むらを生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15～30分後再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合には、スピーカーシステムをテレビから離してご使用ください。
- スピーカーを本システム以外のアンプに接続しないでください。故障、火災の原因になることがあります。

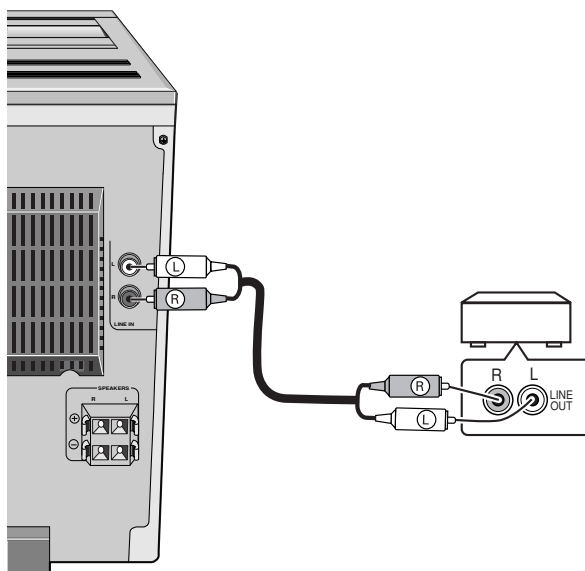
本体設置上の注意

天面の放熱孔は、絶対にふさがないでください。製品の内部温度が上昇して故障の原因となります。

接続のしかた

外部機器を接続する場合

MDプレーヤー、CDプレーヤーやカセットデッキなどの機器を、本機に接続することができます。接続した機器の音を本機で聞いたり、本機の MD やカセットデッキで録音することができます。

- 本機のLINE IN端子に接続機器の出力端子を接続します。
- 別売のオーディオコードでつないでください。白いプラグはL（左）に、赤いプラグはR（右）に接続します。
- 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 外部機器の音を聞いたり録音したりするときの操作方法は、113ページの「外部機器を使う」を参照してください。

◆ CDやMDを接続した場合でも、外部機器からの MD の録音はすべて、アナログ録音となります。

アンテナの接続について

アンテナ端子のアースマーク（ ⏚ ）は、アンテナを接続した場合の雑音低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

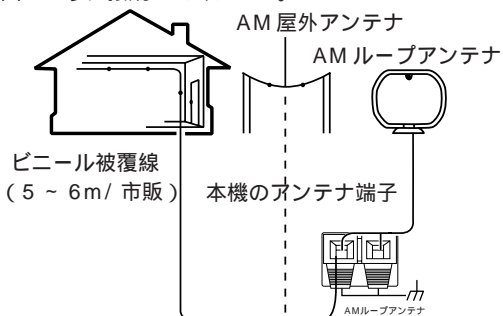
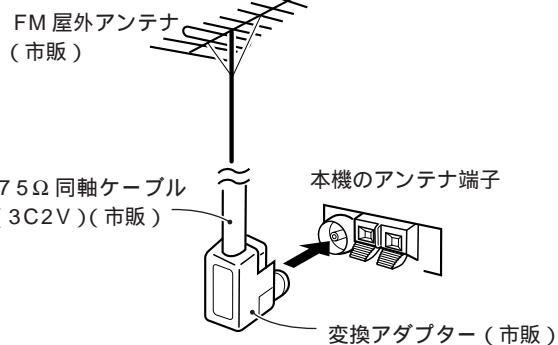
AM ループアンテナ

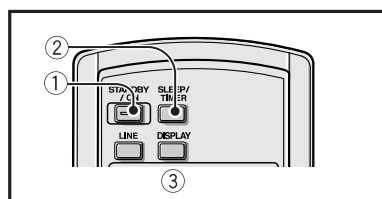
- 平らな面に置き、受信状態の最も良い方向に向けてください。
- アンテナは、本機から離して金属物と接触しない場所に置いてください。また、パソコン、テレビなどからもできるだけ離してください。ノイズの原因となります。
- 壁などに取り付ける場合は、AM 放送の受信状態が最も良い方向を見つけ、取り付け位置を決めてください。

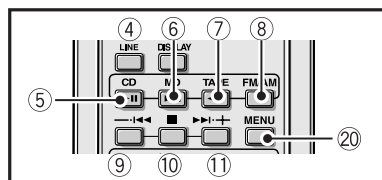
FM 簡易アンテナ

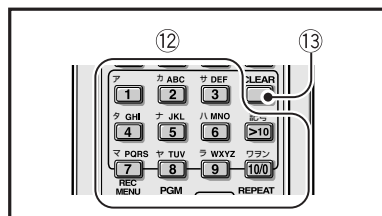
- 付属の FM 簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないでピンと張ってください。
- 付属の FM 簡易アンテナは、FM 放送を手軽に受信するためのものです。よりよい受信のためには、市販の屋外アンテナの使用をお勧めします。

付属のアンテナでよく聞こえないとき

鉄筋コンクリートの建物やAM/FM放送電波の弱い地域にお住まいの方は、付属のアンテナではよく聞こえない場合があります。その様なときは、AM 外部アンテナ（市販のビニール被覆線）、市販の FM 屋外アンテナを接続します。

各部のなまえ

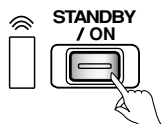
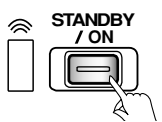
リモコン

電源、表示部、タイマー関係のボタン

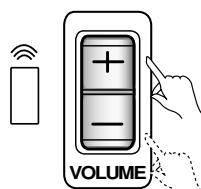
① 電源スイッチ .... 電源をオン/オフするときに使用します
② スリープ/タイマーボタン ... タイマーを使った操作の設定・解除に使用します
③ ディスプレイボタン ...... CDやMDでの表示情報の内容をかえます

演奏機器の選択関係のボタン

④ LINEボタン .... 外部機器の演奏を聞きたいときに使用します
⑤ CD ▶/II .... CDを演奏したり、一時停止させます
⑥ MD ▶/II .... MDを演奏したり、一時停止させます
⑦ TAPE ◀▶ .... テープを演奏したり、演奏方向をかえたりします
⑧ FM/AM .... ラジオを聞いたり、FMとAM放送とを切りかえます
⑨ ー・I◀◀ ボタン
⑩ ■ ボタン
⑪ ▶▶I・＋ボタン
（⑨〜⑪）......... 13ページを参照してください

演奏機器の操作関係のボタン

⑫ 数字ボタン .... 曲を選択したりMDのタイトル入力などをします
⑬ クリアーボタン .... プログラム演奏の登録やMDタイトル入力の内容を削除します
⑭ 録音メニューボタン ...... 録音機能や録音モードを選択します
⑮ プログラムボタン .... プログラム演奏のときに使用します
⑯ リピートボタン .... リピート演奏のときに使用します
⑰ 演奏モードボタン .... MD、テープの演奏モードの切りかえに使用します
⑱ サウンドモードボタン ... 音質を変えるときに使用します
⑲ ランダムボタン .... ランダム（順不同）演奏のときに使用します
⑳ メニューボタン .... 操作メニューの選択をします。
㉑ ▲▼◀▶ボタン .... メニュー等表示項目を選択するときに使用します。また▲▼ボタンはチューナーのマニュアルチューニング、MDのグループ選択のときにも使用します。
エンターボタン .... メニュー等で決定入力するときに使用します。
㉒ ボリューム .... 音量を調整するときに使用します。

電源のオン / オフ

電源を入れるには

電源スイッチを押します。
（表示部が点灯します。）

電源を切るときは

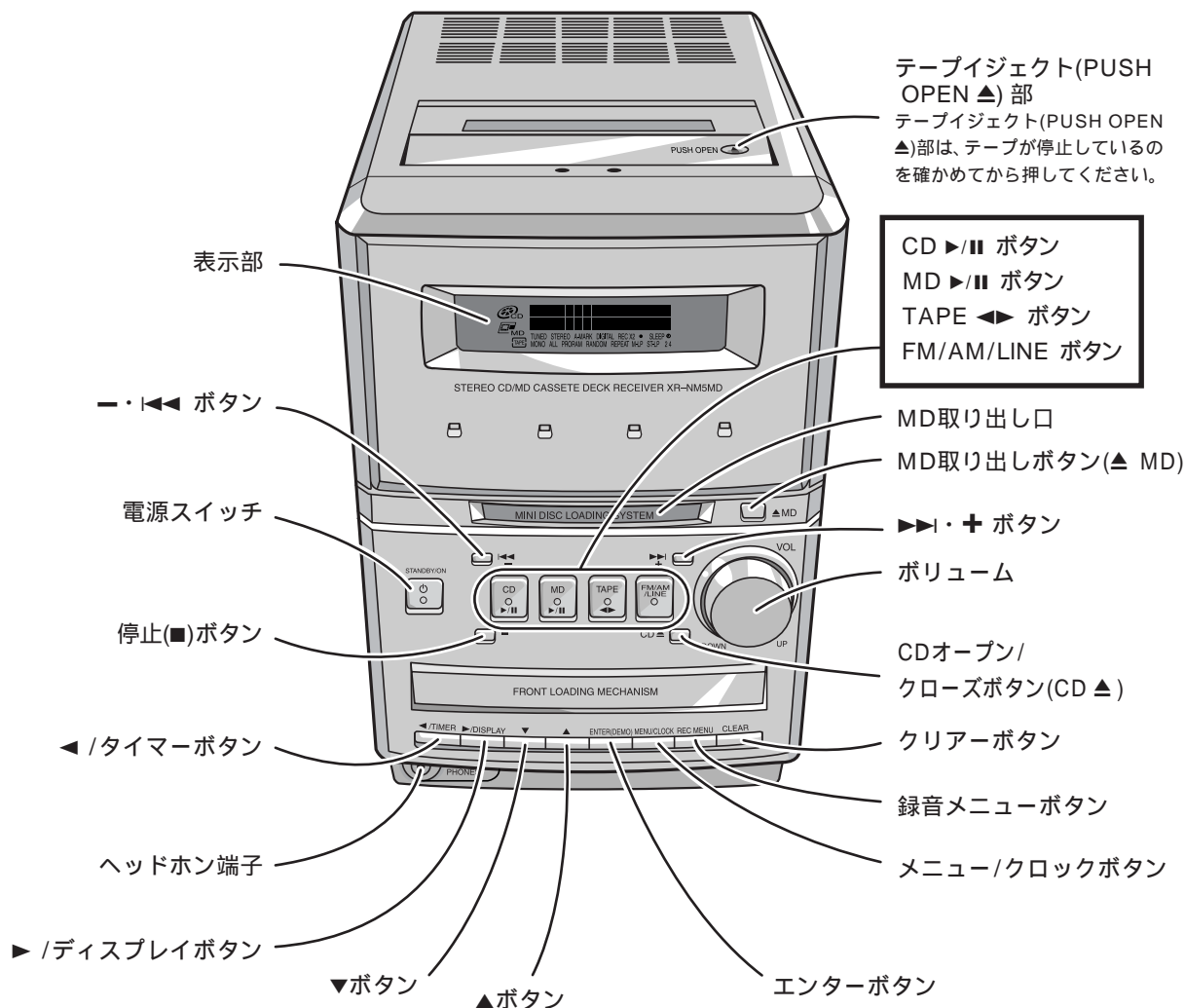
電源スイッチをもう一度押します。
表示部が消灯し、時計表示になります。

音量の調整

音量を調整するには

（＋）部を押すと大きくなります。

（−）部を押すと小さくなります。

各部のなまえ

本体部

テープイジェクト(PUSH OPEN ≜) 部

テープイジェクト(PUSH OPEN ≜)部は、テープが停止しているのを確かめてから押してください。

- CD ►/❚❚ ボタン
- MD ►/❚❚ ボタン
- TAPE ◄► ボタン
- FM/AM/LINE ボタン

表示部

━・|◄◄ ボタン

電源スイッチ

停止(■)ボタン

◄ /タイマーボタン

ヘッドホン端子

► /ディスプレイボタン

▼ボタン

▲ボタン

エンターボタン

MD取り出し口

MD取り出しボタン(≜ MD)

►►|・✚ ボタン

ボリューム

CDオープン/クローズボタン(CD ≜)

クリアーボタン

録音メニューボタン

メニュー/クロックボタン

電源のオン / オフ

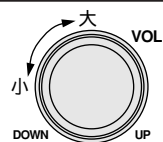
電源を入れるには

電源スイッチを押します。
(表示部が点灯します。)

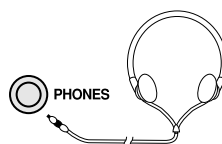
電源を切るときは

電源スイッチをもう一度押します。
表示部が消灯し、時計表示になります。

音量の調整

音量を調整するには

ボリュームを回します。

ヘッドホンを使うとき

市販のヘッドホンを、ヘッドホン端子に接続します。

インピーダンス16Ω～50Ω(推奨32Ω)で、直径3.5 Φステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。
ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は聞こえなくなります。

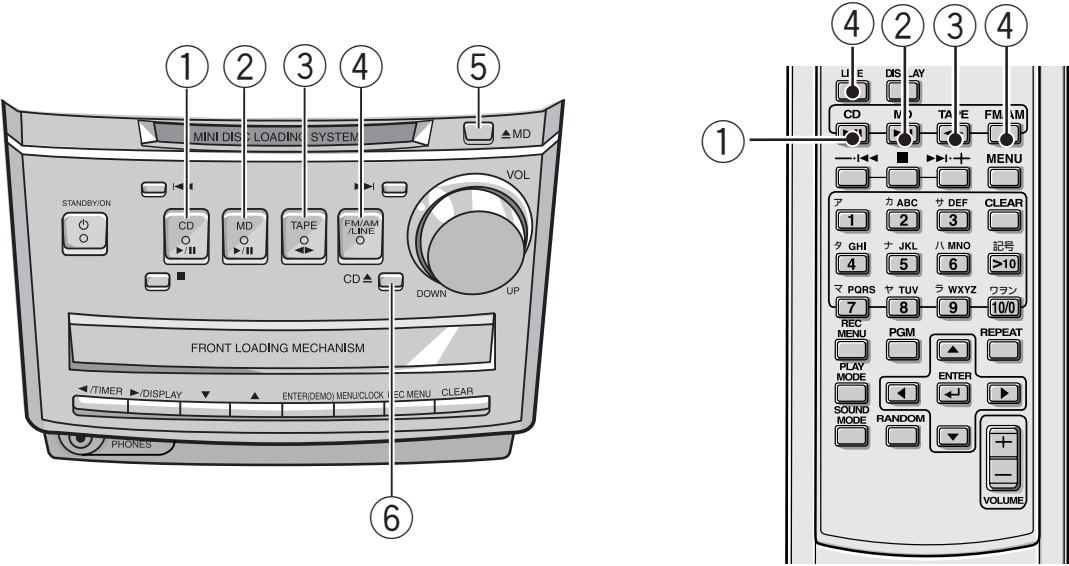
共通操作ボタン

共通操作ボタンの役割り（下記のようにそれぞれのファンクションにより働きが異なります。）

ファンクション／ボタン	CD	MD	テープ	チューナー
▶▶I + ／ ▶▶I·+	早送りボタン／選曲ボタン	早送りボタン／選曲ボタン	早送りボタン／選曲ボタン	ステーション選択ボタン
I◀◀ − ／ −·I◀◀	早戻しボタン／選曲ボタン	早戻しボタン／選曲ボタン	巻戻しボタン／選曲ボタン	ステーション選択ボタン
■	停止ボタン	停止ボタン	停止ボタン	オートチューニングの停止

（ は本体部のボタン、 はリモコンのボタンを表しています。）

ダイレクトパワーオン

電源がオフ（スタンバイ）のときに下記のボタンを押すと、電源スイッチ以外でも電源がオンになります。

① CD がセットされていれば演奏をはじめます。

② MD がセットされていれば演奏をはじめます。

③ テープがセットされていれば演奏をはじめます。演奏方向は、最後に使用したときと同じ方向となります。もう一度押すと、演奏方向は逆方向になります。

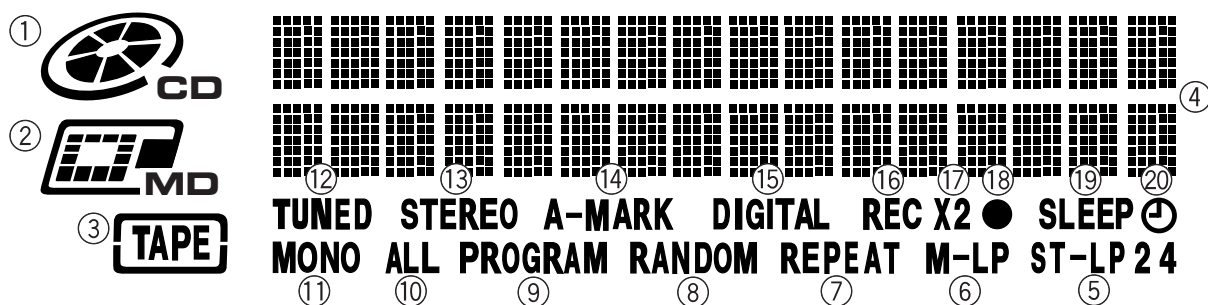
④ FM/AM/LINE(本体)
FM または AM 、または LINE になります。
最後に選択していた状態になります。

FM/AM、LINE(リモコン)
FM/AM : FM または AM 放送になります。
最後に受信していた放送局が選択されます。
LINE : 外部入力(LINE IN)端子に接続している機器が動作していれば、その機器の音が出ます。

⑤ 電源がオンになり、MD がセットされていれば MD が取り出せます。

⑥ 電源がオンになり、CD のディスクトレイが開きます。

各部のなまえ

表示部

① CDの状態を表わします
　ディスクが挿入されているとき ➡ が点灯
　一時停止中 ➡ が点滅
② MD挿入時に点灯
③ テープが挿入されているときに点灯
④ 文字や数字で、いろいろな情報を表示します
⑤ MDのステレオ長時間録音（LP4 モード）設定時に ST-LP4 点灯します。
　MDのステレオ長時間録音（LP2 モード）設定時に ST-LP2 点灯します。
⑥ MDのモノラル長時間録音設定時に点灯
⑦ 1曲リピート演奏時に点滅、全曲リピート演奏時に点灯
⑧ ランダム演奏時に点灯
⑨ プログラム設定時、または演奏時に点灯
⑩ MDのオールトラックプレイモードで点灯
⑪ FM放送をモノラル受信時に点灯
⑫ FM/AM放送受信時に点灯
⑬ FMステレオ放送受信時に点灯
⑭ MDオートマーク設定時に点灯
⑮ MDのデジタル録音モードで点灯
⑯ 録音時に点灯
⑰ CDからMDへの録音において、2倍速録音に設定されているときに点灯します。
⑱ タイマー録音設定時に点灯
　タイマー録音動作時に点滅
⑲ スリープタイマー設定時に点灯
⑳ ウェイクアップタイマー設定時に点灯
　ウェイクアップタイマー動作時に点滅

本体とリモコンボタンの差異

本体とリモコンのボタン名が同じ場合は、どちらでも同じ操作ができます。

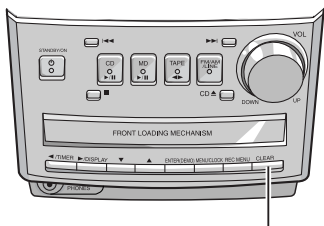
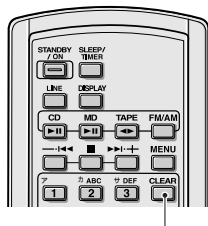
本体にしかないボタン：本体でしか操作できません
⏏ MD、CD ⏏

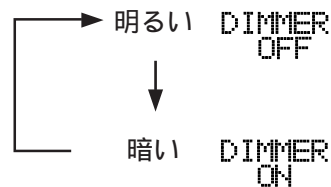
リモコンにしかないボタン：リモコンでしか操作できません
SOUND MODE、PLAY MODE*、REPEAT、RANDOM、PGM、1 ア、2 カ ABC、3 サ DEF、4 タ GHI
5 ナ JKL、6 ハ MNO、7 マ PQRS、8 ヤ TUV、9 ラ WXYZ、10/0 ワヲン、＞10 記号

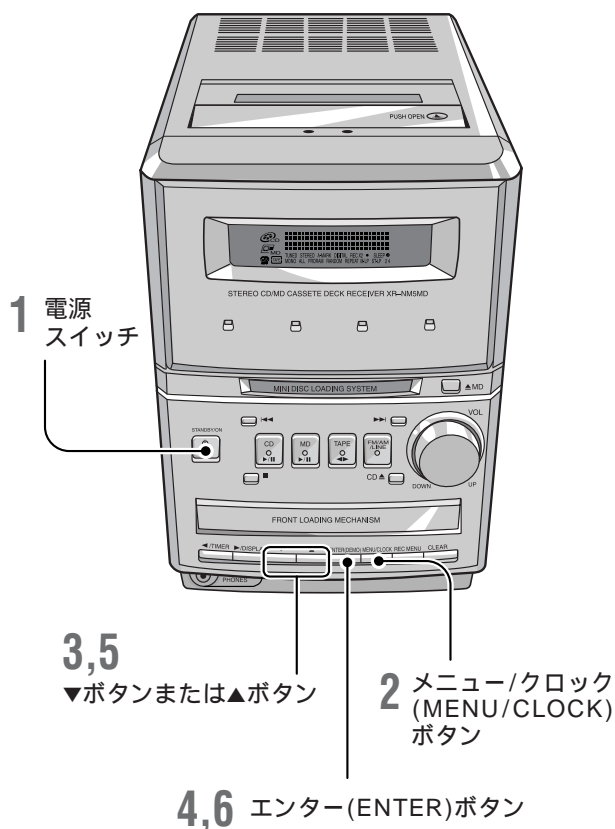
*本体の場合は、メニュー(MENU/CLOCK)ボタンで操作することができます。

本体で操作する場合、他キーと兼用になるボタン：本体、リモコン両方にあり、どちらでも同じ操作ができます
(　)はリモコンのボタン名です
FM/AM/LINE (FM/AM、LINE)、◀/TIMER (SLEEP/TIMER)、▶/DISPLAY (DISPLAY)、
MENU/CLOCK(MENU)。

表示の明るさをかえる

本体表示部の明るさをかえることができます。

クリアー（CLEAR）ボタン

クリアー（CLEAR）ボタン

クリアー（CLEAR）ボタンを 3 秒以上押します
押すごとに以下のように切りかわります。

時計をあわせる

電源がオフ（スタンバイ状態）のときに操作します。

操作例）　午後6時40分（18:40）に合わす場合

1. **電源スイッチを押して、電源をオフにします**
スタンバイ状態になります。

2. **メニュー / クロック(MENU/CLOCK)ボタンを 2 秒以上押します**

TIME 0:00

3. **▼ボタン、または▲ボタンを押して、「時」を合わせます**
例の場合は、18 にする。

TIME 18:00

4. **エンター(ENTER)ボタンを押します**
「時」が入力されます。

TIME 18:00

5. **▼ボタン、または▲ボタンを押して、「分」を合わせます**
例の場合は、40 にします。

TIME 18:40

6. **エンター(ENTER)ボタンを押します**
「分」が入力され、時計が動きはじめます。

TIME 18:40

メモ

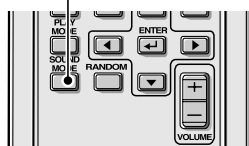
- 電源がオンのときに、ディスプレイ(DISPLAY)ボタンを 2 秒以上押すと、時計表示にすることができます。数秒間時計表示をした後、もとの表示に戻ります。
- 電源がオフ（スタンバイ状態）のときに、ディスプレイ(DISPLAY)ボタンを 1 回押すと、数秒間バックライトが点灯し､時計表示を見やすくすることができます。
- 電源がオフのときにディスプレイ(DISPLAY)ボタンを 2 秒以上押すと、時計表示を 24 時間または 12 時間表示に切りかえられます。

注意

◆ デモモードでは時計をあわせることはできません。電源スイッチを押してデモモードを解除し､再度電源スイッチを押してスタンバイ状態にしてから設定を行なってください。
◆ 停電したり電源コードを抜くと時計表示が「0:00」となり、時計は動作しません。この場合はもう一度時計を合わせ直してください。

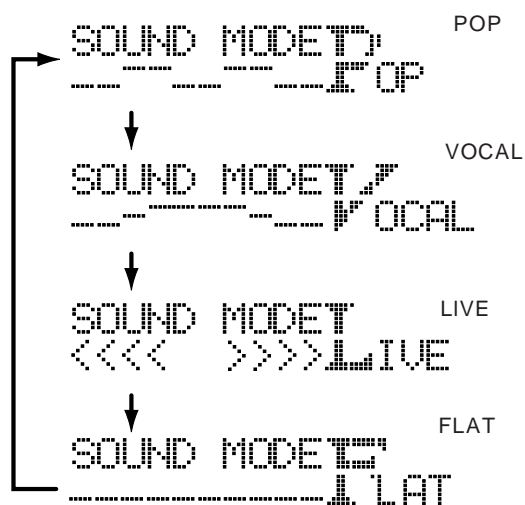
音質をかえる

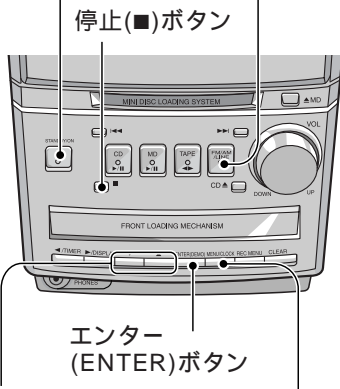
サウンドモードをかえると、音質がかわります。
リモコンで操作します。

サウンドモード
(SOUND MODE)ボタン

POP ....低音、高音を強調したメリハリのある音質
VOCAL .....中音を強調した音質
LIVE ....拡がり感のある音質
FLAT ....どの音域も強調しない音質

サウンドモード(SOUND MODE)ボタンを押します

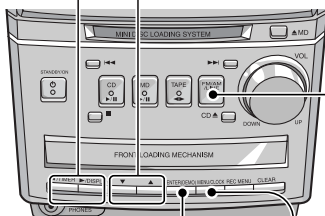
最初に押したときは現在の音質を表示します。
その後、押すごとに音質が以下のように切りかわり、表示されている音質で演奏されます。
音質表示は 3 秒間で消え、もとの表示に戻ります。

PREPARATIONS

FM/AM放送を聞く

アンテナが接続されていないと、ラジオのFM/AM放送を受信することはできません。接続されていない場合は、8〜10ページを参照してアンテナを接続してください。

メモ

- 本機はテレビ放送の1〜3チャンネルの音声を受信することができます。
  各チャンネルの周波数は次のとおりです。
  1ch： 95.75MHz
  2ch： 101.75MHz
  3ch： 107.75MHz
  音声はモノラルになります。2ヶ国語放送は主音声のみとなります

注意

◆ FM放送の90MHz〜108MHzはテレビ信号が影響してオートチューニングできないことがあります。この場合はマニュアルチューニングで周波数を合わせてください。
◆ 本機のFM放送受信回路とテレビ受信回路とは兼用の回路ため、地域によってはテレビの音声受信時にFM放送が混信することがあります。

放送局の受信のしかた

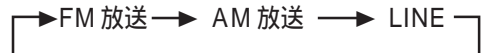
1. FM/AM/LINEボタンを押します

本機がラジオを聞ける状態になります。
押すごとに、下記のように切りかわります。

[本体で操作する場合]

→FM放送→ AM放送 → LINE →（FM放送へ戻る）

[リモコンで操作する場合]

FM放送 ◄——► AM放送

2. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、放送局を受信します

自動的に放送局を受信するオートチューニングと手動で1ステップずつ周波数を合わせていくマニュアルチューニングとがあります。

オートチューニング

▼ボタン、または▲ボタンを押して、周波数が動きはじめたら指を離します

周波数が自動に変化して、放送局を受信すると止まります。
途中で止めるときは、再度▼ボタン、または▲ボタンを1回押すか、停止(■)ボタンを押します。

マニュアルチューニング

▼ボタン、または▲ボタンを1回ずつ押します

周波数が1ステップずつ変化します。

FM放送に雑音が多いとき

遠い放送局や電波の弱い地域などで、FMのステレオ放送に雑音が多いときは、モノラル演奏にして放送を聞きやすくします。

1. FM/AM/LINEボタンを押します

2. メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

リモコンの場合は、メニュー(MENU)ボタンを押します。

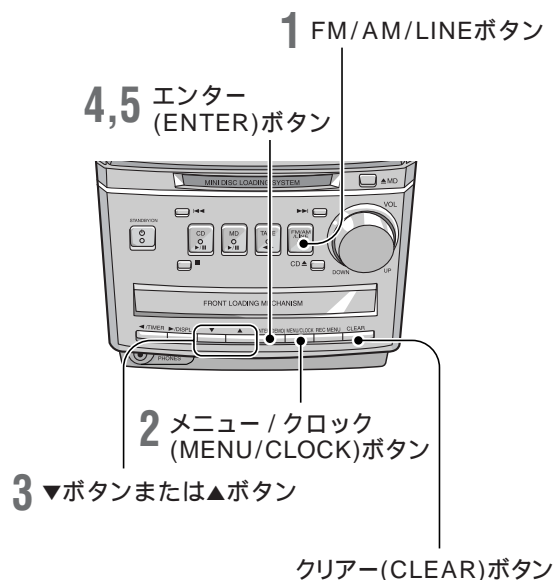
3. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"AUTO / MONO"を選びます

4. エンター(ENTER)ボタンを押します

現在設定されているモードが点滅表示します。

5. ◄ボタン、または►ボタンを押して、モノラル（MONO）を選びます

6. エンター(ENTER)ボタンを押して決定します

モノラル受信では、"STEREO"表示が消えて、"MONO"表示が点灯します。

注意

- ◆ 設定を途中で中止させたい場合は、停止（STOP ■）ボタンを押してください。
- ◆ ステーション番号は、最後に記憶させた番号の次の番号から開始します。ステーション1に記憶させたい場合は、あらかじめステーション24に適当な局を記憶させておいてください。

受信できる放送局を自動的に記憶させる

受信できるFM/AM放送を自動的に選局し、記憶することができます。

1. FM/AM/LINEボタンを押し、FMかAMに切りかえます

2. メニュー / クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

3. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"AUTO ST.MEMORY"を選びます

4. エンター(ENTER)ボタンを押します

FM/AM放送の受信を開始します。
放送局を受信すると記憶させるステーション番号が点滅し、記憶させるかどうかの確認表示になります。

5. エンター(ENTER)ボタンを押して記憶させます

記憶しない場合はクリアー(CLEAR)ボタンを押すと、次の放送局を受信します。

受信した放送局を記憶させる

FM/AM放送あわせて24局まで記憶することができます。

例） FM 82.5MHzをステーション2へ記憶させます

1. FM 82.5MHzを受信します

FM/AM/LINEボタンを押してFM放送を選択し、▼ボタン、または▲ボタンを押して受信周波数を82.5MHzに合わせます。
受信状態が悪くてモノラル音声にする場合は、前ページを参照してください。モノラルの設定も記憶させることができます。

TUNER FM
82.50MHz

2. メニュー / クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

3. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"MEMORY"を選びます

4. エンター(ENTER)ボタンを押します

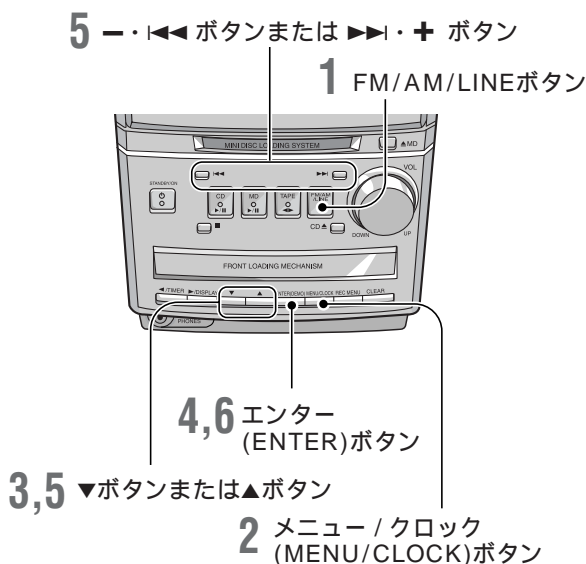
ST-01
82.50MHz

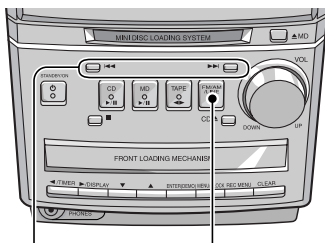
5. ▼ボタン、または▲ボタンか、ー・|◀◀ または ▶▶|・＋ボタンで記憶させたいステーションを選びます

ステーションは1〜24まであります。例の場合は、ステーション2を選びます。

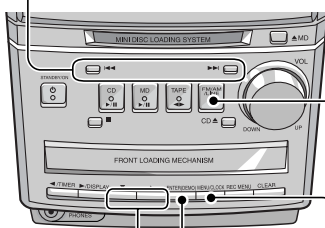
ST-02 FM
82.50MHz

6. エンター(ENTER)ボタンを押して記憶させます

FM 82.5MHzがステーション2に記憶されます。

注意

- ◆ すでに記憶されているステーションへ違う放送局を記憶させると、前の放送局は消去され、新しい放送局がステーションに記憶されます。

2 ー・I◀◀ ボタンまたは ▶▶I・＋ボタン

注意

◆ 停電や電源プラグを抜いた状態で12時間以上放置した場合、ステーションに記憶した内容が消えてしまうことがあります。
◆ 記憶した放送局に名前をつけた場合は、名前が表示されます。受信周波数とステーション番号を確認したいときは、ディスプレイボタンを押してください。

記憶した放送局を呼び出す

1. **FM/AM/LINEボタンを押してFMまたはAMを選びます**

2. **ー・I◀◀ ボタン、または ▶▶I・＋ ボタンで記憶したステーションを選びます**

各ステーションに記憶した放送局を聞くことができます。

リモコンの数字ボタンでダイレクトに選びます

ステーション番号と同じ数字ボタンを押すと、ダイレクトにステーションを選ぶことができます。

1～9　：番号のボタンを押します。

10　：10/0 を押します。

11～24：>10 を押してから十の位、一の位を選びます。

（例）15曲目　>10 1 5

記憶させた放送局に名前をつける

記憶させた放送局（ステーション）に、12文字以内で名前をつけることができます。入力できる文字の種類については、82ページを参照してください。

1. **FM/AM/LINEボタンを押してFMまたはAMを選びます**

リモコンの場合は、FM/AMボタンを押します。

2. **ー・I◀◀ ボタン、または ▶▶I・＋ ボタンで名前をつける放送局のステーションを選びます**

3. **メニュー / クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します**

リモコンの場合は、メニュー(MENU)ボタンを押します。
メニュー選択の表示になります。

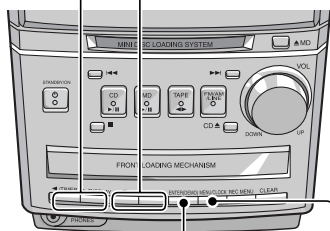
4. **▼ボタン、または▲ボタンを押して"STATION NAME"を選びます**

5. **エンター(ENTER)ボタンを押します**

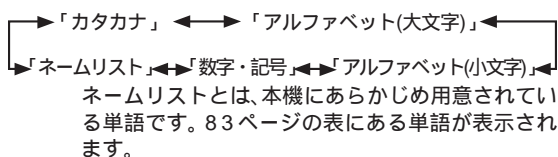
10秒以内に押してください。文字入力ができる状態になります。

アイウエオカキクケコサシスセソー

7 ◀ボタンまたは▶ボタン

6 ▼ボタンまたは▲ボタン

8 エンター(ENTER)ボタン

10 メニュー / クロック(MENU/CLOCK)ボタン

6. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、文字の種類を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。▲ボタンを押すと右回りに、▼ボタンを押すと左回りに表示します。

→「カタカナ」 ←→ 「アルファベット(大文字)」←
→「ネームリスト」←→「数字・記号」←→「アルファベット(小文字)」←

ネームリストとは、本機にあらかじめ用意されている単語です。83ページの表にある単語が表示されます。

リモコンの数字ボタンの場合

入力する文字が表記されている数字ボタンを押します。詳しくは、82ページの文字入力パターンを参照してください。文字の種類をかえるときは、▼ボタン、または▲ボタンを押します。

7. ◀ボタン、または▶ボタンを押して、入力する文字を選びます

ABCDEFGHIJKLMNOP

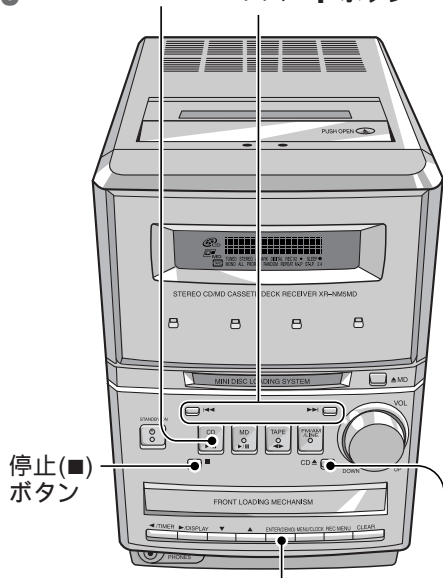
8. エンター(ENTER)ボタンを押して文字を決定します

9. 手順6～8を繰り返して、すべての文字を入力します

途中で名前をつける操作をやめる場合は、停止(■)ボタンを押します。

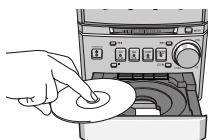
10. メニュー / クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

CDを聞く

ディスクをセットしたときの表示部の表示内容は、14ページを参照してください。また、CD演奏中の表示内容については、23 ページを参照してください。

注意

◆ CD を 2 枚以上重ねて入れたり、CD 以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
◆ 8cmCD アダプターは使用しないでください。
◆ 演奏中に CD オープン / クローズ(CD ⏏)ボタンを押すと、演奏が停止し、ディスクトレイが開きます。

1. **CD オープン / クローズ(CD ⏏)ボタンを押してトレイを開けます**

ディスクをセットします

レーベル面（曲名などが印刷されている面）を上にしてセットします。

2. **CD オープン / クローズ(CD ⏏)ボタンを押してトレイを閉めます**

3. **CD (▶/II)ボタンを押します**

演奏を開始します。

演奏をやめるには....

停止(■)ボタンを押します。

演奏を一時停止するには....

CD (▶/II)ボタンを押します。
もう一度押すと、演奏を再開します。

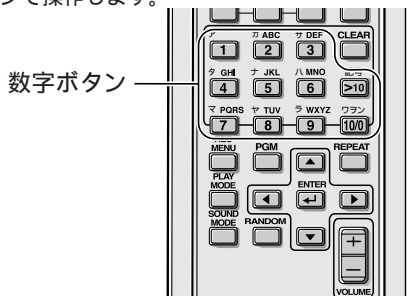
曲の頭出しをするには....

前の曲に戻るときは、ー・⏮ ボタンを短く押します。押した回数だけ曲を飛び越します。演奏中に 1 回押すと、演奏している曲の頭に戻ります。
次の曲に進むときは、⏭・+ ボタンを短く押します。押した回数だけ曲を飛び越します。

早送り・早戻しをするには....

早送りするには、演奏中に⏭・+ ボタンを押し続けます。
早戻しするには、演奏中にー・⏮ ボタンを押し続けます。

聞きたい曲を選ぶ

リモコンで操作します。

注意

◆ プログラム演奏中は数字ボタンで選ぶことはできません。 ー・⏮ ボタンまたは ⏭・＋ ボタンを押してプログラムした曲を選んでください。

聞きたい曲の曲番号をリモコンの数字ボタンで選びます

CDが停止中に数字ボタンで曲番号を選んだ場合は、選んだ曲の演奏を開始します。

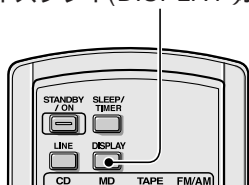
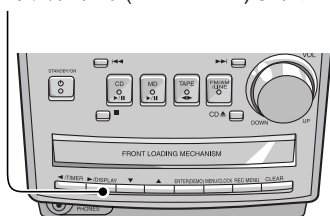
1 〜 9　：番号のボタンを押します。

10　　：[10/0] を押します。

11 以上：[>10] を押してから番号を選びます。

（例）
15 曲目 [>10] [1] [5]　　20 曲目 [>10] [2] [10/0]

表示を切りかえる

演奏または一時停止しているときのディスクの時間表示の内容を切りかえることができます。

ディスプレイ(DISPLAY)ボタン

ディスプレイ(DISPLAY)ボタン

メモ

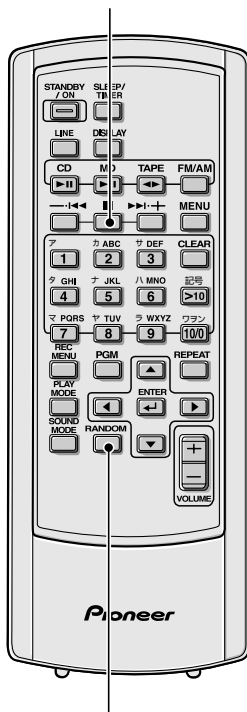
- プログラム演奏を設定してある場合は、登録した曲の演奏終了までの残り時間と総演奏時間が表示されます。
- ランダム演奏中は、演奏終了までの残り時間と総演奏時間は表示されません。

ディスプレイ(DISPLAY)ボタンを押します

押すごとに以下のように切りかわります。

順不同で演奏する

ランダム演奏といいます。曲を無作為に選んで1回ずつ演奏します。リモコンで操作します。

停止(■)ボタン

ランダム(RANDOM)ボタン

1. **ランダム(RANDOM)ボタンを押します**

確認の表示になります。

RANDOM PLAY ?

2. **2秒以内にもう一度、ランダム(RANDOM)ボタンを押します**

ランダム演奏を開始します。

ランダム演奏を解除する

1. **ランダム(RANDOM)ボタンを押します**

確認の表示になります。

2. **2秒以内にもう一度、ランダム(RANDOM)ボタンを押します**

ランダム演奏が解除され通常の演奏に戻ります。

RANDOM PLAY OFF?

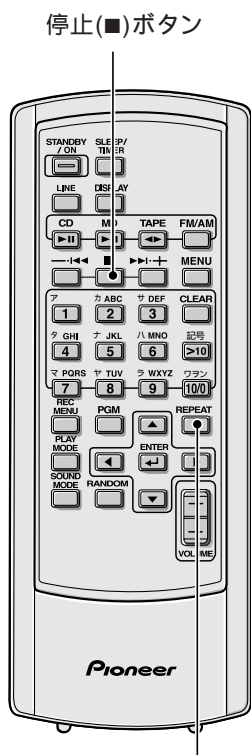
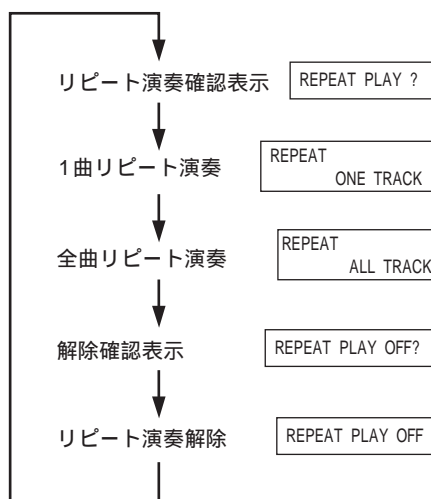
ランダム演奏を停止する

停止(■)ボタンを押します。演奏が停止して、ランダム演奏は解除されます。

メモ

- ランダム演奏中にリピート(REPEAT)ボタンを連続して2回押すと、"RANDOM REPEAT ALL TRACK"と表示され、全曲リピートになります。**(ランダムリピート演奏)**

繰り返し演奏する

リピート演奏といいます。 演奏している１曲だけを繰り返す１曲(ONE TRACK)リピートとディスクの全曲を繰り返す全曲(ALL TRACK)リピートとがあります。リモコンで操作します。

リピート(REPEAT)ボタンを押します

２秒以内に押すごとに、以下のように切りかわります。

１曲リピートを選択すると、本体表示部の"REPEAT"が点滅し、全曲リピートを選択すると、本体表示部の"REPEAT"が点灯します。

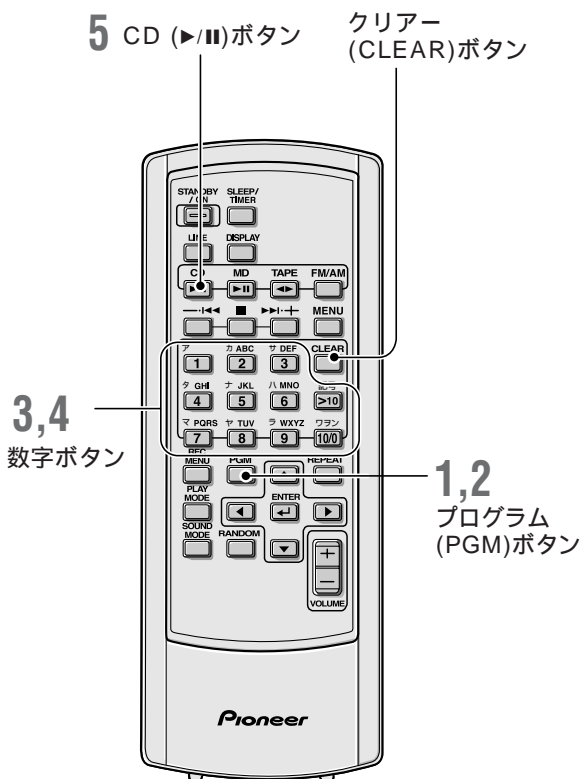
リピート演奏を停止する

停止(■)ボタンを押します。演奏は停止しますが、リピート演奏は解除されません。

メモ

- １曲リピート演奏中に ━・|◀◀ ボタン、▶▶|・✚ ボタン、またはリモコンの数字ボタンを押して別の曲に移ったときは、その曲を繰り返し演奏します。
- 1曲リピート中にランダム(RANDOM)ボタンを連続で2回押すとリピート演奏は解除され、ランダム演奏になります。

好きな曲を好きな順番で聞く

プログラム演奏といいます。好きな曲を最大 32 ステップまで登録することができます。
リモコンで操作します。

例）演奏順をCDの6曲目、3曲目にする場合

1. CD の停止中に、プログラム(PGM)ボタンを押します

確認の表示になります。

PROGRAM PLAY ?

2. 2 秒以内にもう一度、プログラム(PGM)ボタンを押します

PROGRAM
P01-　　0:00

PROGRAM

3. 数字ボタンで聞きたい曲の番号を登録します

例の場合は、数字ボタンの 6 を押します。

PROGRAM
P01-06　5:01

PROGRAM

PROGRAM
P02-　　5:01

PROGRAM

4. 手順 3 を繰り返して、聞きたい曲の番号を登録します

例の場合は、数字ボタンで 3 曲目を選びます。

5. CD (▶/II)ボタンを押します

プログラムした順に演奏を開始します。

登録中に曲番を間違えたとき

クリアー(CLEAR)ボタンを押します

押すごとに最後に登録した曲から順に消えていきます。

数字ボタン

数字ボタンでの曲番号の選びかた

1～9　：番号のボタンを押します。

10　　：[10/0] を押します。

11 以上：[>10] を押してから番号を選びます。

（例）　15 曲目　[>10] [1] [5]

　　　　20 曲目　[>10] [2] [10/0]

停止(■)ボタン
クリアー
(CLEAR)ボタン
CD (▶/II)ボタン
ー・⏮ボタンまたは
⏭・＋ ボタン
数字ボタン
プログラム
(PGM)ボタン

プログラム登録した内容を確認する

停止中にー・⏮ボタン、または⏭・＋ボタンを押します

プログラム登録した1曲だけを消す

1. 停止中にー・⏮ボタン、または⏭・＋ボタンを押します

消したい曲が表示されるまでー・⏮ボタン、または⏭・＋ボタンを押します。

2. 2秒以内にクリアー(CLEAR)ボタンを押します

表示されている曲だけが消え、その後に登録した曲のステップが順に繰り上がります。
CD (▶/II)ボタンを押すと、プログラムした順に演奏を開始します。

プログラム登録した内容をすべて消す

以下のいずれかの操作で登録した内容をすべて消去することができます

- 演奏中に停止(■)ボタンを 2 回押します。
- 停止中に停止(■)ボタンを 1 回押します。
- CDオープン/クローズ(CD ▲)ボタンを押してディスクを取り出します。

登録する曲を追加する

1. プログラム演奏を停止させます

2. プログラム(PGM)ボタンを押します

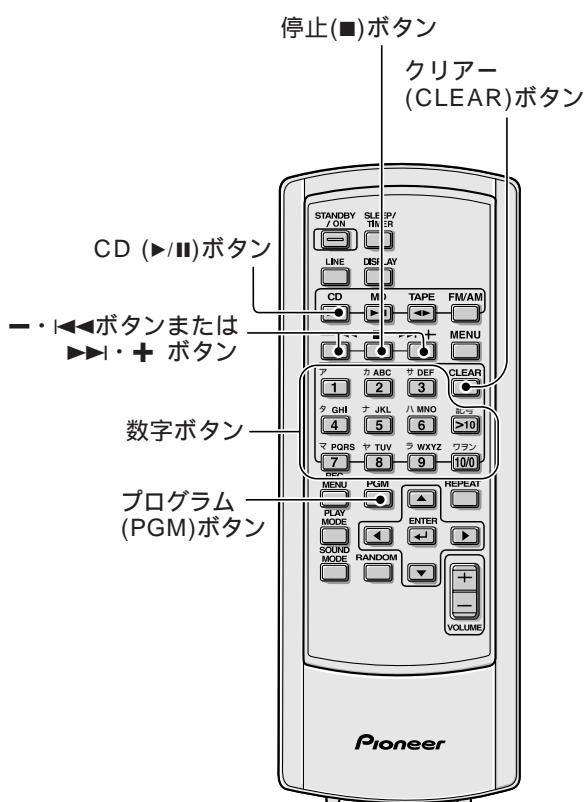
確認の表示になります。

PROGRAM PLAY ?

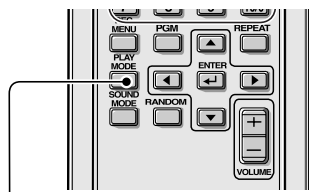
3. 2秒以内にもう一度、プログラム(PGM)ボタンを押します

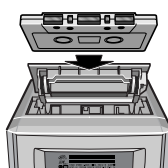
4. 登録する曲番号を選びます

数字ボタンで曲番号を選びます。
CD (▶/II)ボタンを押すと、プログラムした順に演奏を開始します。

メモ

- プログラム演奏中にリピート(REPEAT)ボタンを押して"PROGRAM REPEAT ONE TRACK"を表示させると、演奏中の曲を繰り返し演奏します。
同様にリピート(REPEAT)ボタンを押して"PROGRAM REPEAT ALL TRACK"を表示させると、プログラムされた全曲を繰り返し演奏します。
(プログラムリピート演奏といいます。)
さらにリピート(REPEAT)ボタンを押して"REPEAT PLAY OFF"を表示させると、リピート演奏は解除され、通常のプログラム演奏に戻ります。
- プログラム演奏中にランダム(RANDOM)ボタンを連続で2回押すと、プログラム演奏が解除されランダム演奏になります。

テープを聞く

カセットテープの種類は、TYPE I（ノーマル）を使用してください。
TYPE II（クローム/HIGH）またはTYPE IV（メタル）のカセットテープは、録音されている原音とは変わりますが、再生はできます。
ヘッドは定期的に清掃してください。（115ページ参照）

3,6 演奏モード(PLAY MODE)ボタン

1. テープイジェクト(PUSH OPEN ≜)部を押して、カセットホルダーにテープを入れます

カセットテープをホルダー内に入れます。
⬇
手でカセットホルダーを押して閉めます。

2. テープ(TAPE ◀▶)ボタンを押します

演奏を開始します。
演奏方向は、前に演奏していた方向となります。

演奏方向を切りかえるには....

押すごとに切りかわります。
◀（リバース方向）←→ ▶（フォワード方向）
テープをカセットホルダーにセットするとき、A面を上にすれば▶がA面に、◀がB面になります。

3. メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押して、リバースモードを選びます。手順4と5の操作は不要です。

4. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"PLAY MODE"を選びます

5. エンター(ENTER)ボタンを押します

6. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、リバースモードを選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

（片道）：片面だけ演奏して停止します。

（往復）：片面を1回ずつ（両面）演奏して停止します。

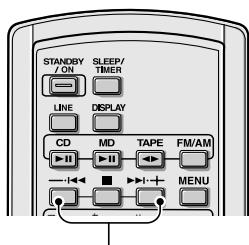
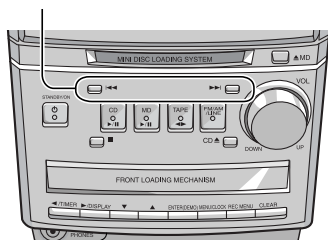
（連続）：最大16面まで繰り返し演奏してから停止します。

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押します。押すごとに、リバースモードが切りかわります。

演奏を停止するには....

停止(■)ボタンを押します。

曲の頭出しをする

ミュージックサーチともいいます。演奏中に、いま聞いている曲や次の曲の頭出しをします。飛び越し選曲もできます。（飛び越し設定ができる曲数は、それぞれ15曲までです。）

ー・◀◀ ボタンまたは ▶▶・＋ボタン

ー・◀◀ ボタンまたは ▶▶・＋ボタン

演奏方向が、▶（フォワード方向）でも ◀（リバース方向）でも同じ操作で頭出しを行ないます。

ー・◀◀ ボタンを演奏中に押します

聞いている曲の頭出しをします。押すごとに、前の曲を飛び越します。
例えば3曲目を演奏中に2回押すと、2曲目の頭出しを行ないます。

TAPE MS−02

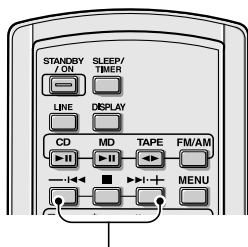
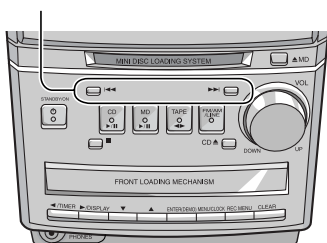
▶▶・＋ ボタンを演奏中に押します

次の曲の頭出しをします。押すごとに、曲を飛び越します。
例えば3曲目を演奏中に2回押すと、5曲目の頭出しを行ないます。

TAPE MS+02

次のようなテープを演奏しているときは、ミュージックサーチが正しく働かないことがあります。

◆ 曲と曲の間に4秒以上の無録音部分がないテープ
◆ クラッシック音楽などの小さな音が長く続く曲が入ったテープ
◆ 会議や英会話などの音声が途切れているテープ
◆無録音部分にノイズがあるテープ

早送り巻戻しをする

ー・◀◀ ボタンまたは ▶▶・＋ボタン

ー・◀◀ ボタンまたは ▶▶・＋ボタン

演奏方向が、▶（フォワード方向）でも ◀（リバース方向）でも同じ操作で早送り巻戻しを行ないます。停止中に操作します。

ー・◀◀ ボタンを押します

巻き戻しをします。

▶▶・＋ ボタンを押します

早送りをします。

FM/AM放送をテープに録音する

カセットテープの種類は、TYPE I（ノーマル）を使用してください。TYPE II（クローム/HIGH）またはTYPE IV（メタル）のカセットテープは、ご使用になれません。
テープの始めにリーダーテープ（録音できない部分）があるので、約5秒ほどテープを走行させておいてください。
誤消去防止ツメの折れているテープは録音できません。
ヘッドは定期的に清掃してください。（115ページ参照）

7 FM/AM/LINEボタン
2 テープ(TAPE ◄►)ボタン
1 テープイジェクト(PUSH OPEN ≜)部
8 ー・|◄◄ ボタンまたは ►►|・＋ ボタン
4,6,10 ▼ボタンまたは▲ボタン
9 録音メニュー(REC MENU)ボタン
停止(■)ボタン
5,11 エンター(ENTER)ボタン
3 メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタン

1. テープイジェクト(PUSH OPEN ≜)部を押して、カセットホルダーに録音用テープを入れます

カセットテープをホルダー内に入れます。
⬇
手でカセットホルダーを押して閉めます。

2. テープ(TAPE ◄►)ボタンを押して、録音方向を選びます

押すごとに切りかわります。録音開始方向を選んだら、停止(■)ボタンを押します。
◄（リバース方向） ◄──► ►（フォワード方向）
テープをカセットホルダーにセットするとき、A面を上にすれば►がA面に、◄がB面になります。

3. メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押して、リバースモードを選びます。手順4と5の操作は不要です。

4. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"PLAY MODE"を選びます

5. エンター(ENTER)ボタンを押します

6. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、リバースモードを選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

：片面だけ録音して停止します。

：片面を1回ずつ(両面)録音して停止します。ただし◄（リバース方向）から録音を開始した場合は、片面（リバース）録音が終わると停止します。

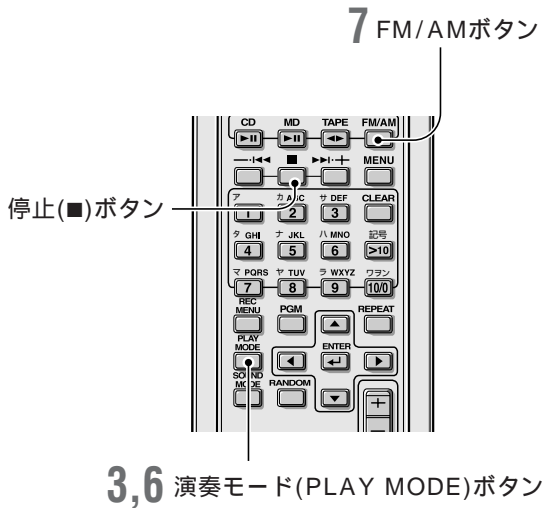
リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押します。押すごとに、リバースモードが切りかわります。

7. FM/AM/LINEボタンを押します

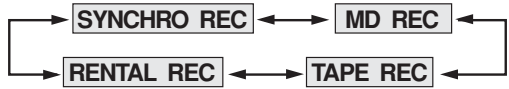
リモコンの場合は、FM/AMボタンを押します。

8. ー・|◄◄ボタン、または►►|・＋ボタンで、録音したい放送局のステーションを選びます

またはリモコンの数字ボタンでダイレクトに選びます。録音したい放送局がステーションに記憶されていない場合は、19ページを参照して選局してください。

9. 録音メニュー(REC MENU)ボタンを押して、録音メニューの選択表示にします

10. **▼ボタン、または▲ボタンを押して、"TAPE REC"を選びます**

押すごとに以下のように切りかわります。

●REC MENU ↓↑
TAPE REC

11. **エンター(ENTER)ボタンを押します**

テープの録音を開始します。

録音を停止するには....

停止(■)ボタンを押します。

AM 放送の雑音を減らして録音する

ビートカット(BEAT CUT)機能といいます。 AM放送を録音するときに、雑音（ピーというような音）が録音されるような場合は、ビートカット オンにすると雑音が低減されます。

1. **電源スイッチを押して、電源オフ（スタンバイ状態）にします**

2. **メニュー / クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します**

表示部のバックライトが点灯して、メニュー選択の表示になります。

3. **◄ボタン、または►ボタンを押して、オンかオフかを選択します**

TUNER BEATCUT◄►
ON / OFF

4. **エンター(ENTER)ボタンを押して決定します**

表示部のバックライトが消灯して、スタンバイ状態の時計表示に戻ります。

ビートカットオンに設定すると、チューナーファンクション時にマーク(■)が点灯します。

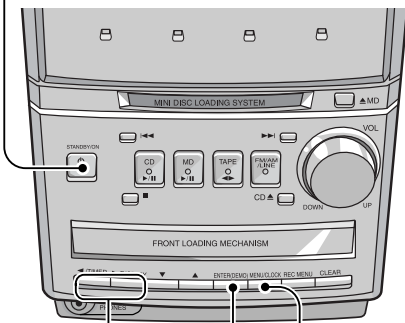
点灯します

テープに無録音部分を作る

一度録音したテープの音を消すことができます。

テープ(TAPE ◄►)ボタンを押して、ファンクションをテープにします。録音メニュー(REC MENU)ボタンを押してから、▼ボタン、または▲ボタンで"TAPE REC"を選びます。

エンター(ENTER)ボタンを押すと、消去を開始します。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断では使用できません。

注意

- ◆ 録音中には、CDやMDなどに切りかえることはできません。
- ◆ 録音するファンクションによっては、テープを演奏したときに音量が下がる場合があります。
- ◆ 本機はALC（Auto Level Control）により自動的に録音レベルを設定します。

CD の全曲を簡単にテープに録音する

CD シンクロ録音といいます。
カセットテープの種類は、TYPE Ⅰ（ノーマル）を使用してください。 TYPE Ⅱ（クローム /HIGH）または TYPE Ⅳ（メタル）のカセットテープは、ご使用になれません。
テープの始めにリーダーテープ（録音できない部分）があるので、約 5 秒ほどテープを走行させておいてください。
誤消去防止ツメの折れているテープは録音できません。
ヘッドは定期的に清掃してください。（115 ページ参照）

1. テープイジェクト(PUSH OPEN ⏏)部を押して、カセットホルダーに録音用テープを入れます

カセットテープをホルダー内に入れます。
⬇
手でカセットホルダーを押して閉めます。

2. テープ(TAPE ◀▶)ボタンを押して録音方向を選びます

押すごとに切りかわります。録音開始方向を選んだら、停止(■)ボタンを押します。
◀（リバース方向） ⟷ ▶（フォワード方向）
テープをカセットホルダーにセットするとき、A面を上にすれば ▶ が A 面に、◀ が B 面になります。

3. メニュー / クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押して、リバースモードを選びます。手順4と 5 の操作は不要です。

4. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"PLAY MODE" を選びます

5. エンター(ENTER)ボタンを押します

6. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、リバースモードを選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

⇄：片面だけ録音して停止します。

⊐ ⊏⊐：片面を1回ずつ（両面）録音して停止します。ただし◀（リバース方向）から録音を開始した場合は、片面（リバース）録音が終わると停止します。

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押します。押すごとに、リバースモードが切りかわります。

7. CD オープン / クローズ(CD ⏏)ボタンを押してトレイを開けます

8. ディスクをセットします

レーベル面（曲名などが印刷されている面）を上にしてセットします。

9. CDオープン／クローズ(CD ▲)ボタンを押してトレイを閉めます

10 録音メニュー(REC MENU)ボタンを押して、録音メニューの選択表示にします

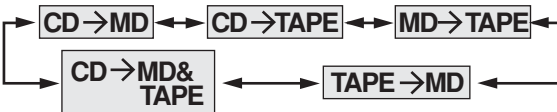
11 ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"SYN-CHRO REC"を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

●REC MENU ↓↑
SYNCHRO REC

12 エンター(ENTER)ボタンを押します

13 ▼ ボタン、または▲ ボタンを押して、"CD→TAPE"を選びます

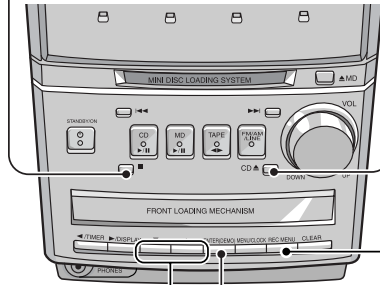
押すごとに以下のように切りかわります。

●SYNCHRO REC ↓↑
CD → TAPE

14 エンターボタン(ENTER)を押します

CDの演奏とテープの録音を開始します。
CDの演奏が終わると、テープも停止します。途中で止めるときは停止(■)ボタンを押します。

メモ

- テープがフォワード面（►）からリバース面（◄）へ反転する時に、録音中の曲が途中の状態でフォワード面（►）が終了してしまった場合は、リバース面の最初からその曲を録音し直します。

注意

◆ 録音するファンクションによっては、テープを演奏したときに音量が下がる場合があります。
◆ 本機はALC（Auto Level Control）により自動的に録音レベルを設定します。

CDの好きな曲だけテープに録音する

CDプログラムシンクロ録音といいます。
カセットテープの種類は、TYPE Ⅰ（ノーマル）を使用してください。 TYPE Ⅱ（クローム/HIGH）またはTYPE Ⅳ（メタル）のカセットテープは、ご使用になれません。
テープの始めにリーダーテープ（録音できない部分）があるので、約5秒ほどテープを走行させておいてください。
誤消去防止ツメの折れているテープは録音できません。
ヘッドは定期的に清掃してください。（115ページ参照）

7,9 CDオープン/クローズ(CD ▲)ボタン
停止(■)ボタン
2 テープ(TAPE ◀▶)ボタン
4,6,15,17 ▼ボタンまたは▲ボタン
14 録音メニュー(REC MODE)ボタン
5,16,18 エンター(ENTER)ボタン
3 メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタン

12 数字ボタン
10,11 プログラム(PGM)ボタン
3,6 演奏モード(PLAY MODE)ボタン

1. テープイジェクト(PUSH OPEN ▲)部を押して、カセットホルダーに録音用テープを入れます

カセットテープをホルダー内に入れます。
⬇
手でカセットホルダーを押して閉めます。

2. テープ(TAPE ◀▶)ボタンを押して、録音方向を選びます

押すごとに切りかわります。録音開始方向を選んだら、停止(■)ボタンを押します。
◀（リバース方向） ←→ ▶（フォワード方向）
テープをカセットホルダーにセットするとき、A面を上にすれば▶がA面に、◀がB面になります。

3. メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押して、リバースモードを選びます。手順4と5の操作は不要です。

4. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"PLAY MODE"を選びます

5. エンター(ENTER)ボタンを押します

6. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、リバースモードを選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

：片面だけ録音して停止します。

：片面を1回ずつ（両面）録音して停止します。ただし◀（リバース方向）から録音を開始した場合は、片面（リバース）録音が終わると停止します。

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押します。押すごとに、リバースモードが切りかわります。

7. CDオープン/クローズ(CD ▲)ボタンを押してトレイを開けます

8. ディスクをセットします

レーベル面（曲名などが印刷されている面）を上にしてセットします。

9. CDオープン／クローズ(CD ▲)ボタンを押してトレイを閉めます

10 CDの停止中に、プログラム(PGM)ボタンを押します

"PROGRAM PLAY ?"と表示されます。

11 2秒以内にもう一度、プログラム(PGM)ボタンを押します

12 数字ボタンで録音したい曲番号を選びます

PROGRAM
P01-06　5:01

PROGRAM

CDの6曲目を選んだときの表示

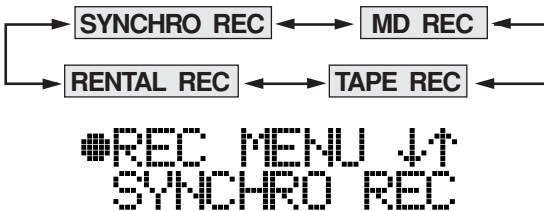
13 手順12を繰り返して、録音したい曲番号を選びます

選ぶ曲番号を間違えたときは、クリアー(CLEAR)ボタンを押します。押すごとに最後に選んだ曲から順に消えていきます。

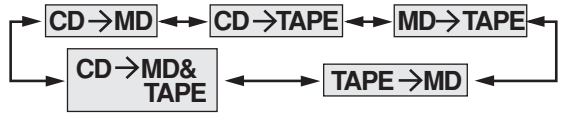
14 録音メニュー(REC MENU)ボタンを押して、録音メニューの選択表示にします

15 ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"SYNCHRO REC"を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

●REC MENU ↓↑
SYNCHRO REC

16 エンター(ENTER)ボタンを押します

17 ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"CD→TAPE"を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

●SYNCHRO REC ↓↑
CD → TAPE

18 エンター(ENTER)ボタンを押します

CDの演奏とテープの録音を開始します。
CDの演奏が終わると、テープも停止します。途中で止めるときは停止(■)ボタンを押します。

数字ボタン

数字ボタンでの曲番号の選びかた

1～9　：番号のボタンを押します。

10　　：10/0 を押します。

11以上：>10 を押してから番号を選びます。

メモ

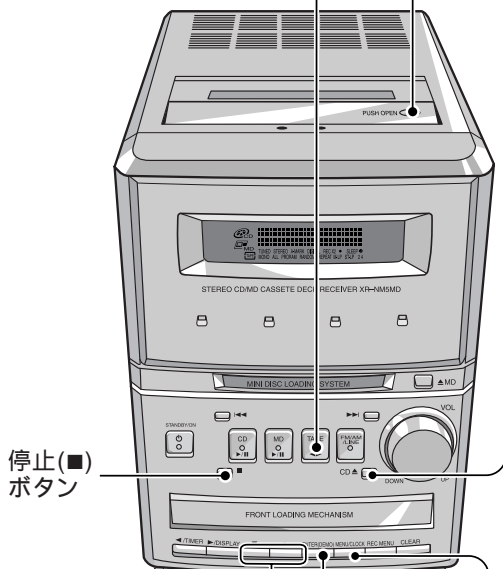
- テープがフォワード面（▶）からリバース面（◀）へ反転する時に、録音中の曲が途中の状態でフォワード面（▶）が終了してしまった場合は、リバース面の最初からその曲を録音し直します。

注意

◆ 録音するファンクションによっては、テープを演奏したときに音量が下がる場合があります。
◆ 本機はALC（Auto Level Control）により自動的に録音レベルを設定します。

CDの1曲目だけをテープに録音する

レンタルCD録音といいます。トレイにセットされているディスクの1曲目だけを録音します。シングルCDを録音するのに便利です。
カセットテープの種類は、TYPE I（ノーマル）を使用してください。TYPE II（クローム/HIGH）またはTYPE IV（メタル）のカセットテープは、ご使用になれません。
テープの始めにリーダーテープ（録音できない部分）があるので、約5秒ほどテープを走行させておいてください。
誤消去防止ツメの折れているテープは録音できません。
ヘッドは定期的に清掃してください。（115ページ参照）

7 CDオープン/クローズ(CD ▲)ボタン
1 テープイジェクト(PUSH OPEN ▲)部
2 テープ(TAPE ◀▶)ボタン
停止(■)ボタン
4,6 ▼ボタンまたは▲ボタン
3 メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタン
5 エンター(ENTER)ボタン

3,6 演奏モード(PLAY MODE)ボタン

1. テープイジェクト(PUSH OPEN ▲)部を押して、カセットホルダーに録音用テープを入れます

カセットテープをホルダー内に入れます。
⬇
手でカセットホルダーを押して閉めます。

2. テープ(TAPE ◀▶)ボタンを押して、録音方向を選びます

押すごとに切りかわります。録音開始方向を選んだら、停止(STOP ■)ボタンを押します。
◀（リバース方向） ←→ ▶（フォワード方向）
テープをカセットホルダーにセットするとき、A面を上にすれば▶がA面に、◀がB面になります。

3. メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押して、リバースモードを選びます。手順4と5の操作は不要です。

4. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"PLAY MODE"を選びます

5. エンター(ENTER)ボタンを押します

6. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、リバースモードを選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

：片面だけ録音して停止します。

：片面を1回ずつ（両面）録音して停止します。ただし◀（リバース方向）から録音を開始した場合は、片面（リバース）録音が終わると停止します。

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押します。押すごとに、リバースモードが切りかわります。

7. CDオープン/クローズ(CD ▲)ボタンを押してトレイを開けます

10 録音メニュー(REC MENU)ボタン

8. ディスクをセットします

レーベル面（曲名などが印刷されている面）を上にしてセットします。

9. CDオープンクローズ(CD ≜)ボタンを押してトレイを閉めます

10 録音メニュー(REC MODE)ボタンを押して、録音メニューの選択表示にします

11 ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"RENTAL REC"を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

●REC MENU ↓↑
RENTAL REC

12 エンター(ENTER)ボタンを押します

13 ▼ ボタン、または ▲ ボタンを押して、"CD→TAPE"を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

14 エンター(ENTER)ボタンを押します

CDの演奏とテープの録音を開始します。
CDの演奏が終わると、テープも停止します。途中で止めるときは停止(■)ボタンを押します。

メモ

- テープがフォワード面（►）からリバース面（◄）へ反転する時に、録音中の曲が途中の状態でフォワード面（►）が終了してしまった場合は、リバース面の最初からその曲を録音し直します。

注意

◆ 本機はALC（Auto Level Control）により自動的に録音レベルを設定します。
◆ 録音するファンクションによっては、テープを演奏したときに音量が下がる場合があります。

CD の途中の曲からテープに録音する

マニュアル録音といいます。
カセットテープの種類は、TYPE Ⅰ（ノーマル）を使用してください。TYPE Ⅱ（クローム/HIGH）または TYPE Ⅳ（メタル）のカセットテープは、ご使用になれません。
テープの始めにリーダーテープ（録音できない部分）があるので、約 5 秒ほどテープを走行させておいてください。
誤消去防止ツメの折れているテープは録音できません。
ヘッドは定期的に清掃してください。（115 ページ参照）

1. テープイジェクト(PUSH OPEN ≜)部を押して、カセットホルダーに録音用テープを入れます

カセットテープをホルダー内に入れます。
⬇
手でカセットホルダーを押して閉めます。

2. テープ(TAPE ◀▶)ボタンを押して、録音方向を選びます

押すごとに切りかわります。録音開始方向を選んだら、停止(STOP ■)ボタンを押します。
◀（リバース方向） ←→ ▶（フォワード方向）
テープをカセットホルダーにセットするとき、A面を上にすれば ▶ が A 面に、◀ が B 面になります。

3. メニュー / クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押して、リバースモードを選びます。手順 4 と 5 の操作は不要です。

4. ▼ボタン、または ▲ ボタンを押して、"PLAY MODE" を選びます

5. エンター(ENTER)ボタンを押します

6. ▼ボタン、または ▲ ボタンを押して、リバースモードを選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

：片面だけ録音して停止します。

：片面を1回ずつ（両面）録音して停止します。ただし ◀（リバース方向）から録音を開始した場合は、片面（リバース）録音が終わると停止します。

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押します。押すごとに、リバースモードが切りかわります。

7. CD オープン / クローズ(CD ≜)ボタンを押してトレイを開けます

8. ディスクをセットします

レーベル面（曲名などが印刷されている面）を上にしてセットします。

9. CDオープン／クローズ(CD ▲)ボタンを押してトレイを閉めます

CD(►/❚❚)ボタンを押してCDを演奏させ、もう一度CD(►/❚❚)ボタンを押して、一時停止状態にします。

10 録音を開始する曲を選びます

リモコンの数字ボタン、または ━・|◄◄ ボタンまたは►►|・✚ボタンで、録音を開始する曲を選びます。この時、演奏経過時間の表示が"0:00"でない場合は、曲の途中からの録音となりますので注意してください。

11 録音メニュー(REC MENU)ボタンを押して、録音メニューの選択表示にします

12 ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"TAPE REC"を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

●REC MENU ↓↑
TAPE REC

13 エンター(ENTER)ボタンを押します

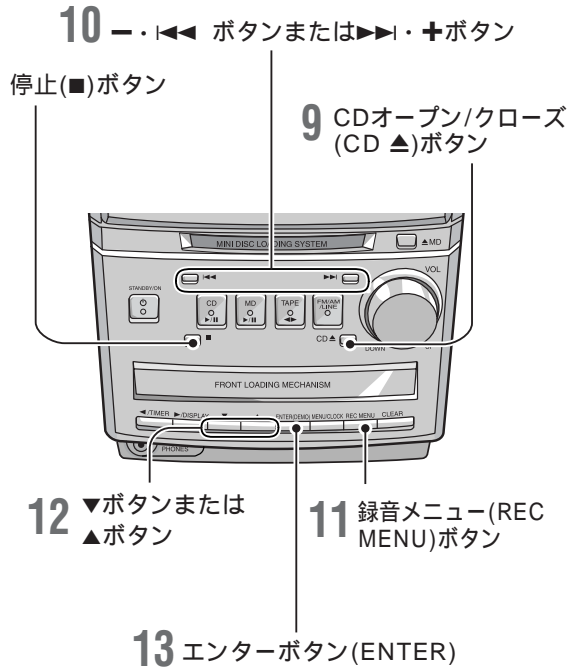
CD の演奏とテープの録音を開始します。
CD の演奏が終わると、テープも停止します。

途中で録音を止めたいとき

停止(■)ボタンを押します。
例えば CD の 5 曲目から 8 曲目までを録音する場合や5曲目だけを録音する場合は、手順10で5曲目を選び、録音を開始します。、録音している演奏を聞きながら、希望の録音が終了した時点で停止(■)ボタンを押します。

10 ━・|◄◄ ボタンまたは►►|・✚ボタン
停止(■)ボタン
9 CDオープン/クローズ(CD ▲)ボタン
12 ▼ボタンまたは▲ボタン
11 録音メニュー(REC MENU)ボタン
13 エンターボタン(ENTER)

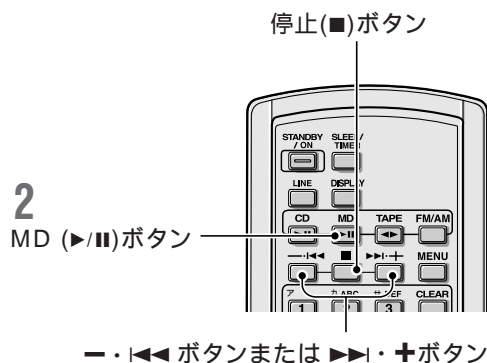
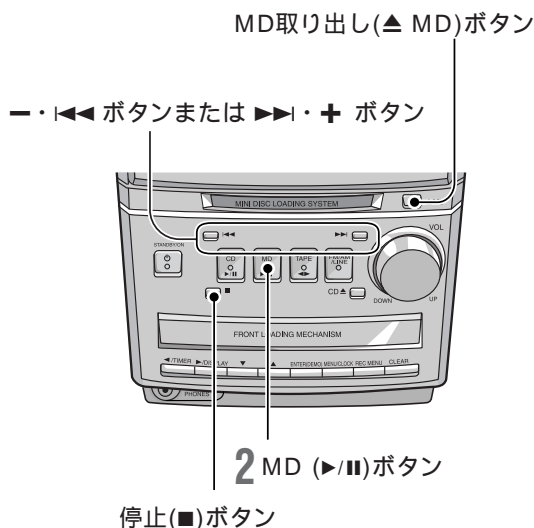
TAPE OPERATION

注意

◆ テープがフォワード面（►）からリバース面（◄）へ反転する間も、CD の演奏は継続されます。したがって録音されたテープは、その間の音は途切れたままの録音となります。
◆ 録音するファンクションによっては、テープを演奏したときに音量が下がる場合があります。
◆ 本機はALC（Auto Level Control）により自動的に録音レベルを設定します。

MDを聞く

MD取り出し(▲ MD)ボタン

ー・I◀◀ ボタンまたは ▶▶I・＋ ボタン

2 MD (▶/II)ボタン

停止(■)ボタン

1. MDを入れます

ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。
MDの情報（ディスク名や演奏時間など）が表示されます。
「再生専用MD」または「録音・再生MDで誤消去防止状態になっているもの」を挿入すると自動的に演奏を開始します。

2. MD (▶/II)ボタンを押します

曲名が入っているMDは、演奏時に曲名を表示します。

演奏をやめるには....

停止(■)ボタンを押します。

演奏を一時停止するには....

MD (▶/II)ボタンを押します。
もう一度押すと、演奏を再開します。

MDを取り出すには....

MD取り出し(▲ MD)ボタンを押します。

曲の頭出しをするには....

前の曲に戻るときは、 ー・I◀◀ ボタンを短く押します。押した回数だけ曲を飛び越します。演奏中に1回押すと、演奏している曲の頭に戻ります。
次の曲に移るときは、▶▶I・＋ ボタンを短く押します。押した回数だけ曲を飛び越します。

早送り・早戻しをするには....

早送りするには、演奏中に▶▶I・＋ ボタンを押し続けます。
早戻しするには、演奏中に ー・I◀◀ ボタンを押し続けます。

メモ

- MDでは演奏を開始する前にディスクの最初に記録されているTOC（トック）情報を読み取りますので、その間は音が出ません。
- 電源がオフの時にMDを入れることはできません。MDを入れる前に必ず電源がオンされていることを確認してください。

聞きたい曲を選ぶ

リモコンで操作します。

数字ボタン

聞きたい曲番号をリモコンの数字ボタンで選びます

ＭＤが停止中に数字ボタンで曲番号を選んだ場合は、選んだ曲の演奏を開始します。

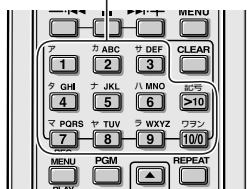
１～９　：番号のボタンを押す。

１０　　：[10/0] を押す。

１１以上：[>10] を押してから番号を選びます。

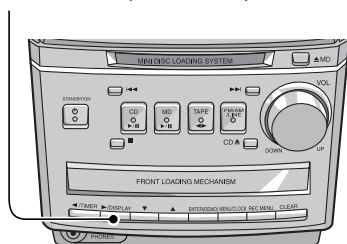
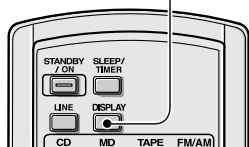
（例）　１５曲目　[>10] [1] [5]

　　　　２０曲目　[>10] [2] [10/0]

　　　　１０１曲目　[>10] [>10] [1] [10/0] [1]

注意

◆ 次の場合は数字ボタンで選ぶことはできません。
　ー・⏮ ボタン、または ⏭・＋ ボタンを押して曲を選んでください。
- プログラム演奏中
- ランダム演奏中
- シングルグループプレイモードでの演奏中

表示を切りかえる

ディスプレイ(DISPLAY)ボタン

ディスプレイ(DISPLAY)ボタン

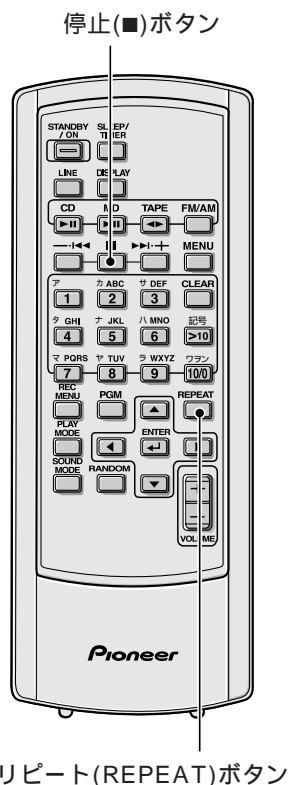
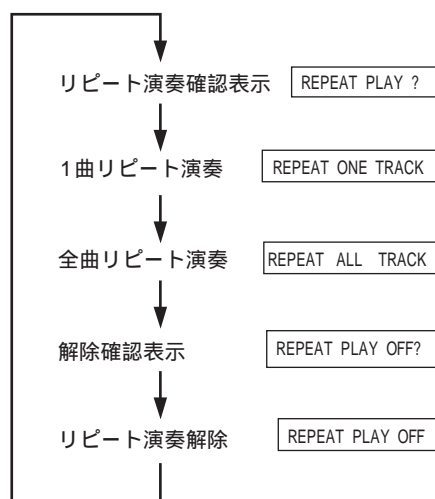
ディスプレイ(DISPLAY)ボタンを押します

押すごとに以下のように切りかわります。

メモ

- ［演奏終了までの残り時間］は表示されるまで時間がかかる場合があります。
- ［演奏終了までの残り時間］および［総演奏時間］は表示時間と実際の時間が若干違う場合があります。（１１７ページの（ＭＤのシステム上の制約）参照）

繰り返し演奏する

リピート演奏といいます。演奏している１曲だけを繰り返す１曲リピートとディスクの全曲を繰り返す全曲リピートとがあります。リモコンで操作します。

リピート(REPEAT)ボタンを押します

２秒以内に押すごとに、以下のように切りかわります。

１曲リピートを選択すると、本体表示部の"REPEAT"が点滅し、全曲リピートを選択すると、本体表示部の"REPEAT"が点灯します。

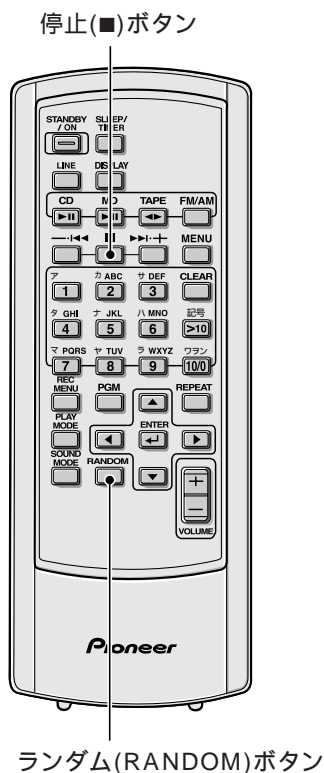
リピート演奏を停止する

停止(■)ボタンを押します。

メモ

- １曲リピート演奏中に ー・|◀◀ ボタンか ▶▶|・＋ ボタン、またはリモコンの数字ボタンを押して別の曲に移ったときは、その曲を繰り返し演奏します。
- 1曲リピート中にランダム(RANDOM)ボタンを連続で2回押すとリピート演奏は解除され、ランダム演奏を開始します。また、全曲リピート中にランダム(RANDOM)ボタンを連続で2回押すとディスクの全曲を順不同（ランダム）に繰り返します。
  (ランダムリピート演奏といいます。)

順不同で演奏する

ランダム演奏といいます。曲を無作為に選んで 1 回ずつ演奏します。リモコンで操作します。

1. **ランダム(RANDOM)ボタンを押します**
確認の表示になります。

RANDOM PLAY ?

2. **2 秒以内にもう一度、ランダム(RANDOM)ボタンを押します**
ランダム演奏を開始します。
本体表示部の "RANDOM" が点灯します。

ランダム演奏を解除する

1. **ランダム(RANDOM)ボタンを押します**
確認の表示になります。

RANDOM PLAY OFF?

2. **2 秒以内にもう一度、ランダム(RANDOM)ボタンを押します**
ランダム演奏が解除され演奏は停止します。

ランダム演奏を停止する

停止(■)ボタンを押します。演奏が停止して、ランダム演奏は解除されます。

メモ

- ランダム演奏中にリピート(REPEAT)ボタンを連続して 2 回押すと、"RANDOM REPEAT ALL TRACK" と表示され、ディスクの全曲をランダムに繰返し再生します。
(ランダムリピート演奏といいます。)

好きな曲を好きな順番で聞く

プログラム演奏といいます。好きな曲を最大30ステップまで登録することができます。
リモコンで操作します。
プログラム登録した順番に、そのまま曲を並べかえることもできます。(プログラムムーブ機能79ページ参照)

数字ボタン

数字ボタンでの曲番号の選びかた

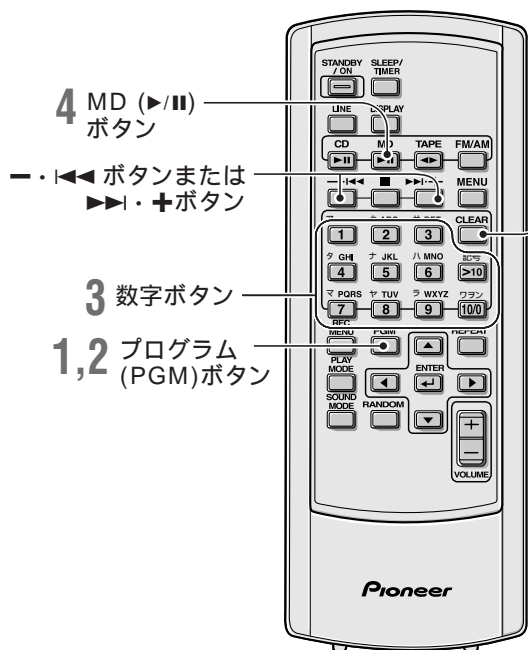
1～9　：番号のボタンを押します。

10　　：[10/0] を押します。

11以上：[>10] を押してから番号を選びます。

（例）15曲目　[>10] [1] [5]

20曲目　[>10] [2] [10/0]

101曲目　[>10] [>10] [1] [10/0] [1]

例）6曲目、31曲目の順に演奏する場合

1. MDの停止中に、プログラム(PGM)ボタンを押します

確認の表示になります。

PROGRAM PLAY ?

2. 2秒以内にもう一度、プログラム(PGM)ボタンを押します

PROGRAM
P01-　　0:00

PROGRAM

3. 数字ボタンで聞きたい曲番号を登録します

聞きたい曲の順番に、曲番号を登録していきます。
6曲目を登録します

4. MD (▶/II)ボタンを押します

プログラム登録した順に演奏を開始します。

登録中に曲番を間違えたとき

クリアー(CLEAR)ボタンを押します

押すごとに最後に登録した曲から順に消えていきます。

プログラム登録した内容を確認する

停止中にー・I◀◀ボタン、または▶▶I・＋ボタンを押します

プログラム登録した1曲だけを消す

1. 停止中にー・I◀◀ ボタン、または▶▶I・＋ ボタンを押します

消したい曲が表示されるまで ー・I◀◀ ボタン、または ▶▶I・＋ ボタンを押します。

2. 3秒以内にクリアー(CLEAR)ボタンを押します

表示されている曲だけが消え、その後に登録した曲のステップが順に繰り上がります。

登録する曲を追加する

1. **プログラム演奏を停止させます**

2. **プログラム(PGM)ボタンを押します**

確認の表示になります。

PROGRAM PLAY ?

3. **2 秒以内にもう一度、プログラム(PGM)ボタンを押します**

4. **登録する曲番号を選びます**

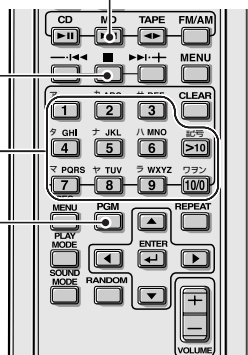
数字ボタンで曲番号を選びます。
MD (▶/II)ボタンを押すと、プログラムした順に演奏を開始します。

5. **MD (▶/II)ボタンを押します**

プログラムした順に演奏を開始します。

プログラム登録した内容をすべて消す

以下のいずれかの操作で登録した内容をすべて消去することができます

- 演奏中に停止(■)ボタンを 2 回押します。
- 停止中に停止(■)ボタンを 1 回押します。
- MD 取り出し(▲ MD)ボタンを押してディスクを取り出します。

メモ

- プログラム演奏中にリピート(REPEAT)ボタンを押して "PROGRAM REPEAT ALL TRACK" を表示させると、プログラムされた全曲を繰り返し演奏します。
  (プログラムリピート演奏といいます。)
  さらにリピート(REPEAT)ボタンを押して"REPEAT PLAY OFF" を表示させると、リピート演奏は解除され、通常のプログラム演奏に戻ります。
- プログラム演奏中にランダム(RANDOM)ボタンを2回押すと、プログラム演奏が解除されランダム演奏します。
- シングルプレイモードではプログラム機能は使えません。

注意

◆ プログラム演奏中にMD取り出し(▲ MD)ボタンを押すと、プログラム演奏は解除されます。

MDの全曲を簡単にテープに録音する

MD シンクロ録音といいます。
カセットテープの種類は、TYPE Ⅰ（ノーマル）を使用してください。 TYPE Ⅱ（クローム/HIGH）または TYPE Ⅳ（メタル）のカセットテープは、ご使用になれません。
テープの始めにリーダーテープ（録音できない部分）があるので、約5秒ほどテープを走行させておいてください。
誤消去防止ツメの折れているテープは録音できません。
ヘッドは定期的に清掃してください。（115ページ参照）

1. テープイジェクト(PUSH OPEN ≜)部を押して、カセットホルダーに録音用テープを入れます

カセットテープをホルダー内に入れます。
⬇
手でカセットホルダーを押して閉めます。

2. テープ(TAPE ◀▶)ボタンを押して録音方向を選びます

押すごとに切りかわります。録音開始方向を選んだら、停止(■)ボタンを押します。

◀（リバース方向） ←→ ▶（フォワード方向）

テープをカセットホルダーにセットするとき、A面を上にすれば ▶ が A 面に、◀ が B 面になります。

3. メニュー / クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押して、リバースモードを選びます。手順4と5の操作は不要です。

4. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"PLAY MODE"を選びます

5. エンター(ENTER)ボタンを押します

6. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、リバースモードを選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

：片面だけ録音して停止します。

：片面を1回ずつ（両面）録音して停止します。ただし◀（リバース方向）から録音を開始した場合は、片面（リバース）録音が終わると停止します。

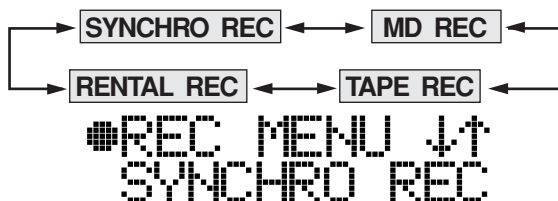
リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押します。押すごとに、リバースモードが切りかわります。

7. MDを入れます

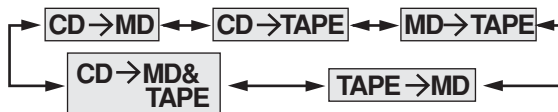
ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。
「再生専用MD」または「録音・再生MDで誤消去防止状態になっているもの」を挿入すると演奏を開始しますので、**停止(■)ボタンを押します。**

8. 録音メニュー(REC MENU)ボタンを押して、録音メニューの選択表示にします

9. ▼ ボタン、または ▲ ボタンを押して、"SYNCHRO REC"を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

10 エンター(ENTER)ボタンを押します

11 ▼ ボタン、または ▲ ボタンを押して、"MD→TAPE"を選びます

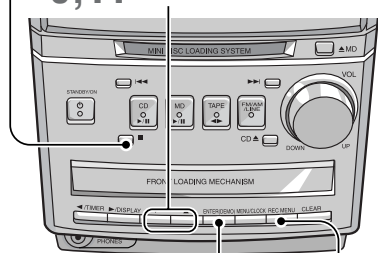
押すごとに以下のように切りかわります。

●SYNCHRO REC ↓↑
MD → TAPE

12 エンター(ENTER)ボタンを押します

MDの演奏とテープの録音を開始します。
MDの演奏が終わると、テープも停止します。途中で止めるときは停止(■)ボタンを押します。

● テープがフォワード面（►）からリバース面（◄）へ反転する時に、録音中の曲が途中の状態でフォワード面（►）が終了してしまった場合は、リバース面の最初からその曲を録音し直します。

◆ 録音するファンクションによっては、テープを演奏したときに音量が下がる場合があります。
◆ 本機はALC（Auto Level Control）により自動的に録音レベルを設定します。

MD OPERATION

MDの好きな曲だけテープに録音する

MD プログラムシンクロ録音といいます。
カセットテープの種類は、TYPE Ⅰ（ノーマル）を使用してください。TYPE Ⅱ（クローム /HIGH）または TYPE Ⅳ（メタル）のカセットテープは、ご使用になれません。
テープの始めにリーダーテープ（録音できない部分）があるので、約 5 秒ほどテープを走行させておいてください。
誤消去防止ツメの折れているテープは録音できません。
ヘッドは定期的に清掃してください。（115 ページ参照）

9 停止(■)ボタン

1. テープイジェクト(PUSH OPEN ▲)部を押して、カセットホルダーに録音用テープを入れます

カセットテープをホルダー内に入れます。
⬇
手でカセットホルダーを押して閉めます。

2. テープ(TAPE ◀▶)ボタンを押して、録音方向を選びます

押すごとに切りかわります。録音開始方向を選んだら、停止(■)ボタンを押します。
◀（リバース方向） ←→ ▶（フォワード方向）
テープをカセットホルダーにセットするとき、A面を上にすれば ▶ が A 面に、◀ が B 面になります。

3. メニュー / クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押して、リバースモードを選びます。手順4と 5 の操作は不要です。

4. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"PLAY MODE"を選びます

5. エンター(ENTER)ボタンを押します

6. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、リバースモードを選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

：片面だけ録音して停止します。

：片面を1回ずつ（両面）録音して停止します。ただし ◀（リバース方向）から録音を開始した場合は、片面（リバース）録音が終わると停止します。

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押します。押すごとに、リバースモードが切りかわります。

7. MD を入れます

ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。

8. MD (▶/II)ボタンを押します

「再生専用MD」または「録音・再生MDで誤消去防止状態になっているもの」を挿入すると自動的に演奏を開始します。

9. 停止(■)ボタンを押します

MDの情報（ディスク名や演奏時間など）が表示されます。

10 MDの停止中に、プログラム(PGM)ボタンを押します

"PROGRAM PLAY ?"と表示されます。

11 2秒以内にもう一度、プログラム(PGM)ボタンを押します

PROGRAM
P01-　　0:00

ALL　PROGRAM

12 数字ボタンで録音したい曲番号を登録します

録音したい曲の順番に曲番号を登録していきます。登録中に曲番を間違えたときは、クリアー(CLEAR)ボタンを押します。押すごとに最後に登録した曲から順に消えていきます。

6曲目を登録します

PROGRAM
P01-006　5:01
PROGRAM

↓

PROGRAM
P02-　　5:01
PROGRAM

↓

31曲目を登録します

>10　3　1

数字ボタンについて

リモコンの数字ボタンでの曲番号の選びかた

1～9　：番号のボタンを押します。

10　：10/0 を押します。

11以上　：>10 を押してから番号を選びます。

（例）15曲目　>10　1　5

20曲目　>10　2　10/0

101曲目　>10　>10　1　10/0　1

13 録音メニュー(REC MENU)ボタンを押して、録音メニューの選択表示にします

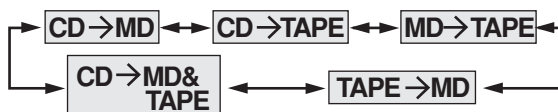
14 ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"SYNCHRO REC"を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

●REC MENU ↓↑
SYNCHRO REC

15 エンター(ENTER)ボタンを押します

16 ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"MD→TAPE"を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

●SYNCHRO REC ↓↑
MD → TAPE

17 エンター(ENTER)ボタンを押します

MDの演奏とテープの録音を開始します。
MDの演奏が終わると、テープも停止します。途中で止めるときは停止(■)ボタンを押します。

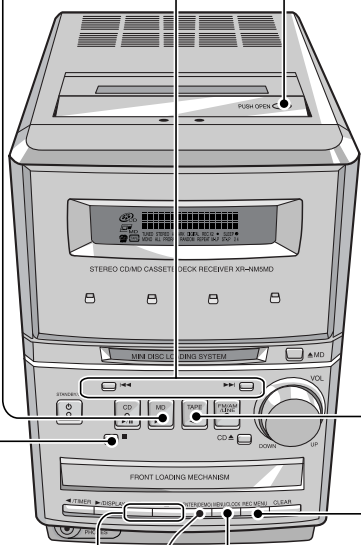
メモ

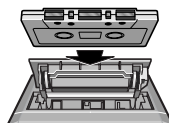
- テープがフォワード面（▶）からリバース面（◀）へ反転する時に、録音中の曲が途中の状態でフォワード面（▶）が終了してしまった場合は、リバース面の最初からその曲を録音し直します。

注意

◆ 録音するファンクションによっては、テープを演奏したときに音量が下がる場合があります。
◆ 本機はALC（Auto Level Control）により自動的に録音レベルを設定します。

MDの途中の曲から
テープに録音する

マニュアル録音といいます。
カセットテープの種類は、TYPE Ⅰ（ノーマル）を使用してください。 TYPE Ⅱ（クローム/HIGH）またはTYPE Ⅳ（メタル）のカセットテープは、ご使用になれません。
テープの始めにリーダーテープ（録音できない部分）があるので、約5秒ほどテープを走行させておいてください。
誤消去防止ツメの折れているテープは録音できません。
ヘッドは定期的に清掃してください。（115ページ参照）

1. テープイジェクト(PUSH OPEN ≜)部を押して、カセットホルダーに録音用テープを入れます

カセットテープをホルダー内に入れます。
⬇
手でカセットホルダーを押して閉めます。

2. テープ(TAPE ◀▶)ボタンを押して演奏させて、録音方向を選びます

押すごとに切りかわります。録音開始方向を選んだら、停止(STOP ■)ボタンを押します。
◀（リバース方向） ←→ ▶（フォワード方向）
テープをカセットホルダーにセットするとき、A面を上にすれば▶がA面に、◀がB面になります。

3. メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押して、リバースモードを選びます。手順4と5の操作は不要です。

4. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"PLAY MODE"を選びます

5. エンター(ENTER)ボタンを押します

6. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、リバースモードを選びます

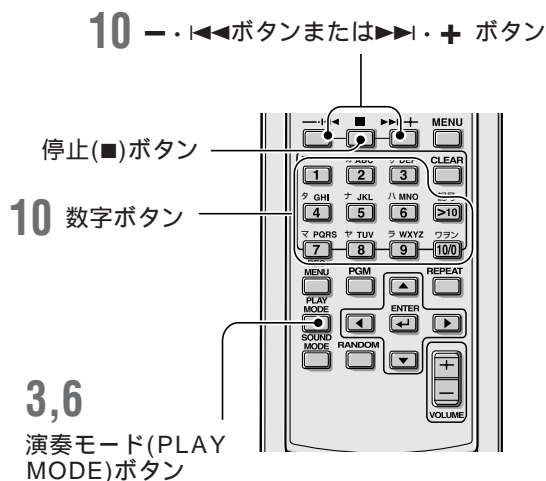
押すごとに以下のように切りかわります。

⇄：片面だけ録音して停止します。

⊐ ⟲：片面を1回ずつ（両面）録音して停止します。ただし◀（リバース方向）から録音を開始した場合は、片面（リバース）録音が終わると停止します。

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押します。押すごとに、リバースモードが切りかわります。

7. MDを入れます

ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。

8. MD (▶/II)ボタンを押します

「再生専用 MD」または「録音・再生 MD で誤消去防止状態になっているもの」を挿入すると自動的に演奏を開始します。

9. MD (▶/II)ボタンを押して一時停止させます

10 録音を開始する曲を選びます

リモコンの数字ボタン、または ー・⏮ ボタン、⏭・＋ ボタンで、録音を開始する曲を選びます。この時、演奏経過時間の表示が"0:00"でない場合は、曲の途中からの録音となりますので注意してください。

11 録音メニュー(REC MENU ボタンを押して、録音メニューの選択表示にします

12 ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"TAPE REC"を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

REC MENU ↓↑
TAPE REC

13 エンター(ENTER)ボタンを押します

MD の演奏とテープの録音を開始します。
MD の演奏が終わると、テープも停止します。

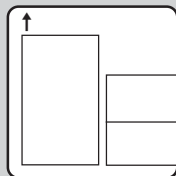
途中で録音を止めたいとき

停止(■)ボタンを押します。
例えば MD の 5 曲目から 8 曲目までを録音する場合や 5 曲目だけを録音する場合は、手順 10 で 5 曲目を選び、録音を開始します。、録音している演奏を聞きながら、希望の録音が終了した時点で停止(■)ボタンを押します。

注意

- ◆ テープがフォワード面（▶）からリバース面（◀）へ反転する間も、MD の演奏は継続されます。したがって録音されたテープは、その間の音は途切れたままの録音となります。
- ◆ 録音するファンクションによっては、テープを演奏したときに音量が下がる場合があります。
- ◆ 本機は ALC（Auto Level Control）により自動的に録音レベルを設定します。

MD録音の基礎知識

テープ録音との違い！

TOC（トック）が記録されています

曲や音声と共に、曲番・曲名や録音場所など、曲を認識するための情報として（TOC:Table of Contents）が記録されています。

裏面には録音できません

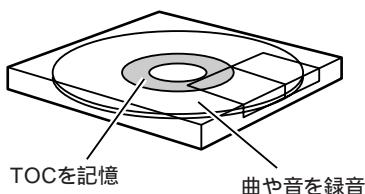
裏に入れようとしても、入らない構造になっています。

録音開始場所を探す必要はありません

録音できる場所を自動的に探して、そこから録音を始めます。

録音前に録音できる時間を確認できます

■ MDに記録される情報（TOC）

演奏や編集をするときには、曲番・曲名や録音場所など、曲を認識するための情報としてTOCを手がかりに動作しています。したがってMDで曲の録音をしたり編集作業をした場合は、TOC情報もディスクに記録しますし、TOC情報を書き換えたりもしています。
ですから正しく曲の録音作業を行なってもTOC情報が正しくディスクに書かれない場合は、正しい演奏ができません。

TOCはいつMDに記録される？

- MDを取り出しているとき
- 電源を切ったとき

TOCを記録するときの注意

- TOCの記録中に電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。TOCが正しく記録されず、正しく再生できない場合があります。

録音中に停電すると？

- MDへの録音中にコンセントが抜けたり停電すると、そのときの録音内容はすべて消えてしまいます。すでに録音してあるMDに録音していた場合は、追加していた部分が消えます。これは、TOCが記録できないためです。

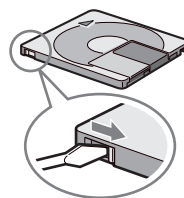
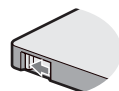
■ なぜMDは録音開始前に録音場所を探す必要がないのか？

録音した曲の曲名や曲順、録音場所といった情報をTOCで管理しているからです。ですからTOC情報を見れば、録音を開始する前に、録音できるディスクの残り時間を知ることができるのです。

■次のようなときは録音できません。

- 再生専用MD（市販の音楽ソフト）に録音しようとしたとき
- MDが誤消去防止状態になっているとき
- MDの録音可能時間が残っていないとき
- "TOC FULL" が表示されたとき
- TOCが異常の時

録音したMDを誤消去しないために

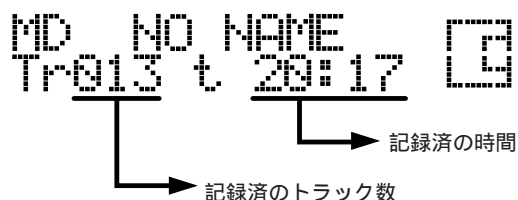
側面にある誤消去防止つまみを開けると録音できなくなります。

再び録音や編集をしたいときは、つまみを閉じます。

TOC 情報で録音できる時間を確かめる

MDを挿入すると、TOC情報から録音可能な時間を知ることができます。

TOC データがない MD

未使用の録音再生用MDのことで、BLANK（ブランク）と表示されるので、ブランク・ディスクともいいます。したがって、MDの記録可能時間すべて録音することができます。

TOC データあり / ディスクの名前なしの MD

録音済の録音再生用 MD、または再生専用 MD で、ディスクの名前を入力していない状態の MD。
MD の録音可能時間から記録済の時間を引けば、残記録時間がわかります。
下の図の例の場合は、
74 分（録音可能時間）－ 20 分 17 秒で＝ 53 分 43 秒

＊LP2、LP4 モードで録音した場合の残記録時間は、それぞれ 2 倍、4 倍になります。

TOC データあり / ディスクの名前ありの MD

ディスクに名前が入力されている、録音済の録音再生用 MD、または再生専用 MD。
ディスクの名前は、最大 100 文字まで表示します。
MD の録音可能時間から記録済の時間を引けば、残記録時間がわかります。

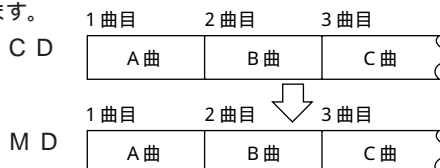
TOC データがいっぱいの MD

MD には、最大で 255 曲までの TOC 情報しか記録できません。
TOC FULLと表示され、このままでは新たに曲を録音することはできません。曲を消去（トラックイレース）するか、全曲消去（オールイレース）してください。(80、81 ページ参照)

曲番号について

MD に曲や音声を録音すると、自動的に曲番号がつけられます。追加録音したときは、順に曲番号が大きくなります。

CD から録音したとき

CDなどについている曲番号と同じ所に、1曲ごとの曲番号が自動的につきます。ただし 4 秒以下の曲がある場合などは、CD の曲番号と録音した MD の曲番号が一致しないことがあります。

ラジオ放送から録音したとき

1 回の録音内容を 1 曲として曲番号がつきます。

テープや外部機器から録音したとき

1.5 秒以上の無音部分があると、曲間と判断して曲番号が自動的につきます（オートマーク機能）。

- 信号に雑音があるときなど、録音する内容によっては、正しい位置に曲番号がつかないこともあります。
- オートマーク機能を使わずに、ひと続きの曲として記録することもできます。(73 ページ参照)

CD から MD に録音したときの注意

本機ではCDからMDへ録音する場合、「デジタル録音」と「アナログ録音」が選択できます。本機で CD からデジタル録音した MD を、他の機器で別の MD や CD-R などにデジタル録音することはできません。また、別の機器で録音した CD-R などから、本機でMDへデジタル録音することはできません。これは、**SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）**により定められているためです。
本機で CD からデジタル録音した MD を、他の MD などのデジタル録音機器に録音する場合は、アナログで録音してください。また、他の機器でデジタル録音された CD-R などを本機で録音する場合は、アナログ録音に切りかえてください。

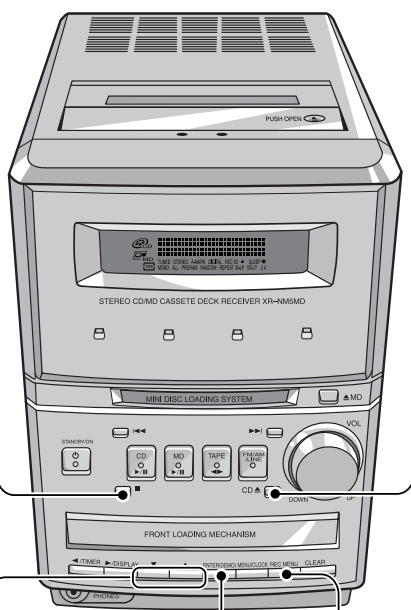
LP2、LP4 録音について

本機で LP2、LP4 モードで録音した曲は、MDLP 対応機器以外では再生できません。
LP4 モードでの録音は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を可能にしているので、ごくまれに雑音が録音される可能性があります。
音質を重視する録音をする場合は、通常のステレオ録音か、モノラル長時間録音（M-LPモード）での録音をおすすめします。

CD の全曲を簡単に MD に録音する

CD シンクロ録音といいます。
デジタル録音かアナログ録音かを選択できます。（69 ページ参照）
本機の録音レベルはあらかじめ固定されています。
MD は自動的に録音されていない場所から録音を開始します。テープのように頭出しをする必要はありません。
MD 記録曲数は最大 255 曲です。ただし、録音、消去、編集をくり返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。
CDシンクロ録音の場合､ディスクごとに自動的にグループ化をおこないます。（92 ページ参照）

停止(■)ボタン

2,4 CDオープン/クローズ (CD ≜)ボタン

5 録音メニュー(REC MENU)ボタン

7,9 エンター(ENTER)ボタン

6,8 ▼ボタンまたは▲ボタン

1. **録音用の MD を入れます**

ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。
誤消去防止状態になっているMDには録音できません。（52ページ参照）
ディスクの録音可能時間を知ることができます。（53,74ページ参照）

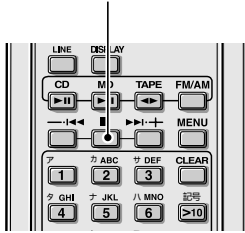
2. **CD オープン / クローズ(CD ≜)ボタンを押してトレイを開けます**

3. **ディスクをセットします**

レーベル面（曲名などが印刷されている面）を上にしてセットします。

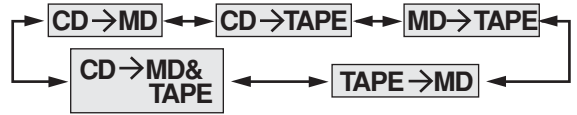
4. **CD オープン / クローズ(CD ≜)ボタンを押してトレイを閉めます**

5. **録音メニュー(REC MENU)ボタンを押して、録音メニューの選択表示にします**

6. **▼ ボタン、または ▲ ボタンを押して、"SYNCHRO REC" を選びます**

押すごとに以下のように切りかわります。

7. **エンター(ENTER)ボタンを押します**

8. **▼ ボタン、または ▲ ボタンを押して、"CD→MD"を選びます**

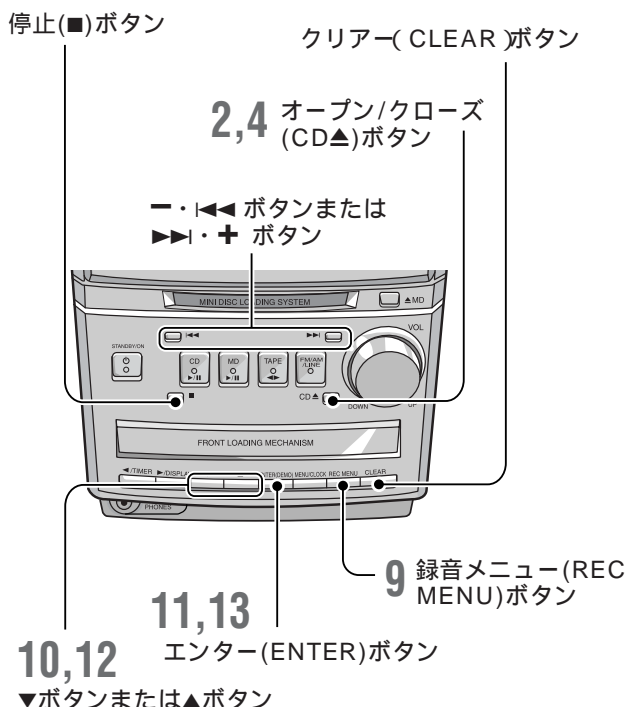
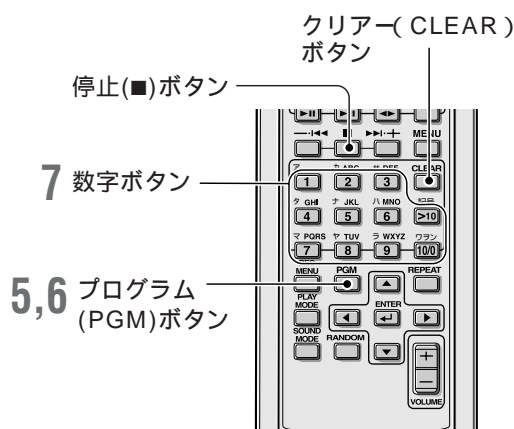
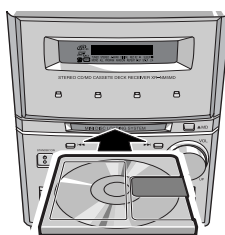
押すごとに以下のように切りかわります。

9. **エンター(ENTER)ボタンを押します**

CD の演奏と MD の録音を開始します。
CD の演奏が終わると、MD も停止します。途中で止めるときは停止(■)ボタンを押します。

メモ

- CD の曲番号と同じ所に、1 曲ごとの曲番号が自動的につきます。ただし 4 秒以下の曲がある場合などは、CDの曲番号と録音したMDの曲番号が一致しないことがあります。

CDの好きな曲だけMDに録音する

CDプログラムシンクロ録音といいます。
デジタル録音かアナログ録音かを選択できます。（69ページ参照）
MDは自動的に録音されていない場所から録音を開始します。テープのように頭出しをする必要はありません。
本機の録音レベルはあらかじめ固定されています。
MD記録曲数は最大255曲です。ただし、録音、消去、編集をくり返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。

1. 録音用のMDを入れます

ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。
誤消去防止状態になっているMDには録音できません。（52ページ参照）
ディスクの録音可能時間を知ることができます。（53,74ページ参照）

2. CDオープン/クローズ（CD ▲）ボタンを押してトレイを開けます

3. ディスクをセットします

レーベル面（曲名などが印刷されている面）を上にしてセットします。

4. CDオープン/クローズ（CD ▲）ボタンを押してトレイを閉めます

5. CDの停止中に、プログラム（PGM）ボタンを押します

"PROGRAM PLAY ?"と表示されます。

6. 2秒以内にもう一度、プログラム（PGM）ボタンを押します

7. 数字ボタンで録音したい曲番号を選びます

PROGRAM
P01-06 5:01

PROGRAM

CDの6曲目を選んだときの表示

8. 手順7を繰り返して、録音したい曲番号を選びます

選ぶ曲番号を間違えたときは、クリアー（CLEAR）ボタンを押します。押すごとに最後に選んだ曲から順に消えていきます。

9. **録音メニュー(REC MENU)ボタンを押して、録音メニューの選択表示にします**

10 **▼ボタン、または▲ボタンを押して、"SYN-CHRO REC"を選びます**

押すごとに以下のように切りかわります。

11 **エンター(ENTER)ボタンを押します**

12 **▼ボタン、または▲ボタンを押して、"CD→MD"を選びます**

押すごとに以下のように切りかわります。

CD→MD ↔ CD→TAPE ↔ MD→TAPE
CD→MD& TAPE ↔ TAPE→MD

SYNCHRO REC ↓↑
CD → MD

13 **エンター(ENTER)ボタンを押します**

CDの演奏とMDの録音を開始します。
CDの演奏が終わると、MDも停止します。途中で止めるときは停止(■)ボタンを押します。

"REC TIME OVER"表示が出たとき...

CDプログラムシンクロ録音において、好きな曲として選んだ曲のトータル時間よりもMDの録音可能時間が不足していると、"REC TIME OVER"と表示されます。数秒後に自動的に、"RE PROGRAM ?"と表示されます。
下記の手順にしたがって、"好きな曲を選び直す"または、"そのまま録音する"を選択してください。

好きな曲を選び直すとき

1. **エンター(ENTER)ボタンを押します**

2. **−・⏮ボタン、または⏭・+ボタンを押します**

登録してあるプログラムの曲の中から、消去する曲を選びます。

3. **クリアー(CLEAR)ボタンを押して、プログラムから選んだ曲を消去します**

4. **手順9～13を行ないます**

そのまま録音をするとき

1. **▼ボタンを押して、"REC CONTINUE ?"を選びます**

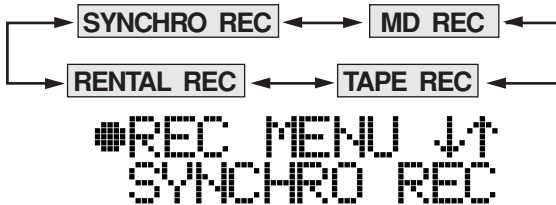
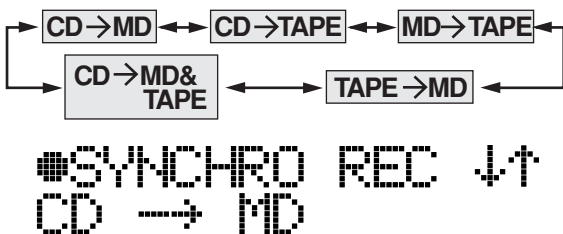
2. **エンター(ENTER)ボタンを押します**

そのまま録音をはじめます。録音終了後、MDが停止するとCDも停止します。
ただしこの場合は、すべての曲がMDに録音されるわけではありません。

数字ボタン

数字ボタンでの曲番号の選びかた

1～9　：番号のボタンを押します。
10　　：10/0 を押します。
11以上：>10 を押してから番号を選びます。

MD OPERATION

CDの1曲目だけをMDに録音する

レンタルCD録音といいます。ディスクの1曲目だけを録音します。シングルCDを録音するのに便利です。デジタル録音かアナログ録音かを選択できます。(69ページ参照)
本機の録音レベルはあらかじめ固定されています。
MDは自動的に録音されていない場所から録音を開始します。テープのように頭出しをする必要はありません。
MD記録曲数は最大255曲です。ただし、録音、消去、編集をくり返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。

1. 録音用のMDを入れます

ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。
誤消去防止状態になっているMDには録音できません。(52ページ参照)
ディスクの録音可能時間を知ることができます。(53,74ページ参照)

2. CDオープン/クローズ(CD ≜)ボタンを押してトレイを開けます

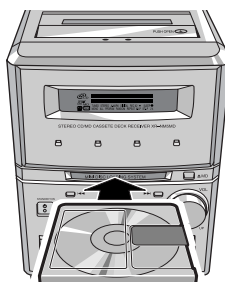
3. ディスクをセットします

レーベル面(曲名などが印刷されている面)を上にしてセットします。

4. CDオープン/クローズ(CD ≜)ボタンを押してトレイを閉めます

5. 録音メニュー(REC MENU)ボタンを押して、録音メニューの選択表示にします

6. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"RENTAL REC"を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

SYNCHRO REC ⟷ MD REC
RENTAL REC ⟷ TAPE REC

7. エンター(ENTER)ボタンを押します

8. **▼ボタン、または▲ボタンを押して、"CD → MD"を選びます**

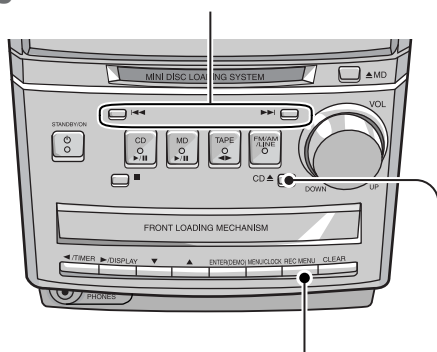
押すごとに以下のように切りかわります。

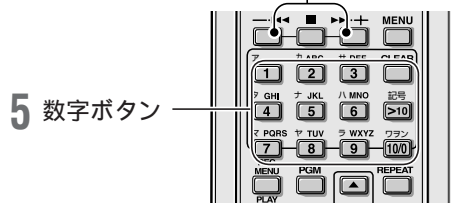
9. **エンター(ENTER)ボタンを押します**

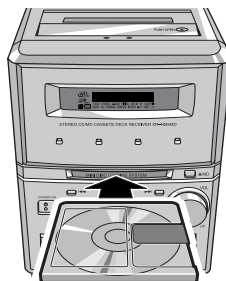
CDの演奏とMDの録音を開始します。
CDの演奏が終わると、MDも停止します。途中で止めるときは停止(■)ボタンを押します。

CD の途中の曲から MD に録音する

マニュアル録音といいます。
デジタル録音かアナログ録音かを選択できます。（69 ページ参照）
本機の録音レベルはあらかじめ固定されています。
MD は自動的に録音されていない場所から録音を開始します。テープのように頭出しをする必要はありません。
MD 記録曲数は最大 255 曲です。ただし、録音、消去、編集をくり返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。

5 ー・⏮ ボタン または ⏭・＋ ボタン

6 録音メニュー(REC MENU)ボタン
2,4 CDオープン/クローズ(CD ▲)ボタン

5 ー・⏮ ボタン, ⏭・＋ ボタン

5 数字ボタン

1. 録音用の MD を入れます

ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。
誤消去防止状態になっているＭＤには録音できません。（52 ページ参照）
ディスクの録音可能時間を知ることができます。（53,74 ページ参照）

2. CD オープン / クローズ(CD ▲)ボタンを押してトレイを開けます

3. ディスクをセットします

レーベル面（曲名などが印刷されている面）を上にしてセットします。

4. CD オープン / クローズ(CD ▲)ボタンを押してトレイを閉めます

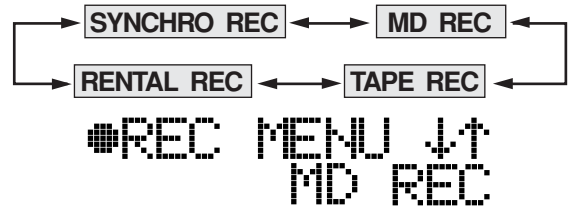
CD(▶/❚❚)ボタンを押してCDを演奏させ、もう一度CD(▶/❚❚)ボタンを押して、一時停止状態にします。

5. 録音を開始する曲を選びます

リモコンの数字ボタン、または ー・⏮ ボタン、⏭・＋ ボタンで、録音を開始する曲を選びます。
この時、演奏経過時間の表示が"0:00"でない場合は、曲の途中からの録音となりますので注意してください。

6. 録音メニュー(REC MENU)ボタンを押して、録音メニューの選択表示にします

7. ▼ ボタン、または ▲ ボタンを押して、"MD REC"を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

8. エンター(ENTER)ボタンを押します

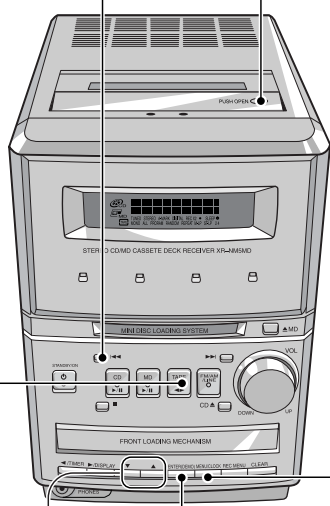
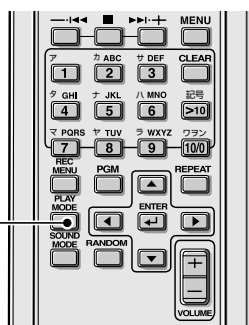
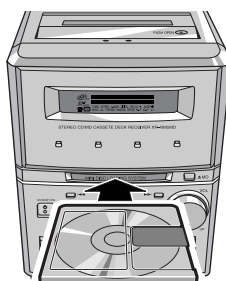
CD の演奏と MD の録音を開始します。
CD の演奏が終わると、MD も停止します。

途中で録音を止めたいとき

停止(■)ボタンを押します。
例えば CD の 5 曲目から 8 曲目までを録音する場合や 5 曲目だけを録音する場合は、手順 5 で 5 曲目を選び、録音を開始します。録音している演奏を聞きながら、希望の録音が終了した時点で停止(■)ボタンを押します。

テープの全曲を簡単にMDに録音する

テープシンクロ録音といいます。アナログ録音となります。本機の録音レベルはあらかじめ固定されています。
MDは自動的に録音されていない場所から録音を開始します。テープのように頭出しをする必要はありません。
MD記録曲数は最大255曲です。ただし、録音、消去、編集をくり返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。

2 テープイジェクト(PUSH OPEN ≜)部
3 テープ(TAPE ◂▸)ボタン
4 ー・⏮ ボタン

7 エンター(ENTER)ボタン
6 ▼ボタンまたは▲ボタン
5 メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタン

5,8 演奏モード(PLAY MODE)ボタン

1. 録音用のMDを入れます

ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。
誤消去防止状態になっているMDには録音できません。(52ページ参照)
ディスクの録音可能時間を知ることができます。(53,74ページ参照)

2. テープイジェクト(PUSH OPEN ≜)部を押して、テープを入れます

カセットテープをホルダー内に入れます。
⬇
手でカセットホルダーを押して閉めます。

3. テープの演奏方向を選びます

テープ(TAPE ◂▸)ボタンを押す。押すごとに切りかわります。

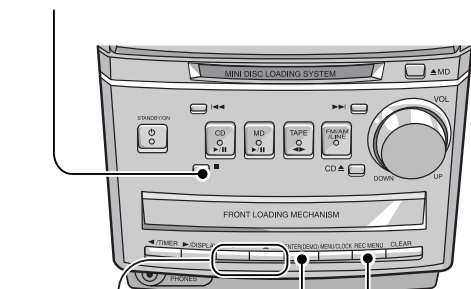
◀(リバース方向) ⟷ ▶(フォワード方向)

テープをカセットホルダーにセットするとき、A面を上にすれば▶がA面に、◀がB面になります。
演奏方向を選んだら停止(■)ボタンを押します。

4. ー・⏮ ボタンを押して、録音開始したい面の頭出しをします

テープのはじめまで巻き終えた時点で、テープは自動的に停止します。

5. メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押して、リバースモードを選びます。手順6と7の操作は不要です。

6. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"PLAY MODE"を選びます

7. エンター(ENTER)ボタンを押します

8. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、リバースモードを選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

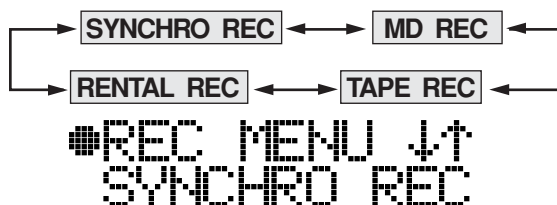
：片面だけ演奏して停止します。

：片面を1回ずつ（両面）演奏して停止します。

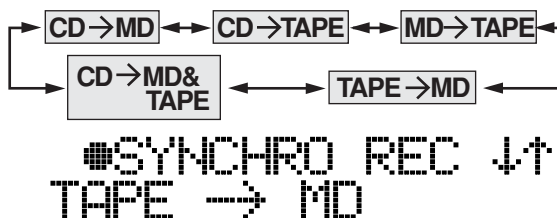
リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押します。押すごとに、リバースモードが切りかわります。

9. 録音メニュー(REC MENU)ボタンを押して、録音メニューの選択表示にします

10 ▼ ボタン、または▲ ボタンを押して、"SYNCHRO REC"を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

11 エンター(ENTER)ボタンを押します

12 ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"TAPE→MD"を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

13 エンター(ENTER)ボタンを押します

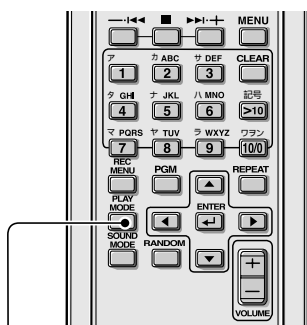
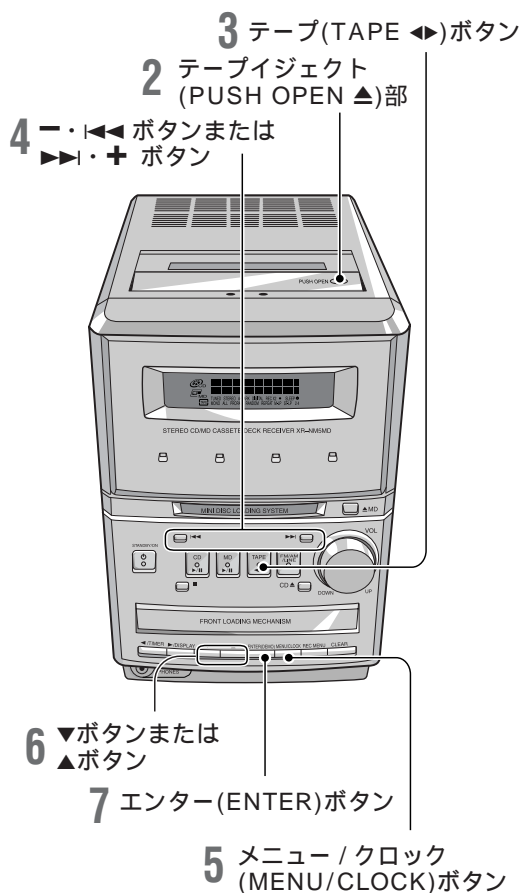
テープの演奏とMDの録音を開始します。
テープの演奏が終わると、MDも停止します。途中で止めるときは停止(■)ボタンを押します。

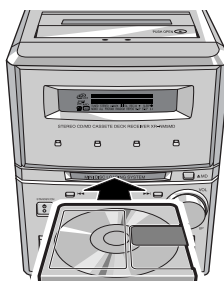
メモ

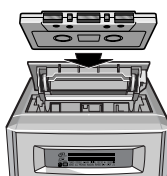
- 演奏するテープがMDの録音時間よりも長いときは、MDが停止するとテープも停止します。
- 演奏するテープに1.5秒以上の無音部分があると、曲間と判断して曲番号が自動的につきます（オートマーク機能）。ただし、無音部分に雑音があるなどテープの録音状態によっては、正しい位置に曲番号がつかないこともあります。
- オートマーク機能を使わずに、ひと続きの曲として記録することもできます。（73ページ参照）

テープをマニュアルでMDに録音する

マニュアル録音といいます。アナログ録音となります。
本機の録音レベルはあらかじめ固定されています。
MD は自動的に録音されていない場所から録音を開始します。テープのように頭出しをする必要はありません。
MD 記録曲数は最大 255 曲です。ただし、録音、消去、編集をくり返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。

3 テープ(TAPE ◀▶)ボタン
2 テープイジェクト (PUSH OPEN ⏏)部
4 ー・|◀◀ ボタンまたは ▶▶|・＋ ボタン
6 ▼ボタンまたは ▲ボタン
7 エンター(ENTER)ボタン
5 メニュー / クロック (MENU/CLOCK)ボタン

5,8 演奏モード(PLAY MODE)ボタン

1. 録音用の MD を入れます

ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。
誤消去防止状態になっている MD には録音できません。（52 ページ参照）
ディスクの録音可能時間を知ることができます。（53,74 ページ参照）

2. テープイジェクト(PUSH OPEN ⏏)部を押して、テープを入れます

カセットテープをホルダー内に入れます。
⬇
手でカセットホルダーを押して閉めます。

3. テープ(TAPE ◀▶)ボタンを押して、演奏方向を選びます

押すごとに切りかわります。

◀（リバース方向） ◀——▶ ▶（フォワード方向）

テープをカセットホルダーにセットするとき、A面を上にすれば ▶ が A 面に、◀ が B 面になります。

4. ー・|◀◀ ボタン、または ▶▶|・＋ ボタンを押して、録音したい曲の頭出しをします（ミュージックサーチ /29 ページ参照）

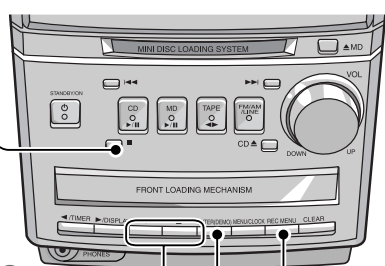
録音したい曲の頭出しができたら、**停止(■)ボタンを押します。**

5. メニュー / クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押して、リバースモードを選びます。手順6と 7 の操作は不要です。

6. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"PLAY MODE" を選びます

7. エンター(ENTER)ボタンを押します

停止(■)ボタン

8,10
▼ボタンまたは▲ボタン

9 録音メニュー(REC MENU)ボタン

11 エンター(ENTER)ボタン

メモ

- 演奏するテープに1.5秒以上の無音部分があると、曲間と判断して曲番号が自動的につきます(オートマーク機能)。ただし、無音部分に雑音があるなどテープの録音状態によっては、正しい位置に曲番号がつかないこともあります。
- オートマーク機能を使わずに、ひと続きの曲として記録することもできます。(73ページ参照)

8. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、リバースモードを選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

：片面だけ演奏して停止します。

：片面を1回ずつ(両面)演奏して停止します。

：最大16面まで繰り返し演奏してから停止します。

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押します。押すごとに、リバースモードが切りかわります。

9. 録音メニュー(REC MENU)ボタンを押して、録音メニューの選択表示にします

10 ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"MD REC"を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

11 エンター(ENTER)ボタンを押します。

テープの演奏とMDの録音を開始します。

録音を停止するには....

停止(■)ボタンを押します。

例えばテープの5曲目から8曲目までを録音する場合や5曲目だけを録音する場合は、手順4で5曲目を選び、録音を開始します。録音している演奏を聞きながら、希望の録音が終了した時点で停止(■)ボタンを押します。

CD をテープと MD に同時に録音する

CD の全曲を同時にテープと MD に録音することができます。テープにはアナログで録音され、MD にはデジタルで録音されます。**（CD シンクロ録音といいます。）**
CD の 1 曲目だけをテープと MD に同時に録音することもできます。その場合も同様に操作します。**（レンタル CD 録音といいます。）**
また、CD の好きな曲だけをプログラム登録してから、CD シンクロ録音を行なうと、簡単に CD の好きな曲だけをテープと MD に同時に録音することができます。**（CD プログラムシンクロ録音といいます。）**
カセットテープの種類は、TYPE Ⅰ（ノーマル）を使用してください。 TYPE Ⅱ（クローム /HIGH）または TYPE Ⅳ（メタル）のカセットテープは、ご使用になれません。

1. テープイジェクト(PUSH OPEN ≜)部を押して、カセットホルダーに録音用テープを入れます

カセットテープをホルダー内に入れます。
⬇
手でカセットホルダーを押して閉めます。

2. テープ(TAPE ◀▶)ボタンを押して、録音方向を選びます

押すごとに切りかわります。録音開始方向を選んだら、停止(■)ボタンを押します。
◀（リバース方向） ←→ ▶（フォワード方向）
テープをカセットホルダーにセットするとき、A面を上にすれば ▶ が A 面に、◀ が B 面になります。

3. メニュー / クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押して、リバースモードを選びます。手順 4 と 5 の操作は不要です。

4. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"PLAY MODE" を選びます

5. エンター(ENTER)ボタンを押します

6. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、リバースモードを選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

：片面だけ録音して停止します。

：片面を1回ずつ（両面）録音して停止します。ただし ◀（リバース方向）から録音を開始した場合は、片面（リバース）録音が終わると停止します。

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押します。押すごとに、リバースモードが切りかわります。

7. MDを入れます

ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。
誤消去防止状態になっているMDには録音できません。(52ページ参照)
ディスクの録音可能時間を知ることができます。(53,74ページ参照)

8. CDオープン/クローズ(CD ▲)ボタンを押してトレイを開けます

9. ディスクをセットします

レーベル面（曲名などが印刷されている面）を上にしてセットします。

10 CDオープン/クローズ(CD ▲)ボタンを押してトレイを閉めます

CDプログラムシンクロ録音する場合

録音したい曲をプログラムします。（26ページ参照）

11 録音メニュー(REC MENU)ボタンを押して、録音メニューの選択表示にします

12 ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"SYNCHRO REC"を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

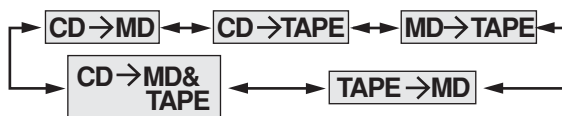
●REC MENU ↓↑
SYNCHRO REC

CDの1曲目だけを録音（レンタルCD録音）する場合

▼ボタン、または▲ボタンを押して、"RENTAL REC を選びます。

13 エンター(ENTER)ボタンを押します

14 ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"CD→MD&TAPE"を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

●SYNCHRO REC ↓↑
CD → MD & TAPE

15 エンター(ENTER)ボタンを押します

CDの演奏とMD、テープの録音を開始します。
CDの演奏が終わると、テープもMDも停止します。ただしMDまたはテープが停止した場合でも、CDの演奏が終わるまで録音は続きます。途中で止めるときは停止(■)ボタンを押します。

注意

◆ 録音するファンクションによっては、テープを演奏したときに音量が下がる場合があります。
◆ 本機はALC（Auto Level Control）により、テープーの録音は自動的に録音レベルを設定します。
◆ CDからMDへの録音がアナログに設定されている場合は、テープとMDへの同時録音はできません。

FM/AM 放送を MD に録音する

マニュアル録音といいます。アナログ録音となります。
本機の録音レベルはあらかじめ固定されています。
MD 記録曲数は最大 255 曲です。ただし、録音、消去、編集をくり返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。

1. 録音用の MD を入れます

ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。
誤消去防止状態になっている M D には録音できません。(52 ページ参照)
ディスクの録音可能時間を知ることができます。(53,74 ページ参照)

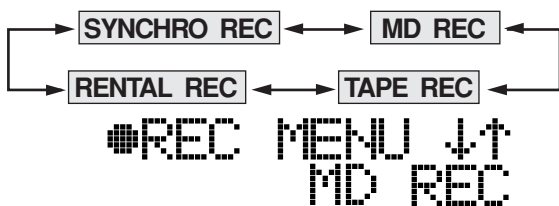
2. FM/AM/LINEボタンを押して、FMかAMかを選択します

3. ー・I◀◀ ボタン、または ▶▶I・＋ ボタンで、録音したい放送局のステーションを選びます

またはリモコンの数字ボタンでダイレクトに選びます。
録音したい放送局がステーションに記憶されていない場合は、19 ページを参照して選局してください。

4. 録音メニュー(REC MENU)ボタンを押して、録音メニューの選択表示にします

5. ▼ ボタン、または ▲ ボタンを押して、"MD REC" を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

6. エンター(ENTER)ボタンを押します

MD の録音を開始します。

録音を停止するには....

停止(■)ボタンを押します。

メモ

● FM/AM放送をテープに録音 (30,31ページ参照) 中の状態で、このページの手順に従って同時にMDに録音することもできます。

注意

◆ 録音中は放送局を切りかえることはできません。

アナログ録音とデジタル録音を切りかえる

CDのみの機能です
CDからMDへ録音する場合、デジタル入力録音とアナログ入力録音とを切りかえることができます。
例えば、CD-Rからの録音で"CAN'T COPY"と表示が出て録音できない場合は、アナログ入力に切りかえてから録音します。
初期状態は、デジタル入力になっています。

停止(■)ボタン

5 ◄ボタンまたは►ボタン

- CDのアナログ録音では、オートマークのオン / オフが選択できます（73ページ参照）。

1. **CD(►/II)ボタンを押します**
演奏が開始されますので、**停止(■)ボタンを押して演奏を停止させてください。**

2. **停止中に、メニュー / クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します**
リモコンの場合は、メニュー(MENU)ボタンを押します。
メニュー表示になります。

3. **▼ボタン、または▲ボタンを押して、"MD INPUT"を選択します**

MENU SELECT ↓↑
MD INPUT

4. **エンター(ENTER)ボタンを押して決定します**

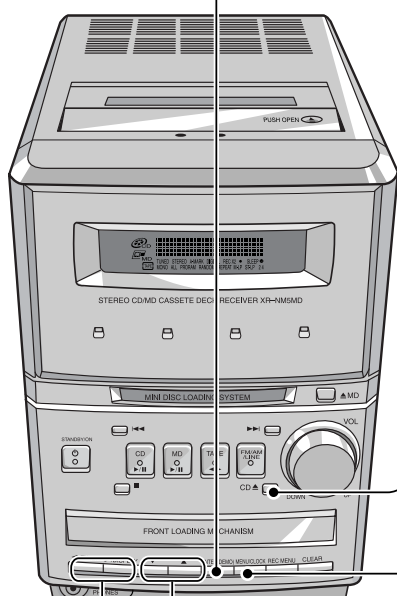
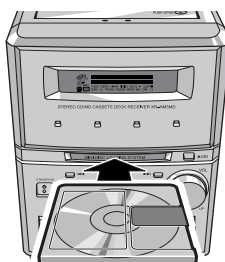
5. **◄ボタン、または►ボタンを押して、"DIGITAL"か"ANALOG"かを選びます**

MD INPUT ⇔
DIGITAL/ANALOG

6. **エンター(ENTER)ボタンを押して決定します**
確認の表示になります。
デジタル入力の場合、表示部の"DIGITAL"が点灯し、アナログ入力の場合は消灯します。

CDの2倍速録音の設定をする

2倍速録音を設定すると、CDを通常の半分の時間で録音することができます。2倍速録音は、CDからMDへのシンクロ録音、およびレンタル録音でしか行えません。
アナログ録音を選択しているときは、2倍速録音の設定は選べません。また、CDからMDとテープに同時録音する場合も、2倍速録音はできませんので注意してください。

- 2倍速録音の設定は、一度設定すると次に切りかえるまで変更されません。

1. 録音用のMDを入れます

ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。
誤消去防止状態になっているMDには録音できません。(52ページ参照)
ディスクの録音可能時間を知ることができます。(53,74ページ参照)

2. CDオープン/クローズ(CD ≜)ボタンを押してトレイを開けます

3. ディスクをセットします

レーベル面(曲名などが印刷されている面)を上にしてセットします。

4. CDオープン/クローズ(CD ≜)ボタンを押してトレイを閉めます

5. メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

リモコンの場合は、メニュー(MENU)ボタンを押します。

6. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"REC SPEED"を選択します

```
MENU SELECT ↓↑
  REC SPEED
```

7. エンター(ENTER)ボタンを押します

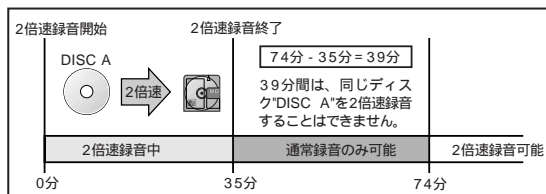
8. ◄ボタン、または►ボタンを押して、2倍速録音か通常録音かを選びます

```
REC SPEED ↔
x2 ON / NORMAL
```

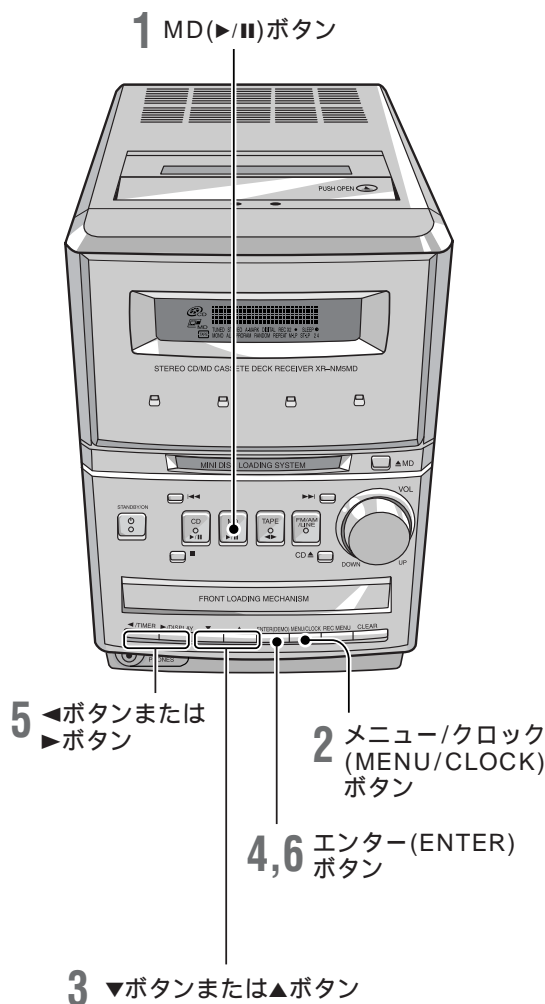
9. エンター(ENTER)ボタンを押します

確認の表示になります。
2倍速録音に設定すると、表示部の"X2"が点灯します。

2 倍速録音での制限について

CD から MD へ 2 倍速録音を行った場合、録音を開始した時点から 74 分間は、同じ CD を 2 倍速で録音できないようになっています。これは、HCMS(Hi-speed Copy Management System)により管理されているためです。この間に禁止されているディスクを録音する場合は、通常の録音を行ってください。

HCMSにより管理されている74分の間に同じディスクを再び 2 倍速録音すると、以下の例のように禁止残り時間を表示します。禁止残り時間の間は、禁止されているディスクの 2 倍速録音は動作しません。

長時間録音(MDLP)の設定をする

MDに録音する設定を、通常のステレオ録音の約2倍（LP2モード）または4倍（LP4モード）にすると、長時間ステレオ録音ができます（MDLP録音)。数枚のCDを一枚のMDに録音するときに便利です。
例えば、80分のMDではLP2モードで160分、LP4モードで320分の長時間録音ができます。
ただし、LP2またはLP4モードで録音された曲は、MDLP機能が搭載されていない機器では再生できません。

注意

◆ 長時間録音の設定は、一度設定すると次に切りかえるまで変更されません。
モノラル長時間録音した後はステレオ録音の設定に戻しておくことをおすすめします。

◆ モノラル長時間録音では、ステレオ演奏の曲やステレオ放送の番組でもモノラル録音され、モノラル録音されたMDは、ステレオで演奏できません。

1. MD(▶/II)ボタンを押します

演奏が開始されますので、**停止(■)ボタンを押して演奏を停止させてください。**

2. 停止中に、メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

リモコンの場合は、メニュー(MENU)ボタンを押します。
メニュー選択の表示になります。

3. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"REC MODE"を選択します

MENU SELECT ↓↑
REC MODE

4. エンター(ENTER)ボタンを押して決定します

5. ◀ボタン、または▶ボタンを押して、録音モードを選択します

REC MODE ↔
SP/LP2/LP4/M-LP

6. エンター(ENTER)ボタンを押して決定します

LP2モードに設定した場合 .... "ST-LP2"点灯
LP4モードに設定した場合 .... "ST-LP4"点灯
モノラル録音に設定した場合 .... "M-LP"点灯
ステレオ録音(SP)に設定した場合 .... 不点灯

録音モード設定後、録音してください。

メモ

各録音モードの違いは以下の表のとおりです。

録音モード	ステレオ/モノラル	録音時間	音質
STEREO(SP)	ステレオ(通常のステレオ録音)	1倍	◎
MONO(M-LP)	モノラル	2倍	◎
LP2	ステレオ(MDLP)	2倍	○
LP4	ステレオ(MDLP)	4倍	△

◎.... 最良の音質です
○.... ◎ の音質より劣ります
△.... ○ の音質より劣ります

MDに曲番号をつけないで録音するには

オートマーク機能をオフに設定すると、CD、テープや外部機器(LINE)のアナログ録音のときに、1回の録音を1曲として曲番号をつけないで録音することができるようになります。

注意

◆ MDに録音している間は、オートマークの切りかえはできません。

◆ 以下の場合は、オートマーク機能を任意に設定することはできません。

CDをデジタル録音する場合 ... オートマーク機能は常にON

FM/AMを録音する場合 ...... オートマーク機能は常にOFF

◆ 信号に雑音があるときや、信号の状態によっては、正しい位置に曲番がつかないことがあります。その場合は、デバイド機能（76ページ参照）やコンバイン機能（77ページ参照）を使って正しい位置に曲番をつけ直してください。

オートマーク機能とは

CD、テープ、外部機器（LINE）からのアナログ録音のときに1.5秒以上の無音部分を曲間とみなして自動的に次の曲番をつける機能です。初期設定は“オン”に設定されており、表示部の"A–MARK"が点灯します。

オートマーク機能をオフに設定する

1. MDに曲番号をつけないで録音したいソース（CD、TAPE、LINE）を選択しておきます。

CDを選択している場合は、あらかじめアナログ録音に切りかえておきます（69ページ参照）。

2. 停止中に、メニュー/クロック(MENU/CLOCK)を押します。

リモコンの場合は、メニュー(MENU)ボタンを押します。

メニュー選択の表示になります。

3. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"AUTO MARK"を選択します

MENU SELECT ↓↑
AUTO MARK

4. エンター(ENTER)ボタンを押して決定します

5. ► ボタンを押して、オートマーク機能を"OFF"にします

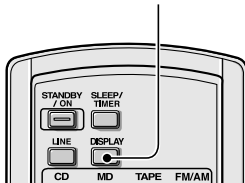
AUTO MARK ←→
ON / OFF

オートマーク機能をオンに設定する場合は、◄ボタンを押して、"ON"に設定します

6. エンター(ENTER)ボタンを押して決定します

オートマーク機能をオフに設定すると、表示部の"A-MARK"が消灯します。

表示を切りかえる

ＭＤ録音中のディスクの時間表示の内容を切りかえることができます。

ディスプレイ(DISPLAY)ボタン

ディスプレイ(DISPLAY)ボタン

例）　CDをMDに録音しているとき

ディスプレイ(DISPLAY)ボタンを押します

押すごとに以下のように切りかわります。

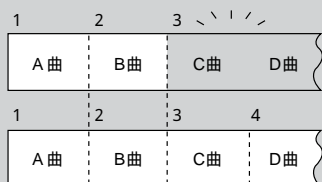
［ 演奏中のCD曲番の演奏経過時間 ］

- テープを録音している場合は、テープの再生方向と一番下の＊マークの表示を交互に表示します。
- チューナーを録音している場合は、受信放送局と一番下の＊マークの表示をします。
- 外部機器（LINE）を録音している場合はLINE表示と一番下の＊マークの表示を交互に表示します。

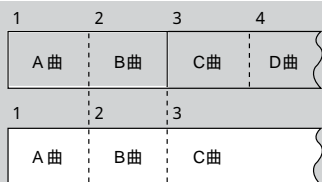
MDの編集機能でできること

曲順を移動させたり、ディスクや曲に名前をつけたり、MDの編集機能を使ってオリジナルのディスクを作ってみましょう。ただし、誤消去防止つまみが開いたMD(52ページ参照)では編集メニューは使うことはできません。編集メニューを使用する場合は誤消去防止つまみを閉じてください。編集機能には次のようなものがあります。

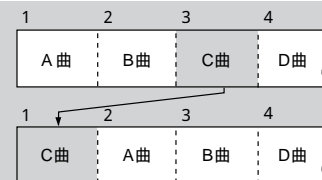
曲を2つに分ける（デバイド機能）

ひとつの曲を希望の位置で2つの曲に分けます。

●1枚のMDで最大255曲まで曲を分けられます。ただし、255曲以下でも曲を分けられないことがあります。
●分けた曲以降の曲番は大きくなります。

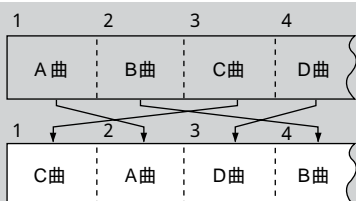
2つの曲を1曲にする（コンバイン機能）

連続した2つの曲を、ひとつの曲にまとめます。

●まとめた曲以降の曲番は小さくなります。

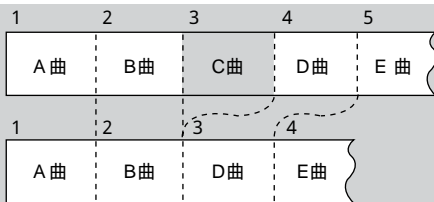
ひとつの曲を移動する（ムーブ機能）

指定した曲を希望する場所へ移動します。

●並べかえ後の曲番は自動的に調整されます。

曲を並べかえる（プログラムムーブ機能）

プログラム演奏で指定した曲順に、曲を並べかえます。

●並べかえた後の曲番号は自動的に調整されます。プログラムした曲以外の曲番号も自動的に並べかわります。

曲を消す（トラックイレース／オールイレース機能）

指定した1曲、またはディスク内のすべての曲を消します。（ディスク名・曲名も消えます。）

●消した曲をもとに戻すことはできません。
●消した曲以降の曲番は小さくなります。

ディスクや曲、グループに名前を付ける（ネーム機能）

録音した曲に曲名、録音したディスクにディスク名、登録したグループにグループ名を付けることができます。
ディスクに名前をつける機能をディスクネーム機能、曲に名前をつける機能をトラックネーム機能、グループに名前を付ける機能をグループネーム機能といいます。
再生中や頭出し時に表示されるため、曲の確認がすばやくできます。
ディスク名とグループ名は合わせて最大約100文字まで入力できます。曲名は1曲につき、100文字まで入力できます。ディスク名と曲名、グループ名を合わせて、1枚のディスクに約1700文字まで入力することができます。
＊グループ機能のための情報も、ネーム機能と同じ領域を使用するので、入力できる文字数は変わります。また、カタカナやアルファベットでも文字数は変わります。

PIONEER
Tr013 t 20:17

●カタカナ、アルファベット（A～Z、a～z）数字、記号を使用できます。

MD OPERATION

曲を 2 つに分ける（デバイド機能）

録音後に 1 つの曲を 2 つに分けます。これにより、新たに頭出しのための曲番号を記録することができます。
分けた曲以降の曲番号は、自動的に新しい曲番号に変更されます。
また、分けた曲に曲名がついていた場合は、両方に同じ名前がつきます。

停止(■)ボタン

1 MD(▶/II)ボタン

STEREO CD/MD CASSETTE DECK RECEIVER XR-NM5MD

3 ▼ボタンまたは▲ボタン

2 メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタン

4,5 エンター(ENTER)ボタン

1. **演奏を聞きながら、曲の分けたい位置で MD (▶/II)ボタンを押します**
演奏が一時停止します。

2. **メニュー / クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します**
メニュー選択の表示になります。

3. **▼ボタン、または▲ボタンを押して、"DIVIDE" を選びます**

```
MENU SELECT ↓↑
      DIVIDE
```

4. **エンター(ENTER)ボタンを押します**
10秒以内に押してください。確認の表示になります。やめる場合は、停止(■)ボタンを押します。

```
DIVIDE ?
```

5. **エンター(ENTER)ボタンを押します**
10 秒以内に押してください。"COMPLETE"の表示が出て、デバイド機能を実行します。

注意

◆ プログラム演奏が設定されている状態、またはランダム演奏やプログラム演奏の一時停止中では、デバイド機能は操作できません。あらかじめランダム演奏、またはプログラムを解除してください。
（43 ～ 45 ページ参照）
◆ 1枚のMDで最大255曲まで曲を分けることができます。ただし MD の状態によってはできないこともあります。

２つの曲を１曲にする（コンバイン機能）

連続したとなり同士の曲をつないで、1曲にまとめます。つないだ曲以降の曲番は自動的に新しい曲番に変更されます。つないだ曲に曲名がついている場合は、前の曲の曲名がつきます。前の曲名がついていない場合は後の曲名がつきます。

例） 4曲目と5曲目をつなぐ場合

1. **MD停止中に、ー・|◀◀ ボタン、または ▶▶|・＋ ボタンを押して、5曲目を選びます**

または5曲目を演奏中にMD(▶/❚❚)ボタンを押して一時停止させます。
つなぐ曲の、曲番号の大きい方の曲を選びます。

2. **メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します**

メニュー選択の表示になります。

3. **▼ ボタン、または ▲ ボタンを押して、"COMBINE"を選びます**

MENU SELECT ↓↑
COMBINE

4. **エンター(ENTER)ボタンを押します**

10秒以内に押してください。確認の表示になります。やめる場合は、停止(■)ボタンを押します。

COMBINE
Tr004 + Tr005?

5. **エンター(ENTER)ボタンを押します**

10秒以内に押してください。"COMPLETE"の表示が出て、コンバイン機能を実行します。

メモ

● 離れた曲をつなぎたいときは、ムーブ機能（78ページ参照）で曲を連続させてからコンバイン機能でつないでください。

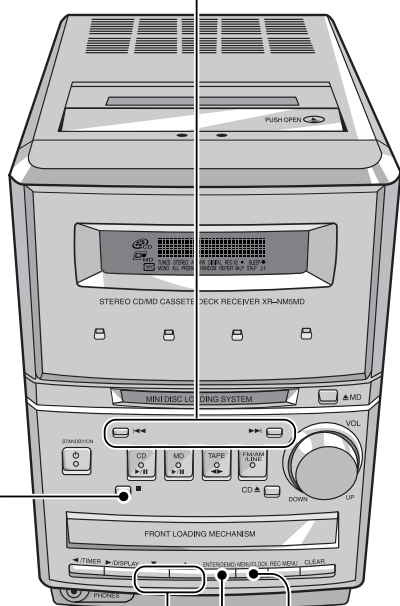
注意

◆ プログラム演奏が設定されている状態、またはランダム演奏やプログラム演奏の一時停止中では、コンバイン機能は操作できません。あらかじめランダム演奏、またはプログラムを解除してください。
（43～45ページ参照）
◆ 録音モードが異なる曲は、つなぐことができません。
◆ 15秒以下の短い曲はつながらないことがあります。

ひとつの曲を移動する（ムーブ機能）

あるひとつの曲を好きな位置に移動して、曲順を変えることができます。

停止(■)ボタン

1 ー・I◀◀ ボタンまたは ▶▶I・＋ ボタン

3,5 ▼ボタンまたは▲ボタン

2 メニュー/クロック (MENU/CLOCK) ボタン

4,6 エンター(ENTER)ボタン

例）　8曲目を3曲目に移動する場合

1. MD停止中に、ー・I◀◀ ボタンまたは ▶▶I・＋ ボタンを押して、8 曲目を選びます

または8曲目を演奏中にMD(▶/II)ボタンを押して一時停止させます。

2. メニュー / クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

メニュー選択の表示になります。

3. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"TRACK MOVE" を選びます

MENU SELECT ↓↑
TRACK MOVE

4. エンター(ENTER)ボタンを押します

10秒以内に押してください。確認の表示になります。やめる場合は、停止(■)ボタンを押します。

TRACK MOVE
Tr008――→Tr001?

5. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、移動先の曲番号を選びます

例の場合は、3 を選びます。

TRACK MOVE
Tr008――→Tr003?

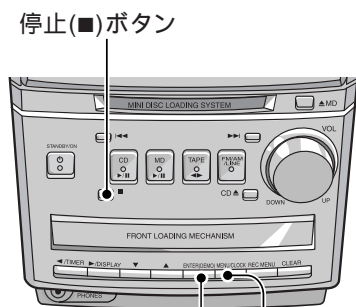
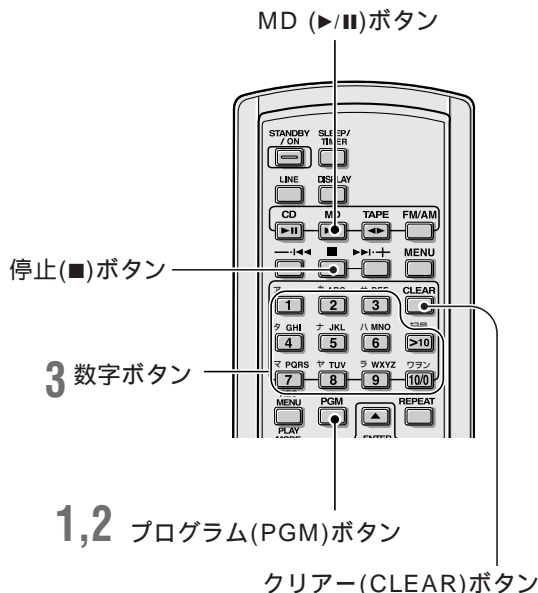
6. エンター(ENTER)ボタンを押します

"COMPLETE"の表示が出て、ムーブ機能を実行します。

注意

◆ プログラム演奏が設定されている状態、またはランダム演奏やプログラム演奏の一時停止中では、ムーブ機能は操作できません。あらかじめランダム演奏、またはプログラムを解除してください。
（43 ～ 45 ページ参照）

曲を並べかえる（プログラムムーブ機能）

ＭＤの曲をプログラム登録してからムーブ機能を使うと、一度に好きな曲順に並べかえることができます。

数字ボタン

数字ボタンでの曲番号の選びかた

１～９　：番号のボタンを押します。

１０　　：10/0 を押します。

１１以上：>10 を押してから番号を選びます。

（例）１５曲目　>10 1 5

２０曲目　>10 2 10/0

１０１曲目　>10 >10 1 10/0 1

例）6曲目、31曲目の順に並べかえる

1. **MD停止中に、プログラム(PGM)ボタンを押します**

確認の表示になります。

PROGRAM PLAY ?

2. **2秒以内にもう一度、プログラム(PGM)ボタンを押します**

PROGRAM
P01-　　0:00

PROGRAM

3. **数字ボタンで並べかえたい曲順に曲番号を登録します**

並べかえたい曲の順番に、曲番号を登録していきます。

６曲目を登録します

３１曲目を登録します

曲番号を間違えたときは､クリアー(CLEAR)ボタンを押します。押すごとに点滅している数字が一つずつ減ります。

4. **メニュー / クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します**

MENU SELECT ↓↑
PROGRAM MOVE

PROGRAM

5. **エンター(ENTER)ボタンを押します**

１０秒以内に押してください。確認の表示になります。やめる場合は、停止(■)ボタンを押します。

PROGRAM MOVE ?

6. **エンター(ENTER)ボタンを押します**

１０秒以内に押してください。
"COMPLETE"の表示がでて、プログラムムーブ機能を実行します。

注意

◆ プログラム登録しなかった曲は､プログラムムーブで並べかえた曲のうしろに並びます。
◆ 同じ曲を２回以上プログラム登録しているときは、うしろにプログラムされた曲が優先されます。
◆ プログラム演奏中は､プログラムムーブ機能を行うことはできません。
◆ グループディスクではプログラムムーブを行うことはできません。ＣＤシンクロ録音したディスクは自動的にグループディスクとなるので､プログラムムーブ機能を行う場合はグループを解除してください（９５ページ参照）

1曲だけ消す（トラックイレース機能）

選択したひとつの曲だけを消します。
トラックイレースの場合、消した曲以降の曲番号は、自動的に新しい曲番号に変更されます。

1. **MD停止中に、ー・|◀◀ ボタンまたは ▶▶|・＋ ボタンを押して、消したい曲を選びます**

または消したい曲の演奏中にMD(▶/❚❚)ボタンを押して一時停止させます。

2. **メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します**

メニュー選択の表示になります。

3. **▼ボタン、または▲ボタンを押して、"TRACK ERASE"を選びます**

MENU SELECT ↓↑
TRACK ERASE

4. **エンター(ENTER)ボタンを押します**

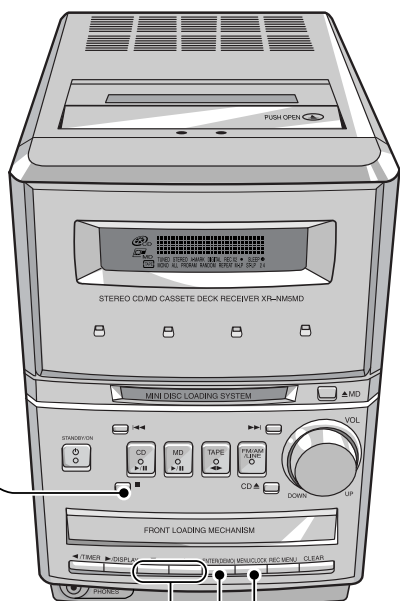
10秒以内に押してください。確認の表示になります。やめる場合は、停止(■)ボタンを押します。

TRACK ERASE ?

5. **エンター(ENTER)ボタンを押します**

10秒以内に押してください。"COMPLETE"の表示が出て、トラックイレース機能を実行します。

全曲を消す（オールイレース機能）

ディスクに記録されているすべての曲や名前を消します。

1. **MD 停止中に、メニュー / クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します**
メニュー選択の表示になります。

2. **▼ボタン、または▲ボタンを押して、"ALL ERASE"を選びます**

MENU SELECT ↓↑
ALL ERASE

3. **エンター(ENTER)ボタンを押します**
10秒以内に押してください。確認の表示になります。やめる場合は、停止(■)ボタンを押します。

ALL ERASE ?

4. **エンター(ENTER)ボタンを押します**
10秒以内に押してください。"COMPLETE"の表示が出て、オールイレース機能を実行します。

MD のディスクや曲、グループに名前をつける(ネーム機能)

1 枚のディスクには、ひとつのディスク名と最大 255 曲の曲名とグループ名をつけることができます。
ディスクに名前をつけることを**ディスクネーム機能**、曲に名前をつけることを**トラックネーム機能**、グループに名前をつけることを**グループネーム機能**と言います。

入力できる文字数について

■ディスク名・曲名・グループ名

1 つの名前に対して、それぞれ 100 文字まで入力できます。100 文字をこえると "NAME FULL"(ネーム フル) が表示されます。

■1枚の MD の総文字数

ディスク名と曲名、グループ名を合わせて約 1700 文字まで入力できます。文字数をこえると "TOC FULL"(トック フル) が表示されます。
カタカナを入力しているときは、総文字数が減ります。また、グループ情報によっても、総文字数は減ります。

入力できる文字の種類

カタカナ: アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨ□（スペース）ラリルレロワヲンァィゥェォャュョッ゜゛！？

アルファベット: ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ;:,.-/abcdefghijklmnopqrstuvwxyz □（スペース)!?

数字・記号: 1234567890 □（スペース）” # $ %& ’()<=>`@_ ＊ +

■文字入力パターン(リモコンの数字ボタンを使って文字を入力します)

カタカナが表示されているときは各キーを押すごとに以下のように入力文字がかわります。

キー	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目	11回目
ア 1	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	戻る
カABC 2	カ	キ	ク	ケ	コ	戻る					
サDEF 3	サ	シ	ス	セ	ソ	戻る					
タGHI 4	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ	戻る				
ナJKL 5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	戻る					
ハMNO 6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	戻る					
マPQRS 7	マ	ミ	ム	メ	モ	戻る					
ヤTUV 8	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ	戻る				
ラWXYZ 9	ラ	リ	ル	レ	ロ	戻る					
ワヲン゛゜ー 10/0	ワ	ヲ	ン	戻る							
記号 >10	゛	゜	!	?	ー	/	戻る				

アルファベットが表示されているときは各キーを押すごとに以下のように入力文字がかわります。

キー	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目
ア 1									
カABC 2	A	B	C	a	b	c	戻る		
サDEF 3	D	E	F	d	e	f	戻る		
タGHI 4	G	H	I	g	h	i	戻る		
ナJKL 5	J	K	L	j	k	l	戻る		
ハMNO 6	M	N	O	m	n	o	戻る		
マPQRS 7	P	Q	R	S	p	q	r	s	戻る
ヤTUV 8	T	U	V	t	u	v	戻る		
ラWXYZ 9	W	X	Y	Z	w	x	y	z	戻る
ワヲン゛゜ー 10/0	;	:	,	.	戻る				
記号 >10	−	/	!	?	戻る				

数字・記号が表示されているときは各キーを押すごとに以下のように入力文字がかわります。

キー	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目	11回目	12回目	13回目	14回目	15回目	16回目	17回目
ア 1	1																
カABC 2	2																
サDEF 3	3																
タGHI 4	4																
ナJKL 5	5																
ハMNO 6	6																
マPQRS 7	7																
ヤTUV 8	8																
ラWXYZ 9	9																
ワヲン゛゜ー 10/0	0																
記号 >10	”	#	$	%	&	'	(	)	<	=	>	`	@	_	＊	+	戻る

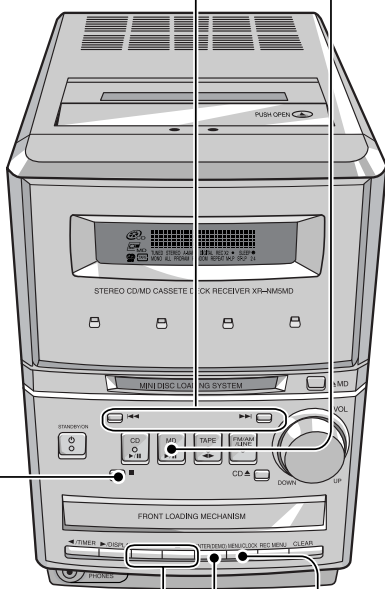
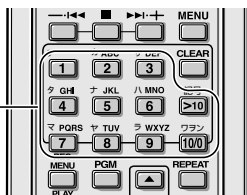
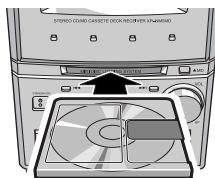
■ネームリスト（アルファベット順）

本機にあらかじめ用意されている単語です。

カナ表記													
ア	コ	ー	ス	テ	ィ	ッ	ク						
ア	ナ	ロ	ク	゛									
ア	ル	ハ	゛	ム									
ア	ー	テ	ィ	ス	ト								
イ	ン	ス	ト	ゥ	ル	メ	ン	タ	ル				
エ	ア	ー	チ	ェ	ッ	ク							
オ	キ	ニ	イ	リ									
オ	ム	ニ	ハ	゛	ス								
オ	リ	シ	゛	ナ	ル								
オ	ー	ケ	ス	ト	ラ								
カ	ラ	オ	ケ										
ク	ラ	フ	゛										
コ	レ	ク	シ	ョ	ン								
コ	ン	サ	ー	ト									
サ	ウ	ン	ト	゛	ト	ラ	ッ	ク					
シ	ー	ク	レ	ッ	ト								
シ	ン	ク	゛	ル									
タ	゛	イ	ス	キ									
テ	゛	シ	゛	タ	ル								
ト	ラ	テ	゛	ィ	シ	ョ	ナ	ル					
ハ	゛	ン	ト	゛									
ハ	゜	ラ	ハ	゜	ラ								
フ	ュ	ー	シ	゛	ョ	ン							
ヘ	ン	シ	ュ	ウ									
ヘ	゛	ス	ト	ヒ	ッ	ト							
ミ	ュ	ー	シ	゛	ッ	ク							
ユ	ー	ロ	ヒ	゛	ー	ト							
ラ	イ	フ	゛										
リ	ス	゛	ム	＆	フ	゛	ル	ー	ス				
ワ	タ	シ	ノ										

英語表記													
A	i	r		C	h	e	c	k					
A	l	b	u	m									
B	e	s	t		o	f							
C	l	a	s	s	i	c	a	l					
C	o	p	y										
C	l	u	b										
C	h	a	r	t									
C	o	l	l	e	c	t	i	o	n				
D	a	n	c	e									
D	i	g	i	t	a	l							
D	i	v	a										
E	u	r	o	b	e	a	t						
F	a	v	o	r	i	t	e						
F	o	r											
H	a	r	d		R	o	c	k					
H	i	p		H	o	p							
H	i	t		s	o	n	g	s					
H	o	u	s	e									
H	y	p	e	r									
I	n	s	t	r	u	m	e	n	t	a	l		
J	–	p	o	p									
J	a	p	a	n	e	s	e						
J	a	z	z										
L	i	v	e										
M	a	s	t	e	r								
M	u	s	i	c									
M	i	x											
M	y		F	a	v	o	r	i	t	e			
N	o	.											
O	r	i	g	i	n	a	l						
P	a	r	t										
P	o	p	s										
P	r	i	v	a	t	e							
P	a	r	a	p	a	r	a						
R	e	m	i	x									
R	o	c	k										
S	e	s	s	i	o	n							
S	i	n	g	l	e								
S	o	l	o										
S	o	n	g										
S	o	u	l										
S	o	u	n	d		t	r	a	c	k			
S	p	e	c	i	a	l							
T	o	p											
T	o	p		1	0								
V	e	r	y										
V	e	r	s	i	o	n							
V	o	c	a	l									
V	o	l	.										
W	o	r	l	d		M	u	s	i	c			

曲に名前をつける(トラックネーム機能)

つけた曲名は、曲を選んだときや演奏中に表示されます。

1. MDを入れます

ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。
誤消去防止状態になっているMDには名前をつけることはできません。(52ページ参照)

2. MD (▶/II)ボタンを押してから停止(■)ボタンを押します

3. ー・I◀◀ ボタン、または ▶▶I・＋ ボタンを短く押して、名前をつける曲を選びます

4. メニュー / クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

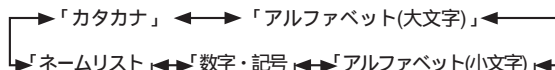
リモコンの場合は、メニュー(MENU)ボタンを押します。
メニュー選択の表示になります。

5. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"TRACK NAME"を選びます

6. エンター(ENTER)ボタンを押します

10秒以内に押してください。文字入力ができる状態になります。

アイウエオカキクケコサシスセソー

7. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、文字の種類を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。▼ボタンを押すと右回りに、▲ボタンを押すと左回りに表示します。

→「カタカナ」 ←→ 「アルファベット(大文字)」←
→「ネームリスト」←→「数字・記号」←→「アルファベット(小文字)」←

ネームリストとは、本機にあらかじめ用意されている単語です。83ページの表にある単語が表示されます。
▼ボタンまたは▲ボタンを押して、名前に使用する単語を選びます。

リモコンの数字ボタンの場合

入力する文字が表記されている数字ボタンを押します。詳しくは、82ページの文字入力パターンを参照してください。文字の種類をかえるときは、▼ボタン、または▲ボタンを押します。

8. ◄ボタン、または►ボタンを押して、入力する文字を選びます

ABCDEFGHIJKLMNOP

文字の入力中に、クリアー(CLEAR)ボタンを押すと、アンダーバーの一つ前の文字から1文字ずつ消去されます。
入力した文字の最後がスペースの場合、エンター(ENTER)ボタンを押して文字を決定するとスペースは削除されます。

9. エンター(ENTER)ボタンを押して文字を決定します

10 手順7～9を繰り返して、すべての文字を入力します

途中で名前をつける操作をやめる場合は、停止(■)ボタンを押します。

11 メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

"COMPLETE" と表示され、文字の入力が終了します。

メモ

- 録音中に曲名を入力する場合は、曲名をつけたい曲の録音中に、手順4～11の操作を行なってください。
- ━・I◄◄ボタンまたは►►I・✚ボタンを押してアンダーバーを移動させ、入力したい文字の位置を移動することができます。
- スペースを入力する場合、アンダーバーを移動させてスペースをつくることで、入力することができます。また、入力できる文字の種類(82ページ参照)から、スペースを選び、入力することもできます。

注意

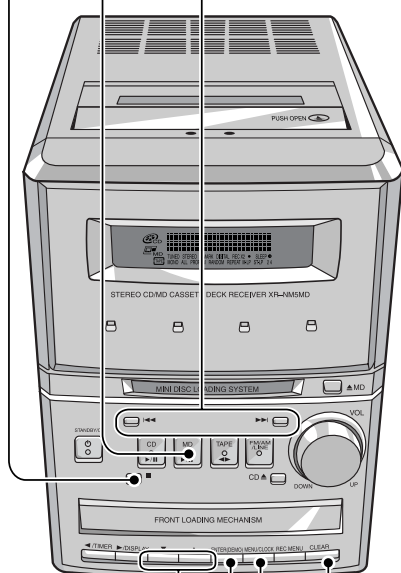
◆ ランダム演奏、またはプログラム演奏中は、トラックネームの編集をすることはできません。
◆ 録音中に曲名を入力していて、名前の入力が完了する前に次の曲になってしまったときは、そのときまで入力した文字は有効になります。録音が終わってから改めて入力してください。
◆ 演奏中での曲名の入力は、ネームの入力が完了する前に曲が終了しても繰り返して演奏します。

曲の名前（トラックネーム）を修正/追加する

間違えて入力してしまった文字を消したり、新たに文字を追加したりすることができます。

2 停止(■)ボタン

2 MD (▶/II)ボタン

3,7 ー・I◀◀ ボタンまたは ▶▶I・＋ ボタン

5 ▼ボタンまたは▲ボタン

6 エンター(ENTER)ボタン

4 メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタン

クリアー(CLEAR)ボタン

例）"BEUT" から "U" を消して "S" を追加して、"BEST" にする

1. MDを入れます

ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。
誤消去防止状態になっているMDは名前を修正することはできません。（52ページ参照）

2. MD (▶/II)ボタンを押してから、停止(■)ボタンを押します

3. ー・I◀◀ ボタン、または ▶▶I・＋ ボタンを押して、修正したい曲名を選びます

4. メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

リモコンの場合は、メニュー(MENU)ボタンを押します。
選択メニューの表示になります。

5. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"TRACK NAME" を選びます

表示されているすべての文字を消すには....

TRACK NAME が点滅表示している時に、クリアー(CLEAR)ボタンを 2 秒以上押します。
"NAME CLEAR ?" と確認の表示になります。
エンター(ENTER)ボタンを押すと、"COMPLETE" と表示後、"NO NAME" と表示して選択した曲のすべての文字(トラックネーム)が消えます。

6. エンター(ENTER)ボタンを押します

10秒以内に押してください。曲名が表示されます。

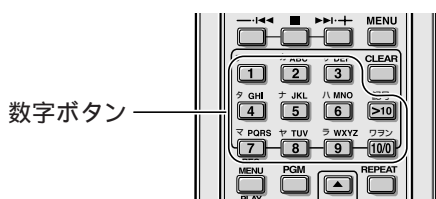
BEUT_
アイウエオカキクケコサシスセソー

7. ー・I◀◀ ボタン、または ▶▶I・＋ ボタンを押して、アンダーバーを移動させます

消したり追加したい文字の右側にアンダーバーを移動させます。

BEU_T
アイウエオカキクケコサシスセソー

8 クリアー(CLEAR)ボタン

11 エンター(ENTER)ボタン

数字ボタン

メモ

- 文字の入力中に、クリアー(CLEAR)ボタンを押すと、アンダーバーの一つ前の文字から1文字ずつ消去されます。
- 入力した文字の最後がスペースの場合、メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押して文字を決定するとスペースは削除されます。

注意

◆ ランダム演奏、またはプログラム演奏中は、トラックネームの編集をすることはできません。

8. クリアー(CLEAR)ボタンを押して文字を消します

消す文字がない場合は、次の操作に進みます。

BE_T
アイウエオカキクケコサシスセソー

9. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、文字の種類を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。▼ボタンを押すと右回りに、▲ボタンを押すと左回りに表示します。

→「カタカナ」 ⟷ 「アルファベット(大文字)」←
→「ネームリスト」⟷「数字・記号」⟷「アルファベット(小文字)」←

ネームリストとは、本機にあらかじめ用意されている単語です。83ページの表にある単語が表示されます。▼ボタンまたは▲ボタンを押して、名前に使用する単語を選びます。

リモコンの数字ボタンの場合

入力する文字が表記されている数字ボタンを押します。詳しくは、82ページの文字入力パターンを参照してください。文字の種類をかえるときは、▼ボタン、または▲ボタンを押します。

10 ◄ボタン、または►ボタンを押して、入力する文字を選びます

BE_T
QRSTUVWXYZ;:,.-/

リモコンの数字ボタンの場合は、入力する文字が表記されている数字ボタンを押します。

11 エンター(ENTER)ボタンを押して文字を決定します

BES_T
QRSTUVWXYZ;:,.-/

12 複数の文字を修正する場合は、手順7〜11を繰り返して、すべての文字を修正します

名前の修正を途中でやめる場合は、停止(■)ボタンを押します。

13 メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

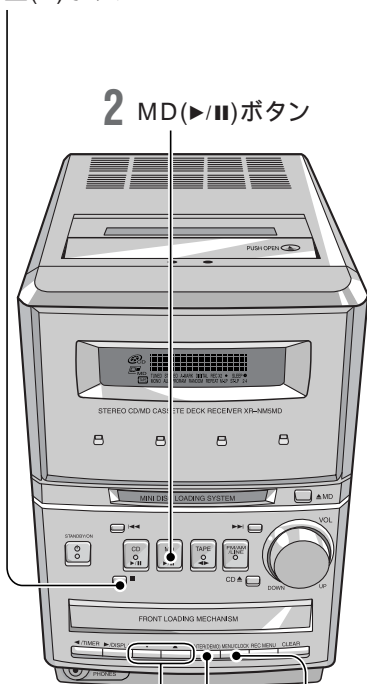
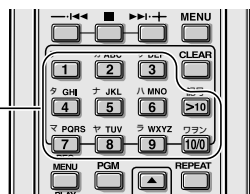
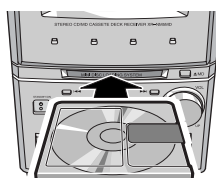
名前の修正が終了します。

14 メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

"COMPLETE" と表示して終了します。

ディスクに名前をつける(ディスクネーム機能)

ディスク名は、MDを挿入したときなどに表示されます。

2 停止(■)ボタン

1. MDを入れます

ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。
誤消去防止状態になっているMDには名前をつけることはできません。(52ページ参照)

2. MD (▶/❚❚)ボタンを押してから、停止(■)ボタンを押します。

3. メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

リモコンの場合は、メニュー(MENU)ボタンを押します。
メニュー選択の表示になります。

4. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"DISC NAME"を選びます

5. エンター(ENTER)ボタンを押します

10秒以内に押してください。文字入力ができる状態になります。

アイウエオカキクケコサシスセソー

6. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、文字の種類を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。▲ボタンを押すと右回りに、▼ボタンを押すと左回りに表示します。

→「カタカナ」←→「アルファベット(大文字)」←
→「ネームリスト」←→「数字・記号」←→「アルファベット(小文字)」←

ネームリストとは、本機にあらかじめ用意されている単語です。83ページの表にある単語が表示されます。
▼ボタンまたは▲ボタンを押して、名前に使用する単語を選びます。

リモコンの数字ボタンの場合

入力する文字が表記されている数字ボタンを押します。詳しくは、82ページの文字入力パターンを参照してください。文字の種類をかえるときは、▼ボタン、または▲ボタンを押します。

7. **◄ボタン、または►ボタンを押して、入力する文字を選びます**

ABCDEFGHIJKLMNOP

文字の入力中に、クリアー(CLEAR)ボタンを押すと、アンダーバーの一つ前の文字から1文字ずつ消去されます。
入力した文字の最後がスペースの場合、エンター(ENTER)ボタンを押して文字を決定するとスペースは削除されます。

8. **エンター(ENTER)ボタンを押して文字を決定します**

9. **手順6～8を繰り返して、名前をつけるすべての文字を入力します**

途中で名前をつける操作をやめる場合は、停止(■)ボタンを押します。

10 **メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します**

"COMPLETE" と表示され、文字の入力が終了します。

メモ

- ー・|◄◄ボタンまたは►►|・＋ボタンを押してアンダーバーを移動させ、入力したい文字の位置を移動することができます。
- スペースを入力する場合、アンダーバーを移動させてスペースをつくることで、入力することができます。また、入力できる文字の種類(82ページ参照)から、スペースを選び、入力することもできます。

ディスクの名前(ディスクネーム)を修正/追加する

間違えて入力してしまった文字を消したり、新たに文字を追加したりすることができます。

例) "BEUT" から "U" を消して "S" を追加して、"BEST" にする

1. MDを入れます

ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。
誤消去防止状態になっているMDは名前を修正することはできません。(52ページ参照)

2. MD (▶/II)ボタンを押してから、停止(■)ボタンを押します。

3. メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

リモコンの場合は、メニュー(MENU)ボタンを押します。
メニュー選択の表示になります。

4. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"DISC NAME" を選びます

表示されているすべての文字を消すには....

DISC NAME が点滅表示している時に、クリアー(CLEAR)ボタンを 2 秒以上押します。
"NAME CLEAR ?" と確認の表示になります。
エンター(ENTER)ボタンを押すと、"COMPLETE" と表示後、"NO NAME" と表示して選択したディスクのすべての文字(ディスクネーム)が消えます。

5. エンター(ENTER)ボタンを押します

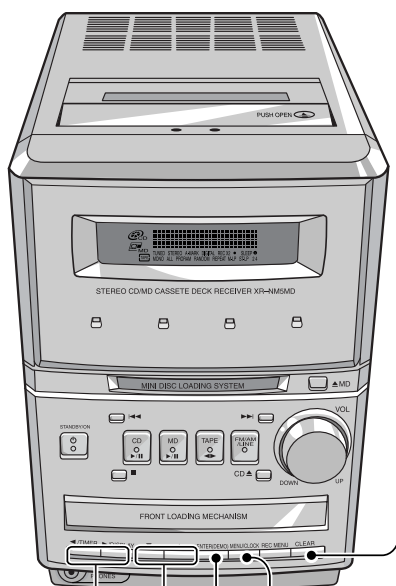
10秒以内に押してください。ディスク名が表示されます。

BEUT_
アイウエオカキクケコサシスセソー

6. ー・I◀◀ ボタン、または ▶▶I・＋ ボタンを押して、アンダーバーを移動させます

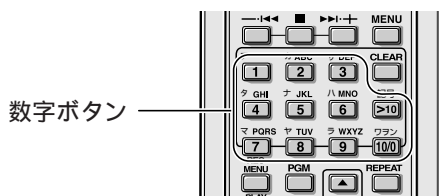
消したり追加したい文字の右側にアンダーバーを移動させます。

BEU_T
アイウエオカキクケコサシスセソー

7 クリアー(CLEAR)ボタン

9 ◀ボタンまたは▶ボタン

8 ▼ボタンまたは▲ボタン

12,13 メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタン

10 エンター(ENTER)ボタン

> **メモ**
> - 文字の入力中に、クリアー(CLEAR)ボタンを押すと、アンダーバーの一つ前の文字から1文字ずつ消去されます。
> - 入力した文字の最後がスペースの場合、メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押して文字を決定するとスペースは削除されます。

7. クリアー(CLEAR)ボタンを押して文字を消します

消す文字がない場合は、次の操作に進みます。

BE_T
アイウエオカキクケコサシスセソー

8. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、文字の種類を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。▼ボタンを押すと右回りに、▲ボタンを押すと左回りに表示します。

→「カタカナ」 ←→ 「アルファベット(大文字)」←
→「ネームリスト」←→「数字・記号」←→「アルファベット(小文字)」←

ネームリストとは、本機にあらかじめ用意されている単語です。83ページの表にある単語が表示されます。▼ボタンまたは▲ボタンを押して、名前に使用する単語を選びます

リモコンの数字ボタンの場合

入力する文字が表記されている数字ボタンを押します。詳しくは、82ページの文字の入力パターンを参照してください。文字の種類をかえるときは、▼ボタン、または▲ボタンを押します。

9. ◀ボタン、または▶ボタンを押して、入力する文字を選びます

BE_T
QRSTUVWXYZ;:,.-/

リモコンの数字ボタンの場合は、入力する文字が表記されている数字ボタンを押します。

10 エンター(ENTER)ボタンを押して、文字を決定します

BES_T
QRSTUVWXYZ;:,.-/

11 複数の文字を修正する場合は、手順6～10を繰り返して、すべての文字を修正します

名前の修正を途中でやめる場合は、停止(■)ボタンを押します。

12 メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

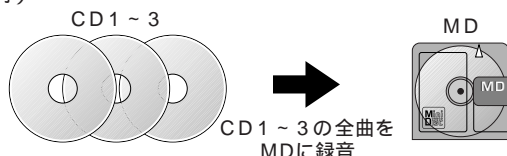
名前の修正が終了します。

13 メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

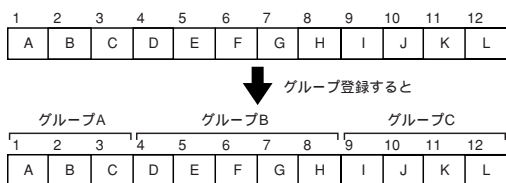
"COMPLETE" と表示して終了します。

MD のグループ機能について

グループ機能とは

長時間録音モード（LP2またはLP4モード）で録音すると、複数のCDを1枚のMDに録音でき、100曲以上録音できたりして便利です。
例）

しかし・・・
「録音した3枚目のCDはMDの何曲目からなの?」というように曲を見つけるのが大変です。
そこで・・・
本機では、MDに収録されている曲をグループ機能を使って簡単に操作できます。

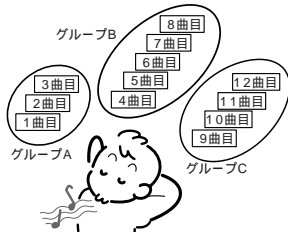
■グループディスクを作成する（グループ登録）－ 93ページ

● グループを登録する
MDディスクに収録されている複数の曲をグループとして登録したディスク（グループディスク）を作成します。なお、本機でMD1枚に登録できるグループ数は、最大10個です。

一度グループ登録したあとでも、以下の編集ができます。
● グループを変更する
● 登録したグループを一部解除する

■選択したグループだけ演奏するよう設定する（グループ演奏機能）－96 ページ

グループ登録されているMDにおいて、ディスク全体の演奏を行なうオールトラックプレイモードと、選択したグループの演奏だけを行なうシングルグループプレイモードとに切りかえることができます。

■聞きたいグループを選ぶ（グループサーチ機能）－ 96ページ

指定したグループ先頭曲の頭出しを簡単にすることができます。

グループA ➡ グループB ➡ グループC の先頭曲（1曲目 ➡ 4曲目 ➡ 9曲目）というように、各グループの先頭曲の頭出しが簡単に行えます。

■グループに名前をつける（グループネーム機能）－ 97ページ

登録したグループにグループ名をつけることができます。
グループに名前を付ける機能をグループネーム機能といいます。
入力できる文字の種類、最大文字数については、82ページを参照してください。

グループ登録した MD ディスクについて

グループ機能はMD規格の推奨方法にもとづいています。
本機でグループ編集したMDディスクは、ほかのグループ機能搭載機器でもグループ編集ができます。

上図のようなグループ登録したMDディスクのグループ情報は、実際はディスクネームの情報を格納する場所に書かれています。
そのため、グループ機能を搭載していない機器でディスクネームを表示させると、以下のまま表示されますが故障ではありません。
0; CM SONGS ／／1－3; グループA／／4－8; グループB

グループディスクをグループ機能を搭載していない機器で編集を行った場合

グループ登録したグループディスクを、グループ機能を搭載してない機器で編集しないでください。（76～81ページの操作）
例えば、ムーブ機能やトラックイレース機能の編集を行うと、グループとして登録していた曲番号が編集前と異なってしまいます。

本機のグループ機能の制限

本機で扱えるグループは最大10個までです。
そのため、本機で11個目以上のグループを持つMDディスクを使用した場合、11個目以降のグループは以下の作業を行うと消去されますのでご注意ください。
● MD の編集（75 ～ 91 ページの操作）
● グループの登録、変更、解除（93 ～ 95 ページの操作）

また、パイオニア製以外の機器でグループ登録されたMDディスクのなかには、グループネームはあるのに、曲番号の範囲がないグループもあります。その場合、本機ではグループとして認識されません。これらのグループは以下の編集をすると消去されますのでご注意ください。また、グループ登録されたMDディスクの編集(デバイド、コンバイン、ムーブ、トラックイレース)では自動的にグループ情報を修正します。(状況によっては正しく修正されない場合があります)
● MD の編集（75 ～ 91 ページの操作）
● グループの登録、変更、解除（93 ～ 95 ページの操作）

グループディスクを作成する

グループ登録といいます。
MDに収録されている複数の曲をグループ登録します。ただしグループ登録は、曲番号が1～3のように連続している曲でしか行なうことはできません。
曲番号が離れている場合は、ムーブ機能（78ページ参照）を使って、あらかじめ連続した曲番号になるようにしておきます。
1枚のMDディスクに登録できるグループは、最大で10個です。

メモ

- 登録されているグループを確認する場合は、MDの停止中に、ディスプレイ(DISP)ボタンを押してください。登録されているグループの名前と、曲番号が順番に表示されます。(オールトラックモード(ALL)時のみ)
- 「CDの全曲を簡単にMDに録音する」(54ページ参照)を行った場合は、自動的にグループ登録されます。

例）12～15曲目を新しいグループに設定します。

1. MD演奏中、または一時停止中にメニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

現在演奏中、または一時停止中の曲がグループの先頭曲になります。例の場合は、12曲目を演奏、または一時停止します。

2. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"NEW GROUP"を選びます

10秒以内に押してください。

3. エンター(ENTER)ボタンを押します

10秒以内に押してください。先頭曲の確認の表示になります。

```
NEW GROUP
START Tr:012
```

4. エンター(ENTER)ボタンを押します

10秒以内に押してください。グループの先頭曲が決定します。

```
NEW GROUP
SELECT END Tr
```

5. ◄ボタン、または►ボタンを押して、グループの最終曲を選びます

10秒以内に押してください。例の場合は、15曲目を選びます。

```
NEW GROUP
 END Tr:015 ?
```

15曲目が演奏され、選んだ曲が確認できます。

6. エンター(ENTER)ボタンを押します

10秒以内に押してください。"COMPLETE" と表示され、グループの指定が終了します。
途中でグループ登録の操作をやめる場合は、停止(■)ボタンを押します。演奏中の場合は、演奏も停止します。

注意

◆ 一つの曲を複数のグループに登録することはできません。例えば、1～3曲目をグループAに3～5曲目をグループBにというように3曲目を二つのグループに登録することはできません。
◆ 曲を飛び越えてグループ登録することはできません。例えば1、3、5曲目というような飛び飛びの曲番号をグループとして登録することはできません。
◆ すでに登録されているグループと登録しようとしているグループの曲の範囲が重なる場合、すでに登録されている方の範囲を優先します。
◆ 本機でグループ登録したMDディスクは、グループ機能のないMDプレーヤーではグループ演奏をすることはできません。またその場合、ディスクネームに入力していない文字列が表示されます。これは、グループ登録した情報をディスクネームで管理しているためで、MDプレーヤーの故障ではありません。

グループディスクを変更する

メモ

- 1つの曲を複数のグループに登録できません。

注意

◆ すでに登録されているグループと登録しようとしているグループの曲の範囲が重なる場合、すでに登録されている方の範囲を優先します。
◆ シングルグループプレイモード（96ページ参照）が設定されているときは、登録したグループの変更、解除はできません。

登録したグループを変更する

変更したい曲が含まれているグループの、先頭曲と最終曲を変更します。
例）12～15曲目のグループを10～13曲目に変更します。

1. **MD演奏中、または一時停止中にメニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します**
変更したい曲が含まれているグループを演奏、または一時停止させてください。

2. **▼ボタン、または▲ボタンを押して"GROUP EDIT"を選びます**
10秒以内に押してください。

3. **エンター(ENTER)ボタンを押します**
10秒以内に押してください。

GROUP EDIT
START / END ?

4. **エンター(ENTER)ボタンを押します**
10秒以内に押してください。

GROUP EDIT
START Tr:012

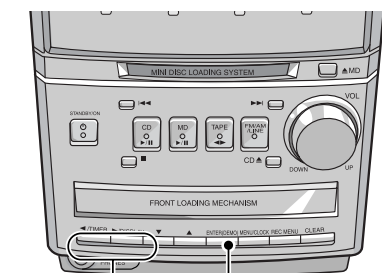
5. **◀ボタン、または▶ボタンを押して、グループの先頭曲を選びます**
10秒以内に押してください。例の場合は10曲目を選びます。

6. **エンター(ENTER)ボタンを押します**
10秒以内に押してください。"COMPLETE" と表示され、変更する先頭曲が決定します。
次に最終曲を変更します。

7. **メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します**
変更したい曲が含まれているグループを演奏、または一時停止させてください。

8. **▼ボタン、または▲ボタンを押して"GROUP EDIT"を選びます**
10秒以内に押してください。

9. **エンター(ENTER)ボタンを押します**
10秒以内に押してください。

10 **◀ボタン、または▶ボタンを押して、"END"を選びます**
10秒以内に押してください。

11 エンター(ENTER)ボタンを押します

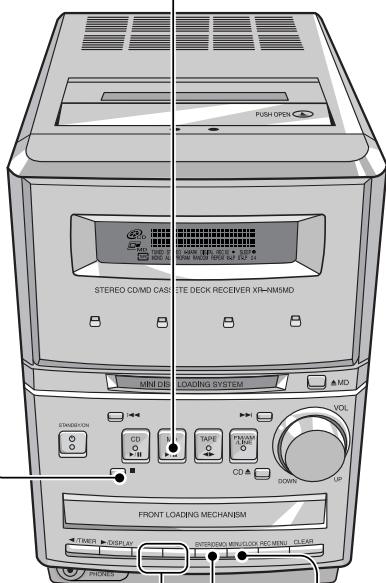
10秒以内に押してください。

12 ◄ボタン、または►ボタンを押して、グループの最終曲を選びます

10秒以内に押してください。例の場合は13曲目を選びます。

```
GROUP EDIT
 END Tr: 013?
```

13 エンター(ENTER)ボタンを押します

10秒以内に押してください。"COMPLETE" と表示され、グループ変更が実行されます。
途中でグループ変更の操作をやめる場合は、停止(■)ボタンを押します。演奏中の場合は、演奏も停止します。

登録したグループを解除する

解除したい曲が含まれているグループを、グループごと解除します。

1. MD演奏中、または一時停止中にメニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

変更したい曲が含まれているグループを演奏、または一時停止させてください。

2. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"GROUP CANCEL"を選びます

10秒以内に押してください。

3. エンター(ENTER)ボタンを押します

10秒以内に押してください。確認の表示になります。

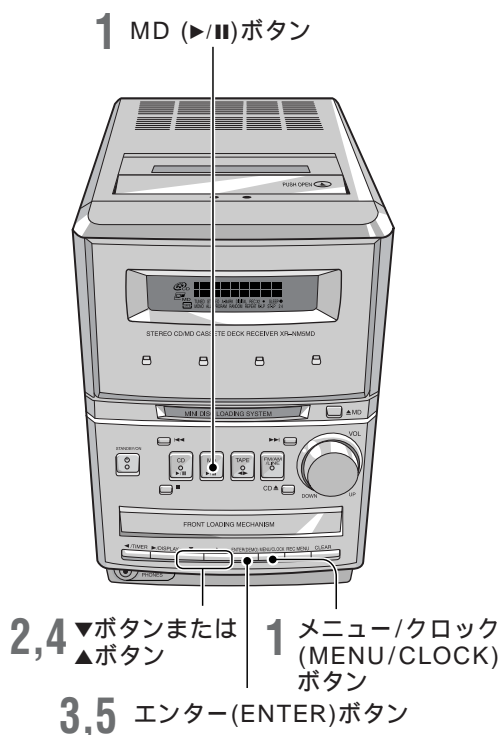
```
GROUP CANCEL
  Tr 001-004?
```

4. エンター(ENTER)ボタンを押します

10秒以内に押してください。"COMPLETE" と表示され、グループ解除が実行されます。
途中でグループ解除の操作をやめる場合は、停止(■)ボタンを押します。演奏中の場合は、演奏も停止します。

選択したグループを演奏する

グループ演奏機能といいます。
グループ登録されているMDにおいて、次の二つの演奏モードが設定できます。

- シングルグループプレイモード
  選択した一つのグループだけ演奏します。
- オールトラックプレイモード
  グループに関係なく、ディスク全体の演奏をおこないます。

注意

◆ シングルグループプレイモードではリモコンの数字ボタンを使っての選曲、プログラムプレイはできません。

1. MD停止中にメニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押します。手順2と3の操作は不要です。

2. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"PLAY MODE"を選びます

10秒以内に押してください。

```
MENU SELECT ↓↑
   PLAY MODE
```

3. エンター(ENTER)ボタンを押します

10秒以内に押してください。

4. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、オールトラックプレイモードかシングルグループプレイモードを選びます

- オールトラックプレイモード

```
PLAY MODE ↓↑
ALL TRACK
```

- シングルグループプレイモード

```
PLAY MODE ↓↑
SINGLE GROUP
```

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押します。押すごとに、演奏モードが切りかわります。

5. エンター(ENTER)ボタンを押します

"ALL"点灯 .... オールトラックプレイ(ALL)モード選択時
"ALL"消灯 .... シングルグループプレイ(SINGLE)モード選択時

聞きたいグループを選ぶ

グループサーチ機能といいます。
グループ登録されているMDの場合、指定したグループ先頭曲の頭出しが簡単にできます。
グループ登録されていない場合には93ページを参照してグループ登録をしてください。

MD停止中に▼ボタン、または▲ボタンを押します

- シングルグループプレイモード選択時
  押すごとに登録されているグループを表示します。

- オールトラックプレイモード選択時
  演奏中の場合、選んだグループの先頭曲の演奏を開始します。停止中の場合は先頭曲を表示します。

グループに名前をつける(グループネーム機能)

登録したグループに名前をつけることができます。
グループ名は、演奏モード(PLAY MODE)の"SINGLE GROUP"が選択されているときに表示されます。
誤消去防止状態になっているMDには名前をつけることはできません。(52ページ参照)

停止(■)ボタン

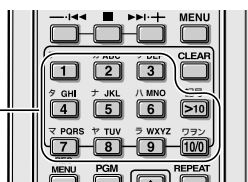
1 MD (▶/II)ボタン

5 ◀ボタンまたは▶ボタン

2,4 ▼ボタンまたは▲ボタン

1,8 メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタン

3,6 エンター(ENTER)ボタン

数字ボタン

メモ

- 文字の入力中に、クリアー(CLEAR)ボタンを押すと、アンダーバーの一つ前の文字から1文字ずつ消去されます。
- 入力した文字の最後がスペースの場合、メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押して文字を決定するとスペースは削除されます。
- ー・I◀◀ボタンまたは▶▶I・＋ボタンを押してアンダーバーを移動させ、入力したい文字の位置を移動することができます。
- スペースを入力する場合、アンダーバーを移動させてスペースをつくることで、入力することができます。また、入力できる文字の種類(82ページ参照)から、スペースを選び、入力することもできます。

1. MD再生中、または一時停止中にメニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

リモコンの場合は、メニュー(MENU)ボタンを押します。
名前をつけたいグループを演奏、または一時停止させてください。

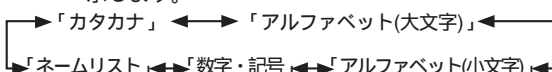
2. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"GROUP NAME"を選びます

MENU SELECT ↓↑
GROUP NAME

3. エンター(ENTER)ボタンを押します

10秒以内に押してください。文字入力ができる状態になります。

アイウエオカキクケコサシスセソー

4. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、文字の種類を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。▼ボタンを押すと右回りに、▲ボタンを押すと左回りに表示します。

→「カタカナ」←→「アルファベット(大文字)」←
→「ネームリスト」←→「数字・記号」←→「アルファベット(小文字)」←

ネームリストとは、本機にあらかじめ用意されている単語です。83ページの表にある単語が表示されます。
▼ボタンまたは▲ボタンを押して、名前に使用する単語を選びます。

リモコンの数字ボタンの場合

入力する文字が表記されている数字ボタンを押します。詳しくは、82ページの文字入力パターンを参照してください。文字の種類をかえるときは、▼ボタン、または▲ボタンを押します。

5. ◀ボタン、または▶ボタンを押して、入力する文字を選びます

ABCDEFGHIJKLMNOP

6. エンター(ENTER)ボタンを押して文字を決定します

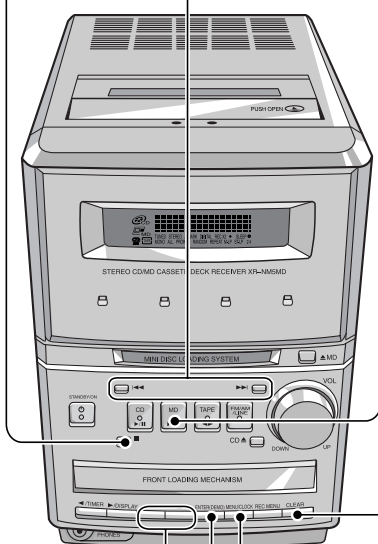
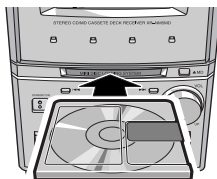
7. 手順4～6を繰り返して、すべての文字を入力します

途中で名前をつける操作をやめる場合は、停止(■)ボタンを押します。

8. メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

"COMPLETE" と表示され、文字の入力が終了します。

グループの名前(グループネーム)を修正/追加する

間違えて入力してしまった文字を消したり、新たに文字を追加したりすることができます。

2 停止(■)ボタン
2 MD (▶/II)ボタン
6 ー・|◀◀ ボタンまたは ▶▶|・＋ ボタン
4 ▼ボタンまたは▲ボタン
3 メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタン
5 エンター(ENTER)ボタン
クリアー(CLEAR)ボタン

例)"BEUT"から"U"を消して"S"を追加して、"BEST"にする

1. MDを入れます

ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。
誤消去防止状態になっているMDは名前を修正することはできません。(52ページ参照)

2. MD (▶/II)ボタンを押してから、停止(■)ボタンを押します。

3. メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

リモコンの場合は、メニュー(MENU)ボタンを押します。
メニュー選択の表示になります。

4. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"GROUP NAME"を選びます

表示されているすべての文字を消すには....

GROUP NAMEが点滅表示している時に、クリアー(CLEAR)ボタンを2秒以上押します。
"NAME CLEAR ?"と確認の表示になります。
エンター(ENTER)ボタンを押すと、"COMPLETE"と表示後、"NO NAME"と表示して選択したグループのすべての文字(グループネーム)が消えます。

5. エンター(ENTER)ボタンを押します

10秒以内に押してください。ディスク名が表示されます。

BEUT_
アイウエオカキクケコサシスセソ-

6. ー・|◀◀ ボタン、または ▶▶|・＋ ボタンを押して、アンダーバーを移動させます

消したり追加したい文字の右側にアンダーバーを移動させます。

BEUṮ
アイウエオカキクケコサシスセソ-

グループの名前(グループネーム)を修正/追加する

10 エンター(ENTER)ボタン

数字ボタン

7. クリアー(CLEAR)ボタンを押して文字を消します

消す文字がない場合は、次の操作に進みます。

BE_T
アイウエオカキクケコサシスセソー

8. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、文字の種類を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。▲ボタンを押すと右回りに、▼ボタンを押すと左回りに表示します。

→「カタカナ」 ←→ 「アルファベット(大文字)」←
→「ネームリスト」←→「数字・記号」←→「アルファベット(小文字)」←

ネームリストとは、本機にあらかじめ用意されている単語です。83ページの表にある単語が表示されます。▼ボタンまたは▲ボタンを押して、名前に使用する単語を選びます

リモコンの数字ボタンの場合

入力する文字が表記されている数字ボタンを押します。詳しくは、82ページの文字の入力パターンを参照してください。文字の種類をかえるときは、▼ボタン、または▲ボタンを押します。

9. ◄ボタン、または►ボタンを押して、入力する文字を選びます

BE_T
QRSTUVWXYZ:;,.-/

リモコンの数字ボタンの場合は、入力する文字が表記されている数字ボタンを押します。

10 エンター(ENTER)ボタンを押して、文字を決定します

BES_T
QRSTUVWXYZ:;,.-/

11 複数の文字を修正する場合は、手順6〜10を繰り返して、すべての文字を修正します

名前の修正を途中でやめる場合は、停止(■)ボタンを押します。

12 メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

名前の修正が終了します。

13 メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

"COMPLETE" と表示して終了します。

メモ

- 文字の入力中に、クリアー(CLEAR)ボタンを押すと、アンダーバーの一つ前の文字から1文字ずつ消去されます。
- 入力した文字の最後がスペースの場合、メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押して文字を決定するとスペースは削除されます。

好きな音楽で目覚める

ウェイクアップタイマーといいます。
解除しない限り、毎日同時刻に実行されます。
16ページにて時刻の設定をしていないと、操作することはできません。

MD、テープ、CD、FM/AMラジオを使う

例1）午前8時40分に、MD、テープ、CD、FM/AM放送のいずれかの演奏がスタートし、午前9時30分に演奏が終わるようにタイマーをセットする

1. 演奏させたいソースの準備をします

MDで目覚めるには....

ディスクをセットし、 ━・I◀◀ ボタン、または ▶▶I・✚ボタンで好きな曲を演奏させてから、MD(▶/II)ボタンを押して一時停止させます。ウェイクアップタイマーが動作したとき、この曲からスタートします。(40ページ参照)

テープで目覚めるには....

カセットテープをセットして聞きたい曲で停止(■)ボタンを押して停止させます。ウェイクアップタイマーが動作したとき、この曲からスタートします。(28ページ参照)

CDで目覚めるには....

ディスクをセットし、 ━・I◀◀ ボタン、または ▶▶I・✚ボタンで好きな曲を演奏させてから、CD(▶/II)ボタンを押して一時停止させます。ウェイクアップタイマーが動作したとき、この曲からスタートします。(22ページ参照)

FM/AM放送で目覚めるには....

FM/AM/LINEボタンを押し、好きな放送局を受信します (18ページ参照)。ウェイクアップタイマーが動作したとき、選択した放送局の受信を開始します。

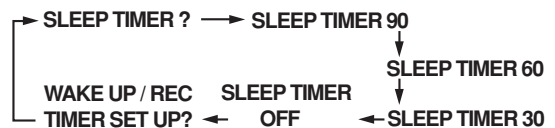
2. 音量の調整を行ないます

設定した音量でタイマー演奏されます。

3. タイマー(TIMER)ボタンを押して、"TIMER SET UP ?"を選択します

押すごとに以下のように切りかわります。

SLEEP TIMER ? → SLEEP TIMER 90 → SLEEP TIMER 60 → SLEEP TIMER 30 → SLEEP TIMER OFF → WAKE UP / REC TIMER SET UP? → (SLEEP TIMER ?)

```
WAKE UP / REC
 TIMER SET UP ?
```

4. エンター(ENTER)ボタンを押します

5. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"WAKE UP TIMER "を選択します

```
TIMER MODE ↓↑
WAKE UP TIMER
```

6. **エンター(ENTER)ボタンを押します**

ON TIME 0:00

7 **▼ボタン、または▲ボタンを押して、開始時刻の「時」を合わせます**

例の場合は、8 にします。

ON TIME 8:00

8. **エンター(ENTER)ボタンを押します**

開始時刻の「時」が入力されます。

ON TIME 8:00

9. **▼ボタン、または▲ボタンを押して、開始時刻の「分」を合わせます**

例の場合は、40 にします。

ON TIME 8:40

10 **エンター(ENTER)ボタンを押します**

演奏開始時刻が設定されます。

ON TIME 8:40

11 **▼ボタン、または▲ボタンを押して、終了時刻の「時」を合わせます**

例の場合は、9 にします。

OFF TIME 9:00

12 **エンター(ENTER)ボタンを押します**

終了時刻の「時」が入力されます。

OFF TIME 9:00

13 **▼ボタン、または▲ボタンを押して、終了時刻の「分」を合わせます**

例の場合は、30 にします。

OFF TIME

14 **エンター(ENTER)ボタンを押します**

終了時刻の「分」が入力され、自動的に設定内容を以下のように表示していきます。
「タイマーの種類」➡「開始時刻」➡「終了時刻」➡「演奏されるソース（CD、MD、TUNERなど）＊」➡「音量」を順番に表示していきます。

＊ CD の場合： 演奏開始曲のトラック No. が表示されます。
MD の場合： 演奏開始曲のトラック No. が表示されます。
TUNER の場合：演奏開始する放送局の受信周波数が表示されます。

15 **電源スイッチを押して電源をオフにします**

スタンバイ状態になって、◷ が点灯します。

途中で設定を中止にするには

停止(■)ボタンを押します

再度ウェイクアップタイマーを設定するときは、はじめから設定し直してください。

設定した内容を変更するには

はじめから設定をやり直します

解除するには

電源がオフ（スタンバイ状態）のときにタイマー(TIMER)ボタンを押します

"TIMER OFF" と表示され、◷ が消えて解除されます。
"●"の点灯が消えると、タイマー録音も解除されます。

● タイマー録音が設定されている場合は、112ページの「タイマーを同時に使ったとき」も参照してください。

注意

◆ 外部入力(LINE)を選択しているときに、タイマー設定を行うと、外部入力が選択された状態でタイマーを実行します。

解除した設定を再設定するには

ウェイクアップタイマーは、解除しない限り、毎日、同じ時刻に実行されますが、一度解除しても解除した設定と同じ設定内容で**ウェイクアップタイマーを簡単に再設定することができます。**

ウェイクアップタイマーが解除された状態で、電源がオフ（スタンバイ状態）のときにタイマー(TIMER)ボタンを押します

"TIMER CHECK" と表示され、自動的に再設定する内容を以下のように表示していきます。
「タイマーの種類」➡「開始時刻」➡「終了時刻」➡「演奏されるソース（CD、MD、TUNERなど）*」➡「音量」を順番に表示していきます。
🕘 が点灯し、再度タイマーが設定されます。

* CDの場合：　演奏開始曲のトラックNo.が表示されます。
MDの場合：　演奏開始曲のトラックNo.が表示されます。
TUNERの場合：演奏開始する放送局の受信周波数が表示されます。

- タイマー録音が設定されている場合は、112ページの「タイマーを同時に使ったとき」も参照してください。

メモ

- ウェイクアップタイマーを設定したあとに、設定したMDの演奏モードやテープのリバースモードを切りかえたりしたときは、変更後（電源を切る前）の状態でウェイクアップタイマーが動作します。

注意

◆ 停電したり電源コードを抜くと、時計表示が「0:00」となり時計は動作しません。この場合はウェイクアップタイマーの設定も解除されていますので、時刻を合わせてからあらためてウェイクアップタイマーを設定し直してください。
◆ CDやMDでウェイクアップタイマーを使う場合、リピート演奏およびランダム演奏はあらかじめ設定できません。この場合、ウェイクアップタイマー動作中にリモコンのリピート(REPEAT)ボタンまたはランダム（RANDOM）ボタンを押せば設定することができます。

音楽を聞きながら眠る

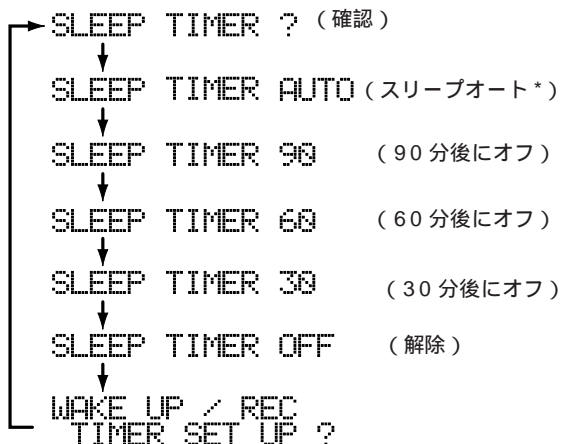
スリープタイマーといいます。設定した時間が経過すると自動的に電源がオフになります。音楽を聞きながら眠ったり、録音したまま外出したりするときに便利です。
設定できる時間は、90分、60分、30分の3種類と、スリープオートです。

タイマー(TIMER)ボタン

注意

◆ 現在の時刻の設定がされていないと、スリープタイマーは動作しません。必ず16ページにて時計をあわせてから操作してください。
◆ MD、CDのリピート演奏中や停止中は、スリープオートは選べません。
◆ テープで ⮂（プレイモード）が選択されている時にスリープオート（SLEEP AUTO）を選ぶと ⮐（プレイモード）に自動的に変更します。

演奏中または録音中に、タイマー(TIMER)ボタンを押します。

リモコンの場合はSLEEP/TIMERボタンを押します。
押すごとに以下のように切りかわります。
3秒間表示したあと決定し、"SLEEP"が点灯します。

* スリープオート(SLEEP AUTO)

CDやMD、テープの演奏中または録音中に選ぶことができます。（FM/AM放送はテープやMDに録音中の時だけ選ぶことができます。外部機器では選ぶことはできません。）演奏または録音が終了して本機が停止してから1分後に自動的に電源がオフになります。

スリープタイマーの残り時間を確認するには

スリープタイマーの動作中に、タイマー(TIMER)ボタンを押します。残り時間を表示します。
もう一度押すと、設定時間が切りかわります。

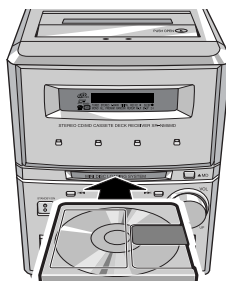
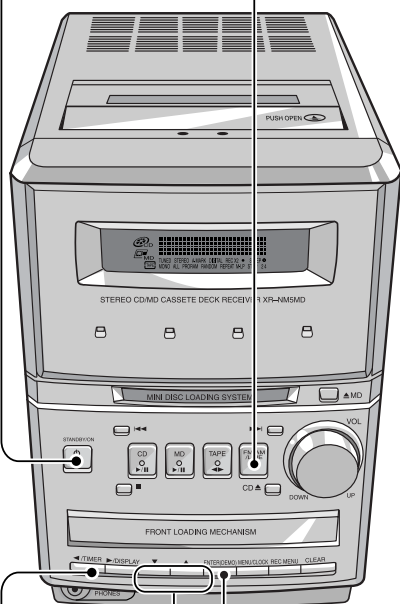
タイマー動作を解除するには

タイマー(TIMER)ボタンを押して、スリープタイマーオフ(SLEEP TIMER OFF)を選びます。
表示部の"SLEEP"が消えます。

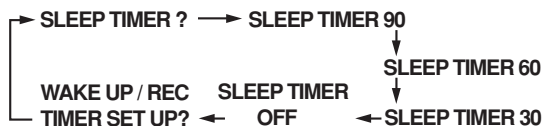
FM/AM 放送を MD に留守録音する

タイマー録音といいます。タイマー録音は、FM/AM 放送の留守録専用です。必ず時計をあわせてから操作してください。（16 ページ参照）
一度実行すると解除されますので、次に実行する場合は再設定が必要になります。
アナログ録音となります。本機は自動的に録音レベルを設定します。
MD 記録曲数は最大 255 曲です。ただし、録音、消去、編集をくり返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。

午後8時30分から午後9時15分まで、FM放送82.50MHzをMDに録音するときの例

1. **録音用 MD を入れます**

ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。
誤消去防止状態になっている MD には録音できません。（52 ページ参照）
ディスクの録音可能時間を知ることができます。（53,74 ページ参照）

2. **FM/AM 放送の準備をします**

FM/AM/LINEボタンを押し、タイマー録音で録音したい放送局を受信します。(18ページ参照)

3. **タイマー(TIMER)ボタンを押して、"TIMER SET UP ?"を選択します**

押すごとに以下のように切りかわります。

SLEEP TIMER ? → SLEEP TIMER 90 → SLEEP TIMER 60 → SLEEP TIMER 30 → SLEEP TIMER OFF → WAKE UP / REC TIMER SET UP? → SLEEP TIMER ?

WAKE UP / REC
TIMER SET UP ?

4. **エンター(ENTER)ボタンを押します**

5. **▼ボタン、または▲ボタンを押して、"REC TIMER"を選びます**

TIMER MODE ↓↑
REC. TIMER

6. **エンター(ENTER)ボタンを押します**

ON TIME 0:00

7. **▼ボタン、または▲ボタンを押して、開始時刻の「時」を合わせます**

例の場合は、20 にします。

ON TIME 20:00

8. **エンター(ENTER)ボタンを押します**

開始時刻の「時」が入力されます。

ON TIME 20:00

9. **▼ボタン、または▲ボタンを押して、開始時刻の「分」を合わせます**

例の場合は、30にします。

ON TIME 20:30

10 **エンター(ENTER)ボタンを押します**

録音開始時刻が設定されます。

ON TIME 20:30

11 **▼ボタン、または▲ボタンを押して、終了時刻の「時」を合わせます**

例の場合は、21にします。

OFF TIME 21:00

12 **エンター(ENTER)ボタンを押します**

終了時刻の「時」が入力されます。

OFF TIME 21:00

13 **▼ボタン、または▲ボタンを押して、終了時刻の「分」を合わせます**

例の場合は、15にします。

OFF TIME 21:15

14 **エンター(ENTER)ボタンを押します**

15 **▼ボタン、または▲ボタンを押して、MDへの録音を選びます**

ST-02 FM→MD
82.50MHz

16 **エンター(ENTER)ボタンを押します**

確認表示になり、「タイマーの種類」➡「開始時刻」➡「終了時刻」➡「録音する受信周波数」➡「録音する機器（MD）」➡「音量」を順番に表示していきます。

17 **電源スイッチを押して電源をオフにします**

スタンバイ状態になって、“●”が点灯します。

途中で設定を中止にするには

停止(■)ボタンを押します

再度タイマー録音を設定するときは、はじめから設定し直してください。

設定した内容を変更するには

はじめから設定をやり直します

解除するには

電源がオフ（スタンバイ状態）のときにタイマー(TIMER)ボタンを押します

"TIMER OFF" と表示され、“●”が消えて解除されます。

◷ の点灯が消えると、ウェイクアップタイマーも解除されます。

- ウェイクアップタイマーが設定されている場合は、112ページの「タイマーを同時に使ったとき」も参照してください。

解除した設定を再設定するには

解除した設定と同じ設定内容で**タイマー録音**を簡単に再設定することができます。毎日、同じ時刻にタイマー録音するときなどに便利です。

タイマー録音が解除された状態で、電源がオフ（スタンバイ状態）のときにタイマー(TIMER)ボタンを押します

"TIMER CHECK" と表示され、自動的に再設定する内容を表示していきます。

- ウェイクアップタイマーが設定されている場合は、112ページの「タイマーを同時に使ったとき」も参照してください。

注意

◆ タイマー録音したあとは、音量は0になっています。
◆ タイマー録音中は、音量は0になり音は出ません。
◆ タイマー録音は、1度だけの動作です。
◆ 停電したり電源コードを抜くと時計表示が「0:00」となり時計は動作しません。この場合はタイマー録音の設定も解除されていますので時刻を合わせてからあらためてタイマー録音を設定し直してください。

FM/AM放送をテープに留守録音する

タイマー録音といいます。タイマー録音は、FM/AM 放送の留守録専用です。必ず時計をあわせてから操作してください。（16 ページ参照）
一度実行すると解除されますので、次に実行する場合は再設定が必要になります。
カセットテープの種類は、TYPE Ⅰ（ノーマル）を使用してください。TYPE Ⅱ（クローム /HIGH）または TYPE Ⅳ（メタル）のカセットテープでは、ご使用になれません。
テープの始めにリーダーテープ（録音できない部分）があるので、約 5 秒ほどテープを走行させておいてください。

7 FM/AM/LINEボタン

22 電源スイッチ

2 テープ(TAPE ◄►)ボタン

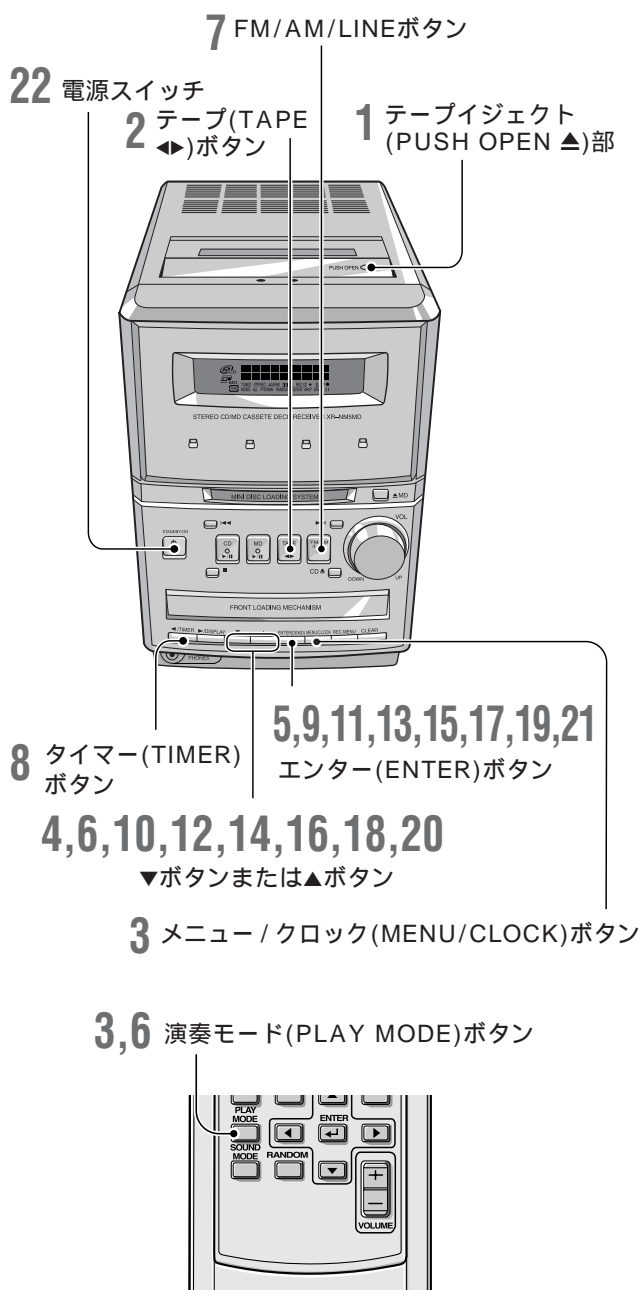
1 テープイジェクト(PUSH OPEN ≜)部

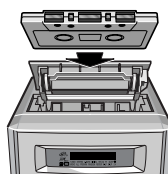
8 タイマー(TIMER)ボタン

5,9,11,13,15,17,19,21 エンター(ENTER)ボタン

4,6,10,12,14,16,18,20 ▼ボタンまたは▲ボタン

3 メニュー / クロック(MENU/CLOCK)ボタン

3,6 演奏モード(PLAY MODE)ボタン

午後8 時3 0 分から午後9 時1 5 分まで、F M 放送82.50MHzをテープに録音するときの例

1. テープイジェクト(PUSH OPEN ≜)部を押して、カセットホルダーに録音用テープを入れます

カセットテープをホルダー内に入れます。
⬇
手でカセットホルダーを押して閉めます。

2. テープ(TAPE ◄►)ボタンを押して録音方向を決めます

押すごとに切りかわります。録音開始方向を選んだら、停止(■)ボタンを押します。
◄（リバース方向） ⟷ ►（フォワード方向）
テープをカセットホルダーにセットするとき、A面を上にすれば ► が A 面に、◄ が B 面になります。

3. メニュー / クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押して、リバースモードを選びます。手順4と 5 の操作は不要です。

4. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"PLAY MODE" を選びます

5. エンター(ENTER)ボタンを押します

6. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、リバースモードを選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

：片面だけ録音して停止します。

：片面を1回ずつ（両面）録音して停止します。ただし ◄（リバース方向）から録音を開始した場合は、片面（リバース）録音が終わると停止します。

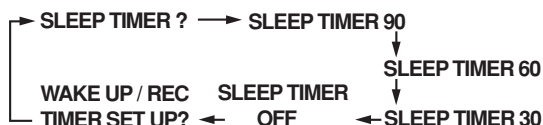
リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押します。押すごとに、リバースモードが切りかわります。

7. FM/AM 放送の準備をします

FM/AM/LINEボタンを押し、タイマー録音で録音したい放送局を受信します。(18ページ参照)

8. タイマー(TIMER)ボタンを押して、"TIMER SET UP ?"を選択します

押すごとに以下のようにに切りかわります。

SLEEP TIMER ? → SLEEP TIMER 90 → SLEEP TIMER 60 → SLEEP TIMER 30 → SLEEP TIMER OFF → WAKE UP / REC TIMER SET UP? → SLEEP TIMER ?

WAKE UP / REC
TIMER SET UP ?

9. エンター(ENTER)ボタンを押します

TIMER MODE ↓↑
WAKE UP TIMER

10 ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"REC TIMER"を選びます

TIMER MODE ↓↑
REC. TIMER

11 エンター(ENTER)ボタンを押します

ON TIME 0:00

12 ▼ボタン、または▲ボタンを押して、開始時刻の「時」を合わせます

例の場合は、20にします。

ON TIME 20:00

13 エンター(ENTER)ボタンを押します

開始時刻の「時」が入力されます。

ON TIME 20:00

14 ▼ボタン、または▲ボタンを押して、開始時刻の「分」を合わせます

例の場合は、30にします。

ON TIME 20:30

15 エンター(ENTER)ボタンを押します

録音開始時刻が設定されます。

ON TIME 20:30

16 ▼ボタン、または▲ボタンを押して、終了時刻の「時」を合わせます

例の場合は、21にします。

OFF TIME 21:00

17 エンター(ENTER)ボタンを押します

終了時刻の「時」が入力されます。

OFF TIME 21:00

18 ▼ボタン、または▲ボタンを押して、終了時刻の「分」を合わせます

例の場合は、15にします。

OFF TIME 21:15

19 エンター(ENTER)ボタンを押します

20 ▼ボタン、または▲ボタンを押して、TAPEへの録音を選びます

ST-05 FM---→TAPE
82.50MHz

21 エンター(ENTER)ボタンを押します

確認表示になり、「タイマーの種類」➡「開始時刻」➡「終了時刻」➡「録音する受信周波数」➡「録音する機器（TAPE）」➡「音量」を順番に表示していきます。

22 電源スイッチを押して電源をオフにします

スタンバイ状態になって、“●”が点灯します。

途中で設定を中止にするには

停止(■)ボタンを押します

再度タイマー録音を設定するときは、はじめから設定し直してください。

設定した内容を変更するには

はじめから設定をやり直します

解除するには

電源がオフ（スタンバイ状態）のときにタイマー(TIMER)ボタンを押します

"TIMER OFF" と表示され、"●" が消えて解除されます。

◴ の点灯が消えると、ウェイクアップタイマーも解除されます。

- ウェイクアップタイマーが設定されている場合は、112ページの「タイマーを同時に使ったとき」も参照してください。

解除した設定を再設定するには

解除した設定と同じ設定内容で**タイマー録音**を簡単に再設定することができます。毎日、同じ時刻にタイマー録音するときなどに便利です。

タイマー録音が解除された状態で、電源がオフ（スタンバイ状態）のときにタイマー(TIMER)ボタンを押します

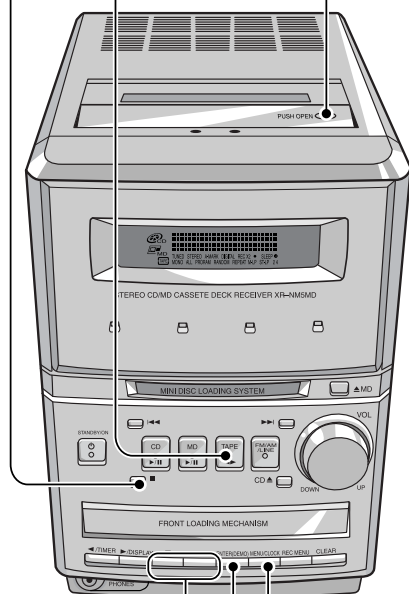
"TIMER CHECK" と表示され、自動的に再設定する内容を表示していきます。

- ウェイクアップタイマーが設定されている場合は、112ページの「タイマーを同時に使ったとき」も参照してください。

注意

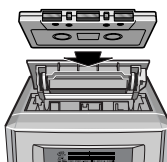
◆ タイマー録音したあとは、音量は0になっています。
◆ タイマー録音中は、音量は0になり音は出ません。
◆ タイマー録音は、1度だけの動作です。
◆ 停電したり電源コードを抜くと、時計表示が「0:00」となり時計は動作しません。この場合はタイマー録音の設定も解除されていますので、時刻を合わせてからあらためてタイマー録音を設定し直してください。

FM/AM 放送を MD とテープに留守録音する

タイマー録音といいます。タイマー録音は、FM/AM 放送の留守録専用です。必ず時計をあわせてから操作してください。（16 ページ参照）
一度実行すると解除されますので、次に実行する場合は再設定が必要になります。

午後8時30分から午後9時15分まで、FM放送82.50MHzをMDとテープに録音するときの例

1. 録音用の MD を入れます

ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。
誤消去防止状態になっている MD には録音できません。（52 ページ参照）

2. テープイジェクト(PUSH OPEN ⏏)部を押して、カセットホルダーに録音用テープを入れます

カセットテープをホルダー内に入れます。
⬇
手でカセットホルダーを押して閉めます。

3. テープ(TAPE ◀▶)ボタンを押して録音方向を決めます

押すごとに切りかわります。録音開始方向を選んだら、停止(■)ボタンを押します。

4. メニュー / クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押して、リバースモードを選びます。手順5と 6 の操作は不要です。

5. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、"PLAY MODE" を選びます

6. エンター(ENTER)ボタンを押します

7. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、リバースモードを選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

：片面だけ録音して停止します。

：片面を1回ずつ（両面）録音して停止します。ただし◀（リバース方向）から録音を開始した場合は、片面（リバース）録音が終わると停止します。

リモコンの場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押します。押すごとに、リバースモードが切りかわります。

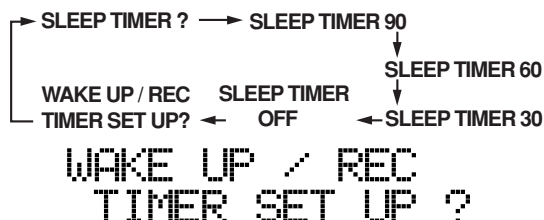
8. **FM/AM 放送の準備をします**

FM/AM/LINEボタンを押し、タイマー録音で録音したい放送局を受信します。(18ページ参照)

9. **タイマー(TIMER)ボタンを押して、"TIMER SET UP ?"を選択します**

押すごとに以下のように切りかわります。

SLEEP TIMER ? → SLEEP TIMER 90 → SLEEP TIMER 60 → SLEEP TIMER 30 → SLEEP TIMER OFF → WAKE UP / REC TIMER SET UP? → SLEEP TIMER ?

WAKE UP / REC
TIMER SET UP ?

10 **エンター(ENTER)ボタンを押します**

11 **▼ボタン、または▲ボタンを押して、"REC TIMER"を選びます**

TIMER MODE ↓↑
REC. TIMER

12 **エンター(ENTER)ボタンを押します**

ON TIME 0:00

13 **▼ボタン、または▲ボタンを押して、開始時刻の「時」を合わせます**

例の場合は、20にします。

ON TIME 20:00

14 **エンター(ENTER)ボタンを押します**

開始時刻の「時」が入力されます。

ON TIME 20:00

15 **▼ボタン、または▲ボタンを押して、開始時刻の「分」を合わせます**

例の場合は、30にします。

ON TIME 20:30

16 **エンター(ENTER)ボタンを押します**

録音開始時刻が設定されます。

ON TIME 20:30

17 **▼ボタン、または▲ボタンを押して、終了時刻の「時」を合わせます**

例の場合は、21にします。

OFF TIME 21:00

18 **エンター(ENTER)ボタンを押します**

終了時刻の「時」が入力されます。

19 **▼ボタン、または▲ボタンを押して、終了時刻の「分」を合わせます**

例の場合は、15にします。

OFF TIME 21:00

20 **エンター(ENTER)ボタンを押します**

OFF TIME 21:15

21 **▼ ボタン、または▲ ボタンを押して、MD&TAPEへの録音を選びます**

ST-05 FM→MD
82.50MHz →TAPE

22 **エンター(ENTER)ボタンを押します**

確認表示になり、「タイマーの種類」➡「開始時刻」➡「終了時刻」➡「録音する受信周波数」➡「録音する機器（MD、TAPE)」➡「音量」を順番に表示していきます。

23 **電源スイッチを押して電源をオフにします**

スタンバイ状態になって、“●”が点灯します。

途中で設定を中止にするには

停止(■)ボタンを押します

再度タイマー録音を設定するときは、はじめから設定し直してください。

設定した内容を変更するには

はじめから設定をやり直します

解除するには

電源がオフ（スタンバイ状態）のときにタイマー(TIMER)ボタンを押します

"TIMER OFF" と表示され、“●”が消えて解除されます。

⏲の点灯が消えると、ウェイクアップタイマーも解除されます。

- ウェイクアップタイマーが設定されている場合は、112ページの「タイマーを同時に使ったとき」も参照してください。

解除した設定を再設定するには

解除した設定と同じ設定内容で**タイマー録音**を簡単に再設定することができます。毎日、同じ時刻にタイマー録音するときなどに便利です。

タイマー録音が解除された状態で、電源がオフ（スタンバイ状態）のときにタイマー(TIMER)ボタンを押します

"TIMER CHECK" と表示され、自動的に再設定する内容を表示していきます。

- ウェイクアップタイマーが設定されている場合は、112ページの「タイマーを同時に使ったとき」も参照してください。

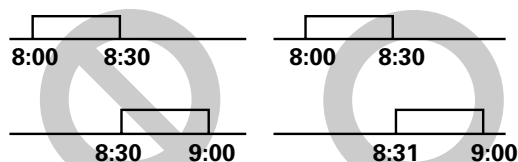
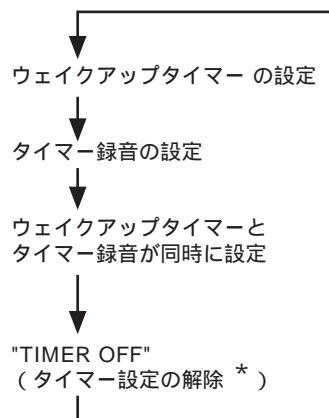
注意

◆ タイマー録音したあとは、音量は0になっています。
◆ タイマー録音中は、音量は0になり音は出ません。
◆ タイマー録音は、1度だけの動作です。
◆ 停電したり電源コードを抜くと、時計表示が「0:00」となり時計は動作しません。この場合はタイマー録音の設定も解除されていますので、時刻を合わせてからあらためてタイマー録音を設定し直してください。

タイマーを同時に使ったとき

ウェイクアップタイマーやタイマー録音など、2 種類以上のタイマーを同時に使う場合は、以下の点に注意してください。

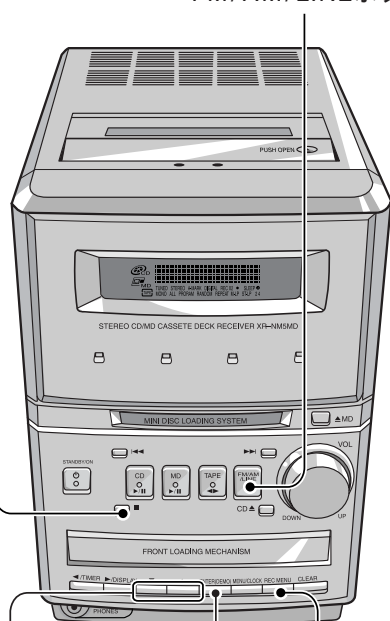
ウェイクアップタイマーとタイマー録音を組み合わせて使うには

ウェイクアップタイマーとタイマー録音が連続する設定をするときは、設定時刻が重ならないように設定間隔を 1 分以上あけてください。設定時間に間隔があいていないと、あとに動作予定のタイマーが設定どおり動作しません。

電源がオフ（スタンバイ状態）のときにタイマー(TIMER)ボタンを押すと、以下のように切りかわります

* ウェイクアップタイマーインジケーター（◷）とタイマー録音インジケーター（●）が消え、タイマーを解除します。

スリープタイマーとウェイクアップタイマーを組み合わせて使うには

例えば、夜は CD を聞きながらスリープタイマーで電源をオフにして寝て、朝は FM で目覚めるといったことができます。

外部機器を使う

１０ページで本機に接続した外部機器を聞いたり、本機のMDやテープに録音することができます。
本機と外部機器との接続はアナログ接続のため、MDへの録音も全てアナログ録音となります。

メモ

- MDとテープの両方とも録音ができる状態の時に、手順３～５に従って"MD REC"の操作をしたあと、同じく手順３～５に従って"TAPE REC"の操作を行なうと、MDとテープの両方に録音することができます。
- 本機に接続した外部機器を聞いたときや、アナログ録音して再生すると、歪みっぽく感じられる場合があります。入力信号が大きすぎることが考えられ、アッテネーター(減衰器)をオンすると改善されることがあります。
  FM/AM/LINEボタンを押してLINEを選び、メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押します。▼ボタン、または▲ボタンを押して、"LINE ATT"を選び、エンター(ENTER)ボタンを押します。◀ボタン、または▶ボタンを押してオンかオフを選び、エンター(ENTER)ボタンを押します。

外部機器を聞く

1. FM/AM/LINEボタンを押して、LINEを選びます

押すごとに、下記のように切りかわります。

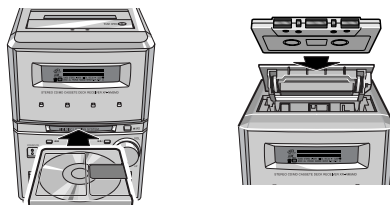
→FM放送 → AM放送 → LINE →

リモコンの場合はLINEボタンを押します。

2. 外部機器の演奏をスタートさせます

音量は本機のボリュームで行います。

外部機器を本機で録音する

1. 録音用のMDまたはテープを入れます

テープに録音するときは....

テープ(TAPE ◀▶)ボタンを押して録音方向を決めます。
リモコンの演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押してリバースモードを選びます。
本体の場合は、メニュー/クロック(MENU/CLOCK)ボタンを押して、▼ボタン、または▲ボタンで"PLAY MODE"を選び、エンター(ENTER)ボタンを押します。▼ボタン、または▲ボタンを押して、リバースモードを選びます.

2. FM/AM/LINEボタンを押して、LINEを選びます

3. 録音メニュー(REC MENU)ボタンを押して、録音モードの選択表示にします

4. ▼ボタン、または▲ボタンを押して、以下のように切りかえます

押すごとに以下のように切りかわります。
MDに録音するときは**"MD REC"**を、テープに録音するときは**"TAPE REC"**を選びます。

5. エンター(ENTER)ボタンを押します

MDまたはテープの録音が開始します。

6. 外部機器の演奏をスタートさせます

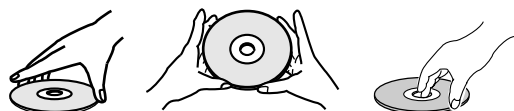
録音を停止する場合は、停止(■)ボタンを押します。

TIMER OPERATION | APPENDIX

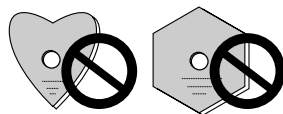
CDの取り扱いかた

右記マークの付いたディスクをお使いください。それ以外のディスクを使用すると故障の原因となることがあります。

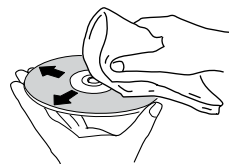
ディスクの持ちかた

信号面（虹色に光っている側）にふれないでください。

保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たるところ、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

特殊な形状のCDは使用しないでください。
ハートの形など、円形以外の形状のCDは使用しないでください。使用すると故障の原因になります。

損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。

ディスクのお手入れ

- 汚れにより音が飛んだり、音質が低下することがあります。

柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭く

- ディスクの清掃には別売ディスククリーニングセット（JV-D11）の使用をおすすめします。
- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤なども使用できません。

レーベル面に紙やシールなどを貼付けたり、キズなどをつけないようにしてください。
のりなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。
特に、レンタルディスクにおいてはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しを確認してから、ご使用ください。

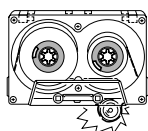
注意

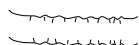
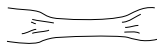
ビデオCD［ または ］は再生できません。

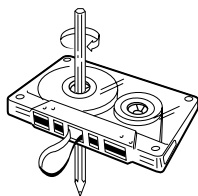
ビデオCDとは、MPEG方式で最大74分のデジタル画像／音声が記録されているディスクです。

テープの取り扱いかた

⚠ 注意

C-90を超えるテープ（C-100,C-120等）は厚みが非常に薄く、早送り、巻戻し、停止等を繰り返すと、ピンチローラやキャプスタンに巻き込んだり、テープが切れたりする原因になりますので、ご使用にならないでください。

テープがからまる！

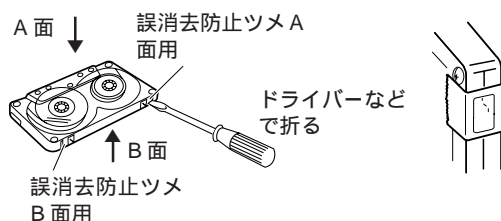
■ 巻き乱れのあるテープ、わかめ状になったテープ、伸びたテープなどは、巻き込んだり切れたりする場合がありますのでご使用はおすすめできません。

わかめ状になったテープ

伸びたテープ

■ テープたるみがあると巻き込んだりする場合がありますので、ご使用の前に図のようにたるみを取り除いてください。

テープのはじめには、リーダーテープ（録音できない部分）があります。あらかじめ、約5秒間テープを走行させてから録音を始めてください。
また、録音前に早送り、早戻しをすると、テープの巻きムラによって起こるカセットデッキへの負担が防げます。

保管

カセットケースに入れて、ホコリ・油・湿気・磁気の影響を受けないところに保管してください。

録音したものを誤って消さないために

カセットテープの側面にある誤消去防止用のツメを折ってください。ツメを折っても、穴をセロハンテープなどで二重にしっかりと貼れば録音することができます。

カセットデッキのヘッドは汚れていませんか？

- いままでにお客様の製品で､カセットデッキのヘッド汚れによるこんな故障がありました。
  <u>正常に録音できない・音がこもっている</u>
  高音が出ない・正常に再生しない
  音が出ない・音がおかしい
- それほどにヘッド部の清掃は重要なのです。
  製品を自分で故障させないために､いつもきれいにしておいてください。
  おおよそ10時間程度の使用を目安に汚れを拭きとってください。

清掃のしかた

① イジェクト(PUSH OPEN ⏏)部を押し、カセットホルダーを開ける。
② クリーニングカセットをセットする。
③ テープ(TAPE ◀▶)ボタンを押してテープを走行させる。
乾式のクリーニングカセットは使用しないでください。

注意

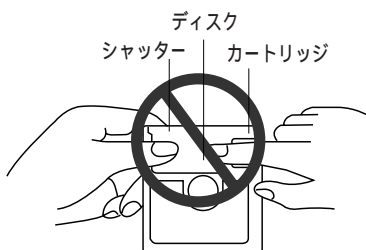
- 清掃後は、クリーニング液が乾くまで（2～3分）テープをセットしないでください。

クリーニングカセットについて

市販されているクリーニングカセットの中には、構造不備のため、クリーニングカセット自体が取り出せなくなる恐れのあるものがありますのでご注意ください。

MDの取り扱いかた

⚠注意

・ディスクに直接触れないでください。
・シャッターを無理に開けるとこわれます。
・分解しないでください。

下記マークのディスクをお使いください。

MDとは

● 直径64mmのMDをカートリッジに収めたもので、ホコリに強く、キズもつきにくいなどCDに比べ取り扱いが簡単です。
● 録音や再生はデジタル方式ですので、CDに迫る高音質を再現します。また、テープのようにからんだり、伸びたりすることがなく、音質も劣化せず耐久性に優れています。

MDの種類について

再生専用と録音・再生用があります。

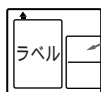
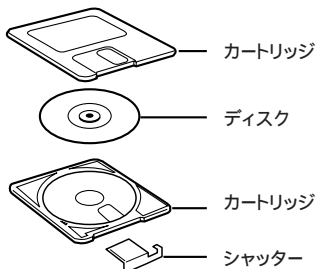
■再生専用MD(録音はできません)

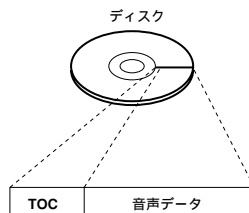
CDと同じ光ディスクを使っています。

■録音・再生用MD

光磁気ディスクを使っているので、繰り返し録音することができます。

MDの構造（録音用）

● MDは絶対に分解しないでください。

TOC(トック)による管理

MDの大きな特長は、高速で目的の曲の頭出しができたり、曲順を簡単に並べかえたり、削除したりできることです。これは、曲番や曲名などのディスク情報をTOCで管理しているためです。

保管

・ ケースに入れて保管してください。
・ 次のようなところには保管しないでください。
　― 高温多湿の場所
　― 直射日光が当る場所
　― 砂やホコリの入りやすい場所

カートリッジのお手入れ

乾いた布でホコリや汚れを軽くふき取ってください。

ラベルの貼付けについて

以下のことをお守りください。正しく貼られていない場合、MDが取出せなくなります。

・ 指定の場所(エリア内)に貼ってください。
・ 重ねて貼付けないでください。
・ ラベルが浮いたり、めくれたりしたら新しいラベルに貼りかえてください。

MD のシステム上の制約

MD は従来のカセットテープや DAT とは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法や編集のしかたによって、次のような症状がでることがあります。
これらは、システム上の制約によるものですので、故障ではありません。

症状	システム上の制約
MDの最大録音時間になっていないのに" TOC（トック） FULL（フル） "が表示されることがある。	MDでは、TOCにMD上の録音場所の区切りが登録されます。何度も部分的に消去して録音したり、編集をくり返したりすると、曲数が最大（255 曲）になっていなくても、TOC（トック）の情報がいっぱいになるので、録音できなくなります。 （このような MD は、全曲イレース機能を行なえば最初から使用できます。）
MD の最大録音時間になってないのに " DISC（ディスク） FULL（フル） " が表示されることがある。	ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音できなくなるため録音時間が少なくなります。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。	録音残り時間を表示するとき、12秒以下の短い曲などは曲として数えられないことがあるためです。
MDに録音した時間と録音の残り時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。 残り演奏時間や総演奏時間が実際の演奏時間と一致しないことがある。	通常は、1 クラスタ(約 2 秒）を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約 2 秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。また、MD にキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。 （録音中に " DEFECT（デフェクト） " と表示され、MD の曲番が自動的に増えます。） 計算処理の制約により、誤差がでる場合があります。
編集で曲と曲とをつなげないことがある。	録音・編集をくり返して行なった MD では、コンバイン機能を使えないことがあります。
録音された曲を早戻し／早送りすると、音がとぎれることがある。	録音・編集をくり返して行なった MD では、早戻し／早送り中に音がとぎれることがあります。

日ごろのお手入れ

CDレンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときはアフターサービス(P.121 参照)の項をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されているCD レンズクリーニングディスクには、レンズを破損する恐れのあるものあるいはディスクが取り出せなくなるものがありますのでご注意ください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で 5 〜 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。
アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。
このような場合には1時間ほど放置するか徐々に室温を上げてから使用してください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

故障？ちょっと調べてください

故障かな？と思ったら、ちょっとチェックしてみてください。下の項目をチェックしても直らないときは、お近くのパイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。

	症状	原因とおもわれること	処置
全てに共通	電源が入らない。 音がでない。	●電源プラグがはずれている。 ●すべてのコードが完全に接続されていない。 ●入力切換が正しく選択されていない。	●電源プラグを正しく接続してください。 ●接続のしかたを参照して、正しく接続してください。（P.8 ～ 10 参照） ●聞きたい機器を選択してください。
CD関係	再生ボタンを押しても演奏が始まらない。あるいはディスクが出てくる。	●ディスクの裏表を逆にセットしている。 ●ディスクに汚れやくもりなどがある。 ●ディスクに大きなキズやソリなどがある。	●ディスクのレーベル面（印刷のある面）を上にし、正しくセットしてください。 ●ディスクをクリーニングしてください。（P.114参照） ●ディスクを交換してください。
	音が出ない。	●入力切換が CD になっていない。 ●一時停止状態になっている。	● CD（▶/⏸）ボタンを押してください。
	CDトレイを閉めても自動的に開いてしまう。	●ディスクが正しくセットされていない。 ●2枚以上のディスクを重ねてセットしている。	●ディスクを正しくセットしてください。（P.22 参照） ●ディスクをいったん取り出し、再度演奏したいディスクを1枚だけCDトレイにセットしてください。
	“ MECHA ERROR ”が表示される。	● CD が正しく働いていない。	●停止ボタンを押してください。それでも表示が出る場合、電源プラグを抜いて再度つないでください。
テープ関係	カセットホルダーが開かない。	●テープ走行中に電源コードを抜いた。 ●テープが走行中である。	●電源コードを入れ直してください。 ●停止ボタンを押してから、カセットホルダーを開けてください。
	録音ができない。	●誤消去防止用ツメが折れている。 ●ヘッドが汚れている。 ● TYPE II（クローム／ HIGH）又は TYPE IV（メタル）を使用している。	●テープを交換するか、またはツメの部分にセロテープを貼って穴をふさいでください。 ●ヘッドを清掃してください。（P.115 参照） ● TYPE I（ノーマル）テープを使用してください。
	音がこもる。録音済みのテープの上から重ねて録音したとき、前の音が残る。	●ヘッドが汚れている。 ● TYPE II（クローム／ HIGH）又は TYPE IV（メタル）テープを使用している。	●ヘッドを清掃してください。（P.115 参照） ● TYPE I（ノーマル）テープを使用してください。
	音がこもる。高音が強調されすぎる。	● TYPE II（クローム／ HIGH）又は TYPE IV（メタル）テープを使用している。	● TYPE I（ノーマル）テープを使用してください。
放送関係	放送が聞こえない、聞き苦しい。	●アンテナが接続されていない。 ●アンテナの向き、位置が悪い。 ●電気器具（蛍光灯、ドライヤーなど）を使用している。	●アンテナを正しく接続してください。（P.8～10参照） ●アンテナの向きや位置を調整してください。 ●雑音を発生させる機器の使用をやめてください。
	放送がステレオなのにステレオにならない。	●表示部のモノインジケータが点灯している。	●モノラル演奏を解除して、モノインジケーターを消灯してください。（P.18 参照）
	チューナーに記憶させていない周波数など、正しくない表示が出る。	●周波数などを記憶する領域にエラーが発生しています。	● 123 ページの手順に従って、周波数ステップを現在の状態から変更してください。その後、もう一度同じ手順で周波数ステップを戻してください。
MD関係	録音ができない。	● MD が誤消去防止状態になっている。 ●再生専用 MD（市販の音楽ソフト）に録音しようとしている。 ● TOC FULL（トックフル）になってる。	●誤消去防止ツマミを移動してください。（ツマミを閉じる） ●録音できる MD に交換してください。 ●新しい録音用 MD と交換してください。
	モノラルで録音されてしまう。	●モノラル長時間モードになっている。	●録音前に録音モードをステレオ録音に設定してください。
	MDを入れても“ NO DISC ”や“ ERROR ”が表示される。	●ディスクにキズが付いている。 ●振動の多い不安定な場所で使用している。	●新しい MD に交換してください。 ●平らな安定した場所に移動してください。
	再生音がとぎれる	●結露現象が起きている。（P.117 参照）	● 1 時間ほど放置してから使用してください。
	グループ機能が使えない	●グループディスクと確認されていない、またはグループ機能がない機器でディスク名を変更した。	●ディスク名を消去して、グループを登録し直す。（P.93 参照）

その他	タイマーが動作しない。	●現在時刻の設定がされていない。	●現在時刻を設定してください。（P.16 参照）
	リモコンがきかない。	●リモコンの電池がなくなっている。 ●蛍光灯がリモコン受光部の近くにある。	●新しい電池にかえてください。（P.7 参照） ●蛍光灯をリモコン受光部から離してください。

- テレビを近くに設置した場合に、映像の乱れが生じることがあります。テレビで室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは屋外アンテナを使用するかテレビを離して設置してください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

こんな表示が出たときは

表　示	意　味	このようにしてください
ノー ディスク NO DISC	● CD、MD が入っていない。 ● CD、MD のデータが読めない。	● CD、MD を入れてください。 ● CD、MD をもう一度入れ直してください。
ディスク エラー DISC ERROR	● ディスクにキズがついている。 ● TOC がディスクに書き込まれていないか、データに異常がある。 ● データに異常がある。規格外のディスクである。 ● 記録されているTOC情報がMDの規格に合っていなかったり読めない。	● CD、MD をもう一度入れ直してください。 ● 他のディスクと取りかえてください。 ● 他のディスクと取りかえてください。 ● 他の MD と取りかえてください。 ● オールイレースをし、録音をやり直してください。
ディスク フル DISC FULL	● MD に録音できる空きがない。 ● 255 曲録音されている。	● 他の録音用 MD と取りかえてください。 ● 他の録音用 MD と取りかえてください。
ブランク BLANK	● 何も記録されていない。 （音楽もディスク名も記録されていない。）	● 再生するときは､録音されたMDと取りかえてください。
00 : 00	● 音楽が録音されていない。	● 録音された MD と取りかえてください。
トック フル TOC FULL	● 文字情報（ディスク名／曲名など）を登録する空きがない。	● 他の録音用 MD と取りかえてください。
キャント レコ Can't REC	● ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。 ● 指定のトレイに CD がセットされていない ● CD-R など録音禁止処理されている CD を MD に録音しようとした。	● 録音をやり直すか、MD を交換してください。 ● トレイ内に CD をセットしてください。 ● 録音禁止処理されていない CD に取りかえてください
テンプ オーバー TEMP OVER	● 温度が高くなりすぎた。	● 電源を切ってしばらく休ませてください。
キャント エディット Can't EDIT	● 編集できない。	● 曲の停止位置をかえて、編集し直してください。
ネーム フル NAME FULL	● ディスク、曲名、グループ名の合計が100文字をこえている。	● ディスク名／曲名を短くしてください。
メカ エラー MECHA ERROR	● MD が正しく働いていない。 ● CD が正しく働いていない。	● 停止ボタンを押す。それでも表示が出る場合、電源プラグを抜いて再度つないでみてください。
プリーズ リトライ CD PLEASE RETRY	● CD が正しく働いていない。	● 再生ボタンを押す。それでも表示が出る場合、電源プラグを抜いて再度つないでみてください。
グループ フル GROUP FULL	● 登録グループ数が 10 を超えています。	● グループ数を 10 以下にしてください。
プロテクテット PROTECTED	● MD が誤消去防止状態になっている。 ● 誤消去防止状態になっている MD に編集しようとした。	● 誤消去防止ツマミを移動してください。（ツマミを閉じる）
プレイバック MD PLAYBACK MD	● 再生専用 MD に録音をしようとした。 ● 再生専用 MD に編集をしようとした。	● 録音用 MD と取りかえてください。
MD メカ エラー MD MECHA ERROR	● MD が正しく働いていない。	● 停止ボタンを押す。それでも表示が出る場合、電源プラグを抜いて再度つないでみてください。
タイマー エラー TIMER ERROR	● 現在時刻の設定がされていない。 ● 録音できるテープ､MDがない状態でタイマー録音のセットをした。	● 現在時刻の設定をしてください。 ● 録音可能なテープ、MD を入れてください。

索引

仕様

レシーバー部

アンプ部

実用最大出力（EIAJ）
1kHz、10 %、6 Ω .... 15 W + 15 W

FM チューナー部

受信周波数 .... 76.0 〜 108 MHz
アンテナ .... 75 Ω不平衡型

AM チューナー部

受信周波数
.... 522 kHz 〜 1,629 kHz（9 kHz ステップ）
.... 530 kHz 〜 1,700 kHz（10 kHz ステップ）
アンテナ .... ループアンテナ（付属）

コンパクトディスクプレーヤー部

型式 .... コンパクトディスクオーディオシステム
使用ディスク .... コンパクトディスク
チャンネル数 .... 2 チャンネル（ステレオ）

カセットデッキ部

トラック方式 .... 4 トラック 2 チャンネルステレオ
録音 / 再生ヘッド ....×1
消去ヘッド ....×1

ミニディスク部

記録方式 .... 磁界変調オーバーライト方式
再生方式 .... 非接触光学式
サンプリング周波数 .... 44.1 kHz
周波数特性 .... 20 Hz 〜 20 kHz

電源部・その他

電源電圧 .... AC100 V、50/60 Hz
消費電力 .... 50 W
スタンバイ時消費電力 .... 0.9 W
外形寸法......... 166（幅）×243（高さ）×315（奥行）mm
本体質量 .... 6.4 kg

スピーカー部

型式 .... バスレフ式ブックシェルフ型（低磁気漏洩）
使用スピーカー（2 ウェイ方式）
低音用（ウーファー）..................... 10 cm（コーン型）
高音用（トゥイーター）.................... 2 cm（ドーム型）
公称インピーダンス .... 6 Ω
再生周波数帯域 .... 55 〜 20,000 Hz
最大入力 .... 25 W（EIAJ）
外形寸法 ...... 130（幅）×240（高さ）×235（奥行）mm
本体質量 .... 1.9 kg

付属品

保証書 1
取扱説明書 1
安全上のご注意 1
電源コード 1
FM 簡易 アンテナ 1
AM ループアンテナ 1
リモートコントロールユニット（リモコン）............... 1
単 3 形乾電池（R6P）.. 2

●仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証書（別添）について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後 8 年です。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は P122 〜 123 の「修理のご相談 / 修理についてのお問い合わせ窓口」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

118 〜 119 ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- 電話番号
- 製品名：MD/CD コンポーネントシステム
- 型番：X-MDX535、X-F535MD
- お買い上げ日
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標(建物、公園など)

■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ お願い

修理のために本機をお持ち込みいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。

修理のご相談/修理についてのお問い合わせ窓口

パイオニア製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理については、お買い求めの販売店へご依頼ください。
万一お困りの場合は、下記の窓口へご相談くださるようお願いいたします。

部品のご購入窓口

パイオニア部品受注センター　営業 9：30～18：00（土曜17時迄、日・祝・弊社休日は除く）
TEL 0120-5-81095　FAX 0120-5-81096

修理のご相談／修理についてのお問い合わせ窓口

修理のご依頼は取扱説明書の『故障？ちょっと調べてください』または『故障かな？と思ったら』の項目をご確認のうえご依頼ください。転居されたり、贈物でいただいたものの故障で、お困りの場合は、お近くの修理窓口（サービスステーションまたは修理受付センター）へご相談ください。

北海道地区　営業 月～金　9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）

地区	種別	☎	FAX	〒	住所
札　幌	サービスステーション	011-644-4771	011-611-5694	064-0822	札幌市中央区北２条西20-1-3クワザワビル
旭　川	サービスステーション	0166-51-8161	0166-51-8175	070-0810	旭川市本町2-437
帯　広	サービスステーション	0155-33-8040	0155-34-7147	080-0047	帯広市西17条北2-39-3
函　館	サービスステーション	0138-42-3609	0138-42-4908	041-0811	函館市富岡町2-18-7

東北地区　営業 月～金　9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）

地区	種別	☎	FAX	〒	住所
青　森	サービス指定店 ㈲エーテックス	0177-23-4331	0177-35-2438	030-0821	青森市勝田2-16-10
盛　岡	サービスステーション	019-659-1955	019-659-3165	020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
秋　田	サービスステーション	018-863-2261	018-864-7258	010-0963	秋田市八橋大沼町5-12
山　形	サービスステーション	023-623-3555	023-632-1118	990-0023	山形市松波1-8-17
仙　台	サービスステーション	022-375-8111	022-375-4996	981-3121	仙台市泉区上谷刈石田20
郡　山	サービスステーション	024-923-6845	024-939-1372	963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25クレールアヴェーニュ伊藤第2ビル

関東・甲信越地区　修理受付センター　営業 9：30～18：00（土曜17時迄、日・祝・弊社休日は除く）

TEL：　0120－581028（ゴーバイオニア）（関東・甲信越地区以外、携帯・PHSからは下記の一般電話へおかけください）
一般電話：　03－5496－2023（携帯･PHS及び関東･甲信越地区以外から関東･甲信越地区修理受付センターにご用の方は、この電話におかけください。）
FAX：　0120－581029（関東・甲信越・首都圏地区以外からはかかりません）
下記のサービスステーションへご用のお客様は、関東・甲信越地区修理受付センターでお受けします。佐渡／三宅島を除く

サービスステーション　営業 月～金　9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）

地区	種別	店名	FAX	〒	住所
宇都宮	サービスステーション		028-664-0657	321-0954	宇都宮市元今泉5-1-9
水　戸	サービス指定店	㈲エーブイアール	029-248-1306	310-0844	水戸市住吉町307-4
つくば	サービスステーション		0298-58-2210	305-0032	つくば市竹園2-10-6
高　崎	サービスステーション		027-322-8978	370-0851	高崎市上中居町45-2
新　潟	サービスステーション		025-241-1879	950-0913	新潟市鐙1-5-23
佐　渡	サービス指定店	横山電機商会	☎/FAX 0259-63-3400	952-1209	佐渡郡金井町千種1158-1
さいたま	サービスステーション		048-651-8030	330-0038	さいたま市宮原町1-310-1
千　葉	サービスステーション		043-231-9421	260-0001	千葉市中央区都町2-6-24
船　橋	サービスステーション		047-423-4475	273-0002	船橋市東船橋1-21-12
世田谷	サービスステーション		03-3419-4234	155-0032	世田谷区代沢4-25-9
両　国	サービスステーション		03-3621-7610	130-0015	墨田区横網2-14-5
城　北	サービスステーション		03-3550-3625	175-0083	板橋区徳丸4-11-14
多　摩	サービスステーション		042-524-5947	190-0003	立川市栄町4-18-1エクセル立川1Ｆ
三宅島	サービス指定店	勝見電機	☎ 04994-6-1246	100-1211	三宅村大字坪田
横　浜	サービスステーション		045-474-0791	222-0033	横浜市港北区新横浜2-6-3三井生命新横浜第2ビル
厚　木	サービスステーション		046-223-4434	243-0004	厚木市水引2-5-11
松　本（山梨県を含む）	サービスステーション		0263-26-3122	390-0842	松本市征矢野2-8-7

中部地区　修理受付センター　営業 9：30～18：00（土曜17時迄、日・祝・弊社休日は除く）

TEL：　0120－581028（ゴーバイオニア）（中部地区以外、携帯・PHSからは下記の一般電話へおかけください）
一般電話：　052－532－1146（携帯･PHS及び中部地区以外から中部地区受付センターにご用の方は、この電話におかけください。）
FAX：　0120－581029（中部地区以外からはかかりません）
下記のサービスステーションへご用のお客様は、中部地区修理受付センターでお受けします。

サービスステーション　営業 月～金　9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）

地区	種別	店名	FAX	〒	住所
名古屋	サービスステーション		052-532-1148	451-0063	名古屋市西区押切 2-8-18
岡　崎	サービスステーション		0564-21-8692	444-0079	岡崎市石神町 3-17
岐　阜	サービス指定店	㈲岐阜カスタマーサービス	058-274-5256	500-8356	岐阜市六条江東 1-1-3
津	サービスステーション		059-227-5921	514-0003	津市桜橋 1-188
沼　津	サービス指定店	㈲エヌテックス	0559-21-9050	410-0058	沼津市沼北町 1-14-26
静　岡	サービスステーション		054-237-5691	422-8034	静岡市高松 1-6-5
金　沢	サービスステーション		076-291-6425	921-8005	金沢市間明町 1-130
富　山	サービス指定店	北陸AVサービス	076-425-3027	939-8211	富山市二口町 1-7-1
福　井	サービス指定店	㈲サウンドスタッフコデラ	0776-27-1768	910-0001	福井市大願寺 3-5-9

関西地区	修理受付センター	営業9：30～18：00（土曜17時迄、日・祝・弊社休日は除く）

TEL：　０１２０－５８１０２８（ゴーパイオニア）（関西地区以外、携帯・PHSからは下記の一般電話へおかけください）
一般電話：　０６－６３５３－８８０２（携帯・PHS及び関西地区以外から関西地区受付センターにご用の方は、この電話におかけください。）
FAX：　０１２０－５８１０２９（関西地区以外からはかかりません）
下記サービスステーションへご用のお客様は、関西地区修理受付センターでお受けします。

サービスステーション　営業月～金　9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）

拠点	種別	名称	FAX	〒	所在地
大　阪	サービスステーション		FAX 06-6353-1145	〒 530-0035	大阪市北区同心 2-1-26
大阪南	サービスステーション		FAX 0722-21-0679	〒 590-0962	堺市寺地町東 2-2-8
和歌山	サービス指定店	㈲アイテック	FAX 0734-46-3026	〒 641-0021	和歌山市和歌浦東 3-1-25
神　戸	サービスステーション		FAX 078-251-7173	〒 651-0086	神戸市中央区磯上通り 5-1-13
姫　路	サービス指定店	オーディオ　コモ	FAX 0792-51-2656	〒 671-0251	姫路市花田町上原田 30-4
福知山	サービス指定店	北近畿オーディオサービス	FAX 0773-24-5375	〒 620-0055	福知山市篠尾新町 2-704 カマハチマンション
京　滋	サービスステーション		FAX 075-682-7176	〒 601-8448	京都市南区西九条豊田町 24-1
奈　良	サービス指定店	エルバック㈱	FAX 0742-36-8713	〒 630-8132	奈良市大森西町 21-26

中国地区　営業 月～金　9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）

拠点	種別	名称	TEL	FAX	〒	所在地
広　島（山口県を含む）	サービスステーション		☎ 082-228-2403	FAX 082-227-4866	〒 730-0013	広島市中区八丁堀 2-31 鴻池ビル内
岡　山	サービスステーション		☎ 086-276-1642	FAX 086-276-3904	〒 703-8282	岡山市平井 3-1078-6
松　江	サービスステーション		☎ 0852-21-1235	FAX 0852-27-8777	〒 690-0015	松江市上乃木 4-30-34
鳥　取	サービス指定店	田中オーディオサービス	☎ 0857-29-1489	FAX 0857-29-1290	〒 680-0061	鳥取市立川町 5-240-1

四国地区　営業 月～金　9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）

拠点	種別	TEL	FAX	〒	所在地
高　松（徳島県を含む）	サービスステーション	☎ 0878-62-1435	FAX 0878-61-4841	〒 760-0014	高松市昭和町1-3-33 大商ビル
松　山	サービスステーション	☎ 089-925-3778	FAX 089-924-5573	〒 791-8013	松山市山越 5-12-8
高　知	サービスステーション	☎ 0888-75-8213	FAX 0888-22-1729	〒 780-0043	高知市寿町 4-5 共和第一ビル 2F

九州地区　営業 月～金　9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）

拠点	種別	TEL	FAX	〒	所在地
福　岡（佐賀県を含む）	サービスステーション	☎ 092-471-7810	FAX092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南 2-12-3
北九州	サービスステーション	☎ 093-951-1746	FAX 093-951-1748	〒 802-0011	北九州市小倉北区重住 3-1-20
長　崎	サービスステーション	☎ 095-846-4312	FAX 095-844-4452	〒 852-8145	長崎市昭和 1-8-21 昭陽ビル 101
熊　本	サービスステーション	☎ 096-381-1874	FAX 096-381-4430	〒 862-0954	熊本市神水 1-32-19
大　分	サービスステーション	☎ 097-536-0068	FAX 097-536-6723	〒 870-0008	大分市王子西町 8-21 植木ビル
宮　崎	サービスステーション	☎ 0985-26-1623	FAX 0985-26-1622	〒 880-0821	宮崎市浮城町 98-1
鹿児島	サービスステーション	☎ 099-226-2574	FAX 099-224-7692	〒 892-0841	鹿児島市照国町 3-21 第二大見ビル
沖　縄	サービスステーション	☎ 098-879-1910	FAX 098-879-1352	〒 901-2122	浦添市字勢理客 557-1 トヨタビル 3F

平成13年2月現在　　お客様相談窓口・修理窓口の名称・所在地・電話番号・営業時間等は変更することがございますのでご了承ください。

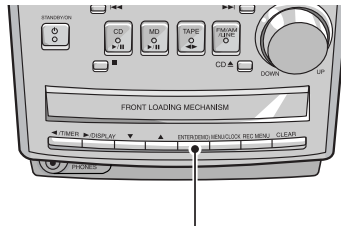
周波数ステップを切りかえる

国内では通常、FM/AM 放送を受信するときの周波数ステップを、FM 放送は 50kHz ごとに、AM 放送は 9kHz ごとに設定されています。本機ではこの周波数ステップを、FM 放送は 100kHz ステップに、AM 放送は 10kHz ステップに変えることができます。

① 電源がオフのとき（スタンバイ状態）に、停止（■）ボタンを 4 秒以上押します
② ▼ボタン、または▲ボタンを押して、9kHz/ 50kHz STEP か 10kHz/100kHz STEP のどちらかを選びます
③ エンターボタンを押します（確認表示になります）
④ もう一度エンターボタンを押して決定します

- AM 放送を 10kHz ステップに変更すると、国内のラジオ放送を受信することができなくなります。9kHz に戻す時は、手順②で、"9kHz STEP" を選びます。
- 周波数のステップ設定の変更を途中で中止させたい場合は、停止（■）ボタンを押してください。また一定時間操作を中断した場合は、自動的に設定を中止します。
- 周波数のステップを変更すると、記憶したステーションをクリアーしますので、再設定が必要になります。

デモモードについて

- 電源プラグをコンセントに差し込むとデモモードになり電源オンになります。停電した後にもデモモードに入ります。また、ＣＤやＭＤ、テープの演奏または録音が終了してからしばらくした後もデモモードの表示になります。電源オフのときにエンター(ENTER)ボタンを約3秒間押しつづけても、デモモードになり電源オンになります。デモモードではこのシステムのバラエティーに富んだ機能が表示部に表示されます。
- デモモードを一時的に解除するには、 本体またはリモコンの電源スイッチか、ダイレクトパワーオンに対応しているボタン（13ページ参照）を押してください。
- 電源プラグをコンセントに抜き差ししたり、ＣＤやＭＤ、テープの演奏または録音が終了してもデモモードに入らないようにするには、電源がオフの時にエンター(ＥＮＴＥＲ) ボタンを約3 秒間押しつづけてデモモードの表示にした後、再度エンター(ENTER)ボタンを約3秒間押しつづけてください。デモモードを解除したことをセットが記憶します。
  ただし、デモモード解除をセットが記憶した場合でも、停電や電源プラグを抜いた状態で１２時間以上放置しますと、再度電源プラグをコンセントに差した時にデモモードを表示する場合があります。
- 解除したデモモードを再びデモモード表示させるときは、電源がオフの時にエンター(ENTER)ボタンを約3秒間押しつづけます。デモ表示が行なわれ、デモモードが設定されます。電源スイッチを押して電源を入れてから、通常の操作を行なってください。

エンター(ENTER)ボタン

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

- 家庭用ｵｰﾃﾞｨｵ／ﾋﾞｼﾞｭｱﾙ製品のお問合わせ窓口　**0070-800-8181-22**
- カタログのご請求窓口　**0070-800-8181-33**

＜ご注意＞
- ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
- 修理に関してはＰ１２２～１２３の『修理のご相談 / 修理についてのお問い合わせ窓口』をご参照ください。

※ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか？
・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
・電源コードにさけめやひび割れがある。
・電気が入ったり切れたりする。
・本体から異常な音、熱、臭いがする。

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または、お近くのパイオニアサービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

パイオニア株式会社　〒 153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

Printed in china　<ARA7136-A>